

2021 年度
Academic Year 2021/2022

授業内容概略
Course Summaries

東京大学公共政策大学院
Graduate School of Public Policy
The University of Tokyo

はじめに

現在の日本の変化は著しく、産業構造の転換、少子高齢化、国際化の進展等これまでに経験したことのない課題に直面しています。これらの課題に取り組んでいくためには、そうした課題の性質をよく見極め、新たな発想によって政策を形成していくことが必要であり、そのために、実務の世界で通用する政策の立案・実施・評価に関する高い専門能力をもった人材が求められています。

東京大学公共政策大学院（大学院公共政策学教育部）は、このような政策実務家の養成を目標として平成 16（2004）年度に発足した新しい大学院です。この大学院では、特に国際的視野のもとで現代社会の直面する課題を発見し、課題の解決に必要な政策と制度を構想する力を持ち、またコミュニケーションと合意形成の能力にも秀でた、国家機関・地方自治体の公務員、国際組織やNGOの職員、シンクタンクに勤めるエコノミストや政策アナリストなど、時代の要請に応える政策実務家を育成することをめざしています。

この大学院では、政策の実務家を志す学生諸君が、法学・政治学・経済学・国際関係論を横断した幅広い知識を獲得し、かつ実務で求められるスキルを身につけることができるように、教育科目にも、また教育内容や方法にも、これまでの大学院教育には見られなかった、さまざまな新しい発想や工夫を取り入れています。

この「授業内容概略」は、そうした学生諸君が、効率的かつ体系的に学習を行うために必要な情報を提供する冊子です。これを参考にして自らの学習計画を立てて下さい。

公共政策大学院

目 次

授業等日程及び授業時間	-----	1
修了要件について	-----	2
履修登録の手続きについて	-----	8
教務関係の諸手続きについて	-----	10
公共政策大学院の施設利用について	-----	14
連絡先一覧	-----	16
授業科目表	-----	17
授業内容概略	-----	49

※授業時間表は、公共政策大学院の Web サイトで確認すること。
各授業科目のシラバス詳細は、UTAS で確認すること。
休講、補講、教室変更や事務手続き等、**重要な伝達事項は原則として Web 在校生掲示板により周知するので、常に確認すること**
(「教務関係の諸手続きについて」参照)。

在校生掲示板

◆ <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/student-bulletin-board/>

◆ 国際学術総合研究棟 13 階掲示場

2021年度授業等日程及び授業時間

授業期間

S1S2 科目	4月 5日 (月)	～	7月 12日 (月)
S1 科目	4月 5日 (月)	～	5月 31日 (月)
S2 科目	6月 4日 (金)	～	7月 22日 (木)

4月29日 (木)	祝日のため休講
5月3日 (月) ～ 5月5日 (水)	祝日のため休講
5月14日 (金) 午後	五月祭準備のため休講
7月22日 (木)	祝日だが S2 科目授業実施日

A1A2 科目	9月27日 (月)	～	1月 5日 (水)
A1 科目	9月27日 (月)	～	11月17日 (水)
A2 科目	11月29日 (月)	～	1月25日 (火)

11月3日 (水)	祝日のため休講
11月23日 (火)	祝日のため休講
12月28日 (火) ～ 1月3日 (月)	休講
1月10日 (月)	祝日のため休講 ※A1A2 科目は授業期間外
1月14日 (金)	休講 ※A1A2 科目は授業期間外
1月18日 (火)	金曜日の授業を行う ※A1A2 科目は授業期間外

※ 試験は原則として、授業の最終日に行う。

※ 他学部・他研究科との合併科目については授業期間や試験日の取り扱いが異なる場合があるので、授業担当教員の指示に従うこと。

授業時間

1時限	8 : 30 ～ 10 : 15	4時限	14 : 55 ～ 16 : 40
2時限	10 : 25 ～ 12 : 10	5時限	16 : 50 ～ 18 : 35
3時限	13 : 00 ～ 14 : 45	6時限	18 : 45 ～ 20 : 30

修了要件について

公共政策大学院を修了するためには、**2年以上在学し、46単位以上**修得しなければならない。また、コース別、又は、ポリシーストリーム別に定められた授業科目及び単位数を修得しなければならない。

他の研究科等の授業科目、又は学部の授業科目は、合わせて8単位まで、公共政策大学院の修了に必要な単位数に算入することができる。

1年間に38単位を超えて履修科目を登録することができない。リサーチペーパー、研究論文、インターンシップの登録単位数もこれに含まれる。

他の大学院における授業科目の履修、入学前の既修単位等の認定などについては、公共政策学教育部規則を参照すること。

なお、特に指定された科目を除き、既に単位を修得した授業科目と同一科目名の授業科目を再度履修することはできない。

〈コース別修了要件〉

- ※ 1つの科目により2つ以上の修了要件として意味を持つ科目は、それぞれの修了要件にカウントされる。
- ※ 修了要件に列挙されている科目が授業科目表にない場合は、今年度は開講しないので注意すること。

○ 法政策コース

必要単位数	修了要件
各4単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々4単位、全部で12単位以上修得していること
8単位	事例研究を8単位以上修得していること
16単位	基幹科目、展開科目の法律分野に関する授業科目を16単位以上修得していること
4単位	修了時までに修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を4単位以上含んでいること

○ 公共管理コース

必要単位数	修了要件
各4単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々4単位、全部で12単位以上修得していること
8単位	事例研究を8単位以上修得していること
16単位	基幹科目、展開科目の政治分野に関する授業科目を16単位以上修得していること
4単位	修了時までに修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を4単位以上含んでいること

○ 国際公共政策コース

必要単位数	修了要件
各 4 単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々4 単位、全部で 12 単位以上修得していること
8 単位	事例研究を 8 単位以上修得していること
16 単位	<p>基幹科目、展開科目の中で国際公共政策に関する以下の授業科目から 16 単位以上修得していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際組織と法 ・ 国際経済法 ・ 国際人権法 ・ グローバリゼーションと法 ・ 国際行政論 ・ 国際政治経済 I ・ 国際政治経済 II ・ International Conflict Study ・ 開発研究 ・ Modern Japanese Diplomacy ・ Governance and Development ・ Introduction to International Politics ・ Security Studies ・ International Trade Policy ・ International Financial Policy ・ Development Economics: Microeconomic Approach ・ Development Economics: Macroeconomic Approach ・ 国際租税法 ・ 国際環境・エネルギー法 ・ 国際空間秩序と法 ・ ヨーロッパ法 ・ 比較法政策 1 ・ 比較法政策 2 ・ 国際法判例研究 ・ ヨーロッパ統合と法 1 ・ ヨーロッパ統合と法 2 ・ ヨーロッパ統合と法 3 ・ ヨーロッパ統合と法 4 ・ 国境でメルトダウンする人権保障？・執行共助の刑事と税務 ・ Theory and Practice of International Human Rights Law ・ 日本と国際経済法 ・ 転換期の WTO ・ 国際経済法と「開発」を考える ・ 広域 FTA の研究 ・ アジアビジネスと企業法務 ・ アジア・ビジネス法（旧科目名：アジアビジネス法と企業法務）

- ・ 国際ビジネス法
- ・ The Negotiations in the WTO
- ・ Law and Society in East Asia
- ・ 国際法の基本問題
- ・ 国際法実務演習
- ・ 国際法演習
- ・ 国際海洋法制度概論
- ・ 比較政策過程論
- ・ 国際政治理論
- ・ 対外政策決定論
- ・ 地域統合論
- ・ 地域政治 A
- ・ 地域政治 B
- ・ 地域政治 C
- ・ Area Politics C
- ・ 国際政治経済の諸問題
- ・ 国連安保理と紛争解決
- ・ 国連安保理と紛争解決 I
- ・ 国連安保理と紛争解決 II
- ・ 西欧比較政治論
- ・ Norms on the Environment: Creation and Compliance
- ・ The Politics and Diplomacy of Contemporary China
- ・ Contemporary Chinese Politics
- ・ Contemporary Chinese Diplomacy
- ・ Contemporary Chinese Politics and Diplomacy
- ・ International Relations and Political Regimes (旧科目名 : Domestic Foundations of International Political Economy、Domestic Foundations of International Policies / International Political Economy)
- ・ 発展途上国の政治
- ・ 先進国の比較政治
- ・ Cross-Strait Relations
- ・ International Politics in East Asia
- ・ 地球規模課題と日本
- ・ Politics of World Trade
- ・ ラテンアメリカの人権問題
- ・ 現代ラテンアメリカ政治の研究
- ・ 体制変動の理論－ラテンアメリカの経験から考える
- ・ ラテンアメリカの政党システム
- ・ 独裁政治の研究
- ・ 紛争と暴力の理論
- ・ Climate Change Politics and Policy
- ・ Human Security: Asian Perspectives
- ・ Comparative Political Institutions in Asia
- ・ 日本外交：実践と課題
- ・ Maritime Security in and beyond Asia

- ・ Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia
(旧科目名 : Boom and Bust: the Political Economy of Development in East Asia)
- ・ Global Governance
- ・ 経済と安全保障の交錯
- ・ Asian Economic Development and Integration
- ・ Economic Development in Korea and other Asian countries
- ・ Energy Security
- ・ Field Seminar in International Relations
- ・ Introduction to International Trade
- ・ プライベート・スタンダードの研究
- ・ 法の支配と国際投資法
- ・ 国際商事仲裁
- ・ 第1次大戦中の総力戦体制の比較
- ・ 国際政治特殊研究
- ・ Conflict Prevention and Post-Conflict Politics
- ・ Insurgency and Counterinsurgency
- ・ Transformation of Warfare and Technology
- ・ ラテンアメリカの移行期正義—真実・正義・和解・記憶
- ・ ジェノサイドの心理—普通の人々はなぜ大量虐殺を行うのか
- ・ Advanced Topics in International Trade
- ・ Poverty, Inequality and Development
- ・ Global Financial Regulation
- ・ Economic Crisis
- ・ Public International Law and Domestic Implementation
- ・ Ethics and International Relations
- ・ 末期ロシア帝国の辺境統治 (旧科目名 : コーカサスおよび中央アジア史、ロシア軍の歴史 : モスクワ国家からセルジュコフ改革まで、ユーラシアにおける宗教政治—正教会とイスラーム)
- ・ 世界各地の準大統領制 (旧科目名 : 旧ソ連圏の権威主義回帰と政治制度、連邦制と紛争緩和、クリミア後のロシアと周辺諸国—政治体制論を中心に)
- ・ アメリカの環境・エネルギー政策と政治過程
- ・ アメリカ政治におけるメディアの役割
- ・ New Dimensions of Security in the Risk Age
- ・ U.S. Diplomacy toward Asia
- ・ 比較政治学・概論
- ・ アメリカ民事訴訟法判例研究 (旧科目名 : 英米法演習)
- ・ アメリカの経済犯罪
- ・ 国際投資法研究
- ・ 国際社会における法の支配—国際刑事裁判の現場から
- ・ 比較政治学・政党と制度
- ・ Asia-Pacific Security
- ・ ラテンアメリカ発の比較政治学
- ・ 虐殺とジェノサイドのメカニズム
- ・ 現代ヨーロッパにおける国家とデモクラシー

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy ・ 紛争、独裁後の移行期正義—真実・正義・和解・記憶 ・ International Environmental Law ・ アメリカ信託・信託法 ・ Data Science and Machine Learning ・ 食糧安全保障と農業政策 ・ Evolution of Global Economic Policies ・ Interdisciplinary Issues in Development Economics（旧科目名：家計とコミュニティの開発経済学） <p>※ 国際法の基礎理論</p> <p>※ Governance and Policies of EU</p> <p>※ Policy and Governance in Contemporary China</p> <p>※ Science and Technology in International Relations</p> <p>※ この要件に該当する科目が追加されました。</p> <p>2020 年度以前の入学者が追加された科目の単位を修得した場合、この要件の単位として認められます。また、それらの科目を 2020 年度までに履修し、単位を修得している場合でも、同様に認められます。</p>
4 単位	修了時までに修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を 4 単位以上含んでいること

○ 経済政策コース（2016-2021 年度入学者）

必要単位数	修了要件
各 4 単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々 4 単位、全部で 12 単位以上修得していること
8 単位	事例研究を 8 単位以上修得していること このうち 4 単位以上を教育部が指定する経済系の事例研究（授業科目表の備考欄に★印のある科目）のうちから修得していること
16 単位	基幹科目、展開科目の経済分野に関する授業科目を 16 単位以上修得していること
12～15 単位	<p>修了時までに修得した単位に、以下の授業科目を含んでいること</p> <p>(1) Microeconomics</p> <p>Practice Session for Microeconomics</p> <p>ただし、本学経済学部において既に上級ミクロ経済学Ⅰの単位を修得又は本学経済学研究科のミクロ経済学Ⅰの単位を修得し、かつ本学経済学部において既に上級ミクロ経済学Ⅱの単位を修得又は本学経済学研究科のミクロ経済学Ⅱの単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(2) Macroeconomics</p> <p>Practice Session for Macroeconomics</p> <p>ただし、本学経済学部において既に上級マクロ経済学Ⅰの単位を修得又は本学経済学研究科のマクロ経済学Ⅰの単位を修得し、かつ本学経済学部において既に上級マクロ経済学Ⅱの単位を修得又は本学経済学研究科のマクロ経済学Ⅱの単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(3) Econometrics for Public Policy</p> <p>Practice Session for Econometrics for Public Policy</p>

	<p>ただし、本教育部入学前に既に(a)～(f)のいずれかの科目の単位を修得した者及び本教育部入学後に(f)の単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(a) 本学経済学部 の 計量経済学（公共政策学教育部との合併科目）</p> <p>(b) 本学経済学部 の 上級応用計量経済学（公共政策学教育部との合併科目）</p> <p>(c) 本学経済学部 の 上級計量経済学</p> <p>(d) 本学経済学部 の 上級計量経済学Ⅰ、上級計量経済学Ⅱ</p> <p>(e) 本学経済学研究科の 基礎計量経済</p> <p>(f) 本学経済学研究科の 計量経済学Ⅰ、計量経済学Ⅱ</p>
4 単位	経済分野の上記の必修科目及び Principles of Microeconomics、Principles of Macroeconomics、統計分析手法、Statistical Methods 以外の基幹科目から、さらに 4 単位以上を修得していること
4 単位	修了時までには修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を 4 単位以上含んでいること
<p>※ 以下の科目を履修することはできない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Principles of Microeconomics ・ Principles of Macroeconomics（旧科目名：経済学基礎） ・ Microeconomics for Public Policy ・ Practice Session for Microeconomics for Public Policy ・ Macroeconomics for Public Policy ・ Practice Session for Macroeconomics for Public Policy 	

○ 国際プログラム（MPP/IP）コース（2017 年 4 月 1 日以降に入学した者）

※英語版（p. 32）を参照のこと

履修登録の手続きについて

履修する科目は必ず「UTAS」で履修登録を行うこと。UTAS にログインするためには、入学手続後に配付された「UTokyo Account パスワード通知書」に記載されたユーザー名・パスワードが必要となる。

ITC-LMS での受講登録や、UTAS でシラバスのお気に入り登録をしても、履修登録したことにはならないので注意すること。

また、手続きの期間を厳守すること。期間外の手続きは認められない。

履修登録期間

- (1) 以下の期間に、各自 PC 等により UTAS にログインし、履修科目を登録すること。集中講義もこの期間に登録すること。

S1、S1S2、通年科目	4月13日(火)	～	4月19日(月)
S2科目	6月11日(金)	～	6月17日(木)
A1、A1A2科目	10月4日(月)	～	10月8日(金)
A2、W科目	12月6日(月)	～	12月10日(金)

[UTAS URL]

<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>

- (2) 「リサーチペーパー」「研究論文」「インターンシップ」の履修登録は、公共政策大学院チームで行う。(UTAS による各自での履修登録は不要)

「リサーチペーパー」及び「研究論文」の履修登録方法、履修登録期間、作成要領、日程等詳細については、Web 在校生掲示板にて通知する。

なお、「インターンシップ」の履修登録は随時受け付ける。履修登録手続き等詳細については、掲示にて通知する。

- (3) UTAS で履修登録できない科目がある場合には、各自、シラバスや当該科目を開講している各研究科等の事務室にて履修制限を事前に確認の上、履修登録期間内に公共政策大学院チームまで申し出ること。履修登録期間・履修登録修正期間を過ぎてからの申し出は認めない。

履修登録修正期間

以下の期間に、必要に応じて UTAS で履修科目を追加・変更・撤回することができる。この期間を過ぎてからの履修科目の追加・変更・撤回は一切認めない。

S1、S1S2、通年科目	4月20日(火)	～	4月22日(木)
S2科目	6月18日(金)	～	6月22日(火)
A1、A1A2科目	10月11日(月)	～	10月13日(水)
A2、W科目	12月13日(月)	～	12月15日(水)

ただし、集中講義の履修撤回は上記「履修登録修正期間」によらず、初回の授業が実施された日まで認める。履修登録修正期間外のため UTAS 上で履修撤回ができない場合は、初回の授業が実施された日中に、公共政策大学院チームへメールにて履修撤回を申し出ること。翌日以降の撤回は認めない。なお、授業担当教員から履修登録撤回についてシラバス等で別途制限がされている場合は、その指示を優先する。また、他学部・他研究

科科目の場合、開講学部・研究科等の指示を優先する。

【重要】履修登録単位の上限について

公共政策大学院では、学生の計画的な授業の履修を促す観点から、履修登録できる単位数の上限を、年間38単位までと定めている。(9月入学の学生は9月から起算して1年間)

「リサーチペーパー」「研究論文」「インターンシップ」の単位数もこれに含まれる。
また、履修登録期間後ではなく、履修登録修正期間後の単位数が対象となり、前学期に「未受験」「不可」となった科目の単位数も、上記38単位の中に含まれるので注意すること。

他学部・他研究科科目履修上の注意

最終年次の後期は、他学部・他研究科科目を修了要件に算入する単位として履修登録しないこと。学部・研究科により成績報告期限が異なるため、修了判定の時期までに成績が確定されない場合、当該科目は修了判定に算入しない。

法学部の演習科目については、公共政策大学院との合併科目でない場合、履修することはできない。

「リサーチペーパー」、「研究論文」用の参考科目

公共政策大学院では、2021年度に、論文（エッセイ）の書き方等を指導する科目を以下のとおり3つ開講する。

特に、リサーチペーパー又は研究論文の提出を予定している場合、博士課程への進学を希望する場合の参考にされたい。

※開講日等の最新の情報は、UTAS で確認すること。

科目名：Essential Academic Skills: Writing and Research Planning
科目番号：5123312-1
担当教員：MARSZALEC Daniel Janusz

科目名：Advanced Academic Writing
科目番号：5130200
担当教員：FAYE Singh

科目名：Introduction to Academic Writing
科目番号：5130205
担当教員：FAYE Singh

教務関係の諸手続きについて

住所、電話番号、電子メールアドレスの登録・変更について

- (1) 入学手続後に配付された「UTokyo Account パスワード通知書」により、UTAS にログインし、速やかに住所・電話番号・電子メールアドレスを UTAS に登録すること。
- (2) 大学からの連絡は、UTAS に登録された連絡先宛に行う。
- (3) 特に、重要な事項（修了に関わること等）や、至急に確認したい事項が発生した場合、個別に電子メールや電話で連絡するので、確実に連絡のとれる電子メールアドレスと電話番号を常時登録しておくこと。連絡先に変更が生じた場合、連絡先を更新しておくこと。

学生への連絡方法について

- (1) 一般的な連絡事項、授業に関すること（開講・休講情報等）や、奨学金に関すること、修了（式）に関すること等についての案内は、Web 在校生掲示板に掲載するので毎日必ず確認すること。
- (2) 他学部・他研究科との合併科目について、休講・試験等に関する情報は、当該学部・研究科の掲示板でも、必ず確認すること。

証明書等の発行について

- (1) 在学証明書、成績証明書、修了見込み証明書（最終年次のみ）、学割証については、証明書自動発行機により、即時発行される。
- (2) 証明書自動発行機を利用する際に必要な暗証番号は、「UTokyo Account パスワード通知書」で確認すること。
- (3) その他の証明書については、「証明書交付願」に基づき、以下のとおり発行する。
和文・・・翌日に交付（土日・休日を除く）
英文・・・1 週間後に交付（土日・休日を除く）

授業料について

- (1) 授業料は、5 月（前期分）及び 11 月（後期分）に納めること。
- (2) 「授業料預金口座振替 WEB 申込ページ」により登録された口座からの自動引き落としによる。
- (3) 口座振替日は、前期分が 5 月 27 日、後期分が 11 月 27 日（当該日が金融機関の非営業日にあたる場合は翌営業日）である。
- (4) 口座振替日の前日までに当該口座に授業料相当額を入金しておくこと。

※ 個別に引き落としに係る連絡等は行わない。

* 参考： http://www.u-tokyo.ac.jp/fin02/h01_01_j.html

奨学金について

- (1) 主に、本学独自の学内奨学制度、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・民間団体が設置している奨学金がある。
- (2) 出願方法・スケジュール等の詳細は、随時掲示により周知するので、Web 在校生掲示板を各自確認すること。

* 参考：http://www.u-tokyo.ac.jp/index/h02_j.html

学籍異動について

休学、留学、コース変更、在学期間延長等を願い出る場合は、開始予定日の1ヶ月前までに、所定の様式等を公共政策大学院チーム窓口へ提出すること。

詳細は、後述の「休学の手続きについて」、「海外渡航する場合の手続きについて」、「所属コース変更の手続きについて」、「在学期間延長の手続きについて」の項を参照のこと。

海外渡航について

私的な旅行や一時帰国等、留学以外の海外渡航をする場合、所定の「海外渡航届」を事前に提出すること。

公共政策大学院チーム窓口について

受付時間： 9時00分～17時00分
(土日・休日、年末年始等の休業期間、入学試験実施日等を除く)
E-mail: ppin.j@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
TEL: 03-5841-1349 (受付時間内)

○休学の手続きについて

休学する場合は、次のことを十分心得ておくこと。

1. 手続き

休学をする場合は、休学を希望する1ヶ月前までに、所定の「休学願」を公共政策大学院チームへ提出し、許可を受けなければならない。

休学の基準については、大学院便覧記載の「学生の休学の基準」及び「学生の休学の基準に関する要介護者及び社会に貢献する活動の範囲について」を参照すること。

なお、申請時の休学期間は1年間が最長である。休学を延長する場合は、休学期間が終了する2ヶ月前までに休学の再手続きをすること。

(休学のために必要な書類)

海外への留学(修学)	休学願、修学計画書、入学許可証明書又は在学証明書
海外への学術調査	休学願、調査見学計画書(日程表含む)
経済的理由	休学願、理由書
病気	休学願、診断書
出産又は育児	休学願、母子手帳(写し)
介護	休学願、医師の診断書
社会に貢献する活動	休学願、計画書
一時帰国(留学生)	休学願、理由書

2. 休学期間と修業年限及び在学年数(東京大学大学院専門職学位課程規則第18条)

休学期間として認められる期間は2ヶ月以上で2年を超えることはできない。

休学した期間は修業年限(2年間)及び在学年限(3年間)には算入されないので注意すること。また、休学期間中は、授業科目の履修はできない。

3. 復学

休学期間中に休学の事由が解消された場合は、所定の「復学願」を公共政策大学院チームへ提出すること。また、休学期間が終了し復学する場合も復学願を提出すること。

4. 授業料

休学する者はその期間の授業料は徴収されない。なお、手続きが遅れた場合は、前期分あるいは後期分の授業料を納入しなければならないことがあるので、注意すること。

復学を許可された場合は、復学した月から当該学期末までの授業料を復学した月内に納入しなければならない。なお、既に納入した授業料については、返還しない。

○海外渡航する場合の手続きについて

1. 休学して海外へ渡航

2ヶ月以上、海外の教育・研究施設等において修学する場合、あるいは海外において調査・見学を必要とする場合は、「休学」の手続を行うこと。

休学によって海外へ渡航する場合、休学した期間(上限2年間)は修業年限及び在学年限の計算には算入されない。また、前期分の場合は2月末日、後期分の場合は8月末日までに休学願を提出し許可されれば、休学期間中の授業料は免除される(「休学の手続きについて」

の項を参照すること。)

2. 海外留学（東京大学大学院公共政策学教育部規則第9条2項）

海外の大学等に留学することを希望する者は、公共政策大学院チームで必要な手続きをとること。

外国の大学等において、専攻分野に関する授業科目を履修し単位を取得した場合、修了要件として定められた単位の1/2を超えない範囲で、本教育部において相当する科目及び単位数を修得したものと認定することができる（ただし、公共政策学教育部規則第10条により入学前の既修得単位の認定を受けている者は、公共政策大学院チームに予め問い合わせること。）。

なお、本教育部との交流協定に基づく協定校への留学については、別途掲示される通知を参照すること。

○所属コース変更の手続きについて

特別の事情があると認められた場合に限り、所属するコースを変更することができる。（東京大学大学院公共政策学教育部規則第2条2項）

所属コースの変更は、1回限りとする。また、コース変更にあたっては、①現所属コースに一年以上在籍していること、②変更を希望する先の所属コースの主な科目を履修し、一定の成績を修めていることが必要となる。

コース変更を希望する場合は、あらかじめ公共政策大学院チームに確認すること。

1. 手続き

所属コースの変更を希望する場合は、変更を希望する学期が始まる1ヶ月前までに、所定の「所属コース変更願」を公共政策大学院チームへ提出し、許可を受けなければならない。

2. 所属コース変更と休学期間、修業年限及び在学年数

所属コースを変更した場合の変更後の修業年限、在学年限及び休学期間は、変更前の期間と通算する。

3. 修得単位

所属コースを変更した者が変更前のコースにおいて取得した単位は、本教育部規則第4条に規定する単位に算入することができる。

○在学期間延長の手続きについて

本教育部の標準修業年限は2年間である（東京大学大学院公共政策学教育部規則第3条）。標準年限を超えて在学期間を延長する場合は、当初の修了予定月の前月末までに在学期間延長届を提出すること。（長期履修学生の場合は、公共政策大学院チームに確認すること。）

ただし、本教育部の在学年限は3年である（東京大学大学院専門職学位課程規則第17条）ため、延長できる期間は1年間が最長である（休学期間を除く）。

公共政策大学院の施設利用について

赤門総合研究棟及び国際学術総合研究棟における公共政策大学院関係施設の学生の利用については、下記の通りとする。

I 赤門総合研究棟

1. 利用可能な室名及び利用方法

赤門総合研究棟4階			
室名	人数	設備	利用方法等
学生自習室N	54人		常時施錠。学生証のID情報をカードリーダーに照合させて入室。
学生自習室W	30人		
学生PC室	24人	PC24台 コピー機	常時施錠。学生証のID情報をカードリーダーに照合させて入室。
ディスカッションスペース1	6人		常時開放。
ディスカッションスペース2	6人		
ディスカッションスペース3	6人		
ディスカッションスペース4	6人		
ディスカッションスペース5	6人		
ロッカー室			常時開放。
学生ラウンジ		コピー機	常時開放。

2. 利用日

- 1) 原則として、年末年始その他入学試験等建物への入館できない場合を除いて利用することができる。利用できない日時については、予め公表する。

3. 学生自習室及び学生PC室の利用上の注意

- 1) 室内では静粛にし、他の利用者の迷惑となるような行為を慎むこと。(携帯電話・スマートフォンはマナーモードにし、会話は禁止。)
- 2) 室内でのペットボトル以外の飲食は、原則として禁止する。
- 3) 私物等を置いて席を占拠しないこと。
- 4) 備品その他は大事に使用し、汚さないこと。
- 5) エネルギーの節約のため、使用しないとき、退室時には、電灯、エアコン、PCのスイッチを切り、窓を閉めること。
- 6) 施設の利用にあたっては、利用上の注意事項を守り、学生の自主的な管理に委ねることとする。ただし、注意事項が守られず、不適切な利用が行われたときは、利用を制限することがある。

4. ディスカッションスペースの利用方法

- 1) 利用に際しては、自習室の利用上の注意事項の2)～6)を適用する。

5. ロッカー室及び学生ラウンジの利用上の注意

- 1) 使用を認められたロッカーについては、責任をもって管理すること。
- 2) ラウンジでは飲食をすることができる。ただし、備品等は大事に使用し、部屋を汚さないこと。エネルギーの節約を心掛け、退室時には、電灯、エアコンのスイッチを切ること。

II 国際学術総合研究棟

1. 利用可能な室名及び利用方法

国際学術総合研究棟12階		
室名	人数	利用方法等
演習室A	36人	
演習室B	24人	

演習室 C	24 人	全ての演習室が、公共政策大学院チームへの申込みにより 利用可
演習室 D	24 人	
演習室 E	36 人	
演習室 F	12 人	

2. 利用日及び利用時間

- 1) 原則として、年末年始その他入学試験等建物への入館できない場合を除いて利用することができる。利用できない日時については、予め公表する。
- 2) 利用時間は、午前 9 時から午後 10 時 30 分までとする。

3. 演習室の利用方法

- 1) 学生が演習室を利用する場合は、自主的な勉強会のみとする。
- 2) 演習室の利用を希望する学生は、公共政策大学院チームに申し出ること。
- 3) 利用時間は、原則として 2 時間とし、続けて利用可能な場合は延長することができる。
- 4) 既に予約されている場合でも、授業又は公共政策大学院の行事等の予約申込みがあったときは調整し、予約を変更する場合がある。

4. 演習室利用上の注意

- 1) 室内でのペットボトル以外の飲食は、原則として禁止する。
- 2) 備品その他は大事に使用し、汚さないこと。
- 3) エネルギーの節約のため、使用しないとき、退室時には、電灯、エアコンのスイッチを切り、窓を閉めること。
- 4) 施設の利用にあたって、利用上の注意事項が守られず、不適切な利用が行われたときは、利用を制限することがある。

連絡先一覧

主な所掌事項	担当部署	場所
学籍・履修・成績に関すること、UTASに関すること、教室や自習室等に関すること	公共政策大学院チーム 03-5841-1349	国際学術総合研究棟13階
交換留学・ダブルディグリーに関すること	公共政策大学院チーム exchangej@gs.mail.u-tokyo.ac.jp	国際学術総合研究棟13階
全学の相談施設(部署)への総合案内	なんでも相談コーナー 03-5841-7867、0786 http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/nsc/	プレハブ研究A棟(第2食堂隣)
学業・進路・人間関係等の悩みに関すること、カウンセリング、コンサルテーション	学生相談所 03-5841-2516 http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/scc/	プレハブ研究A棟(第2食堂隣)
キャリア相談、就職活動支援	キャリアサポート室 03-5841-2650 http://www.careersupport.adm.u-tokyo.ac.jp/	学生支援センターB1F
入学料・授業料の免除・徴収猶予に関すること	奨学厚生課奨学チーム 03-5841-2547、2548	学生支援センターB1F
日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・公益法人奨学金に関すること	奨学厚生課奨学チーム(奨学金担当) 03-5841-2520	学生支援センターB1F
学生PC室のプリンター・コピー機に関すること	東大生協 第一購買部 03-3816-0711	
アパート・貸間の紹介	東京大学生協 住まい相談コーナー 03-5841-7945	法文2号館地下1階
定期健康診断、診療、健康相談	本郷保健センター 03-5841-2573 http://www.hc.u-tokyo.ac.jp	第2本部棟2階
セクシュアル・ハラスメントに関すること	ハラスメント相談所 03-5841-2233 http://har.u-tokyo.ac.jp/	医学部1号館1階S107
アカデミック・ハラスメントに関すること	学生相談所、ハラスメント相談所、等	
学内の遺失物、警備、盗難に関すること	警備室 03-5841-4919	安田講堂1階北側(ローソン側)

授業科目表

Class Subject List

最新版は公共政策大学院 Web サイトで
確認すること。

Make sure to check updated list on the GraSPP Website.

Reference : <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/courses/>

履修登録に際しての注意点

原則、既に単位を修得した授業科目名と同一科目名の授業科目を再度履修することはできない。ただし、下記科目を除く。

- ・ 5140735 Case Study (GraSPP Policy Challenge for SDGs 1)
 (旧科目名 : Case Study (GraSPP Policy Challenge I))
 4単位を上限として履修可能

次の表の科目について、科目名が変更となっているが授業内容の重複があるため、昨年度までに下表右の授業科目の単位を修得している者について、下表左の授業科目の履修を認めない。

2021年度の科目名			2020年度までの科目名		
科目番号	授業科目名	単位数	科目番号	授業科目名	単位数
5122110	自治体行政調査	2	5122110	自治体行政聴査	2
5123211-2	Foundations of Development Economics	2	5123211-2	Development Economics I (Foundations of Advanced Development Economics)	2
5123221	Interdisciplinary Issues in Development Economics	2	5123221	家計とコミュニティの開発経済学	2
5140011	事例研究 (政策分析・立案実践)	2	5140011	事例研究 (法政策I-A)	2
5140398	Case Study (Fiscal, Macroprudential, and Monetary Policy (I))	2	5140398	Case Study (Macro-Financial Linkages)	2
5140738	Case Study (Learning with Public Policy Cases for SDGs)	2	5140738	Case Study (Writing Public Policy Cases for SDGs)	2
5140751	事例研究 (中央省庁における政策立案 I)	2	5140751	事例研究 (社会構想マネジメント、ソフトパワー・人材政策 I)	2
5140752	事例研究 (中央省庁における政策立案 II)	2	5140752	事例研究 (社会構想マネジメント、人材政策、ソフトパワー政策 II)	2
5140771	Case Study (Fiscal, Macroprudential, and Monetary Policy (II))	2	5140771	Case Study (Current Global Economic Issues)	2

次の表の科目について、授業内容の重複があるため、昨年度に下表右の授業科目の単位を修得している者について、下表左の授業科目の履修を認めない。

2021年度の科目			2020年度の科目		
科目番号	授業科目名	単位数	科目番号	授業科目名	単位数
5122201-1	Contemporary Chinese Politics	2	5122201-1	Contemporary Chinese Politics and Diplomacy	2
5122201-2	Contemporary Chinese Diplomacy	2			

2021年度公共政策学教育部授業科目表

Class Subject List offered by GraSPP for AY2021/2022

Courses taught in English are indicated by English course titles.

基幹科目（法律分野） / Basic Courses: Law

基幹科目（政治分野） / Basic Courses: Political Science

基幹科目（経済分野） / Basic Courses: Economics

展開科目（法律分野） / Topics Courses: Law

展開科目（政治分野） / Topics Courses: Political Science

展開科目（経済分野） / Topics Courses: Economics

実践科目 / Practical Training

事例研究 / Case Studies

リサーチペーパー・研究論文 / Research Paper and Thesis

公共政策学専攻

	科目 番号	授 業 科 目	担 当 教 員		学期	単位数			備 考
			職 名	氏 名		講 義	演 習	実 習	
基 幹 科 目	法 律 分 野	5111010	*民事法の基層と現代的課題	教授	石川 博康	S1S2	2		
		5111020	*公法の基層と現代的課題	教授	宍戸 常寿	S1S2	2		
			非常勤講師	寺田 麻佑					
		5111040	行政組織法	教授	太田 匡彦	S1S2	2		(法)
		5111050	財政法	教授	藤谷 武史	A1A2	2		(法科)(総)
		5111060	地方自治法	教授	太田 匡彦	A1A2	2		(法科)(総)
		5111070	地方財政・租税論	教授	藤谷 武史	S1S2	2		(法科)(法)(総)
		5111080	租税政策	教授	藤谷 武史	A1A2	2		(法科)(法)(総)
		5111090	立法学	非常勤講師	伊藤 和子	A1A2	2		(法科)(総)実践科目
		5111110	刑事政策	教授	川出 敏裕	A1A2	2		(法科)(総)
		5111120	知的財産政策	非常勤講師	加藤 浩	S1S2	2		実践科目
		5111150	国際組織と法	教授	森 肇志	S1S2	2		(法科)
		5111160	国際経済法	教授	伊藤 一頼	S1S2	2		(法科)(総)
		5111170	国際人権法	教授	寺谷 広司	S1S2	2		(法科)(総)
		5111200	法制執務の基礎と応用-法治国家の政策対応	非常勤講師	外山 秀行	S1S2	2		実践科目
		5111210	Introduction to Japanese Law	特任教授	FOOTE Daniel	A1A2	2		(法)(総)E
政 治 分 野		5112010	*政治学I	教授	谷口 将紀	A1A2	2		(法)(総)
		5112030	政治思想と公共政策	教授	荻部 直	S1S2	2		(法)(総)
		5112040	政策分析	非常勤講師	田邊 國昭	S1S2	2		[科]
		5112050	自治体行政学	教授	金井 利之	S1S2	2		(法)(総)実践科目
		5112060	公共管理論I	教授	金井 利之	S1S2	2		実践科目
			非常勤講師	尾西 雅博					
		5112070	公共管理論II	准教授	正木 祐輔	A1A2	2		実践科目
		5112080	ポリティカル・メソドロギー	教授	加藤 淳子	S1S2	2		(総)(総合文化)
		5112090	国際行政論	教授	城山 英明	A1A2	2		(法)(総)
		5112101	国際政治経済 I	教授	飯田 敬輔	S1S2	2		(法)(総)
		5112102	国際政治経済 II		(未定)		2		
		5112111	International Conflict Study	教授	藤原 帰一	S1S2	2		(法)(総)(学際)[G2.0]E
		5112131	Science, Technology and Public Policy	教授	城山 英明	A1	2		(工)(新領域)[海][科][G2.0]E
			非常勤講師	ALEMANNO Alberto					
			特任准教授	松尾 真紀子					
		5112140	開発研究	教授	佐藤 仁	A1	2		(総合文化)(新領域)実践科目
		5112150	政策過程論	非常勤講師	田邊 國昭	A1A2	2		[科]

		5112170	現代日本政治	教授	谷口 将紀	S1S2	2		(法)(総)
		5112181	Modern Japanese Diplomacy	非常勤講師	竹内 春久	S1S2	2		(法)(総)(学際)E
		5112191	Policy Process and Negotiation	准教授	青木 尚美	S1S2	2		[科]実践科目[G2.0]E
		5112195	Field Seminar in International Relations	教授	HENG Yee Kuang	S1S2	2		E
		5112211	Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process	客員教授	青井 千由紀 林 良造	A1A2	2		実践科目E
		5112220	Governance and Development	非常勤講師	元田 結花	A1A2	2		[G2.0]E
		5112242-3	農村統治における個と集団	教授	松里 公孝	A1A2	2		(法)(総)
		5112243-3	旧社会主義国における恩顧政治と支配党	教授	松里 公孝	S1S2	2		(法)(総)
		5112250	Introduction to Social Science	特任准教授	ORSI Roberto	A1A2集中	2		[G2.0]E
		5112260	Introduction to International Politics	特任准教授	ORSI Roberto	A1A2	2		[G2.0]E
		5112265	Introduction to Public Management	准教授	青木 尚美	A1A2	2		[G2.0]E
		5112270	Security Studies	教授	HENG Yee Kuang	A1A2	2		E
経済分野		5113007	*Principles of Microeconomics	教授	小川 光	S1	2		E
		5113009	*Principles of Macroeconomics	非常勤講師	吉野 直行	S2	2		E
		5113016	*Microeconomics for Public Policy	教授	飯塚 敏晃	A1A2	4		[G2.0]E
		5113017	*Practice Session for Microeconomics for Public Policy	教授	飯塚 敏晃	A1A2	1		E
		5113018	*Macroeconomics for Public Policy	教授	楡井 誠	S1S2	4		[G2.0]E
		5113019	*Practice Session for Macroeconomics for Public Policy	教授	楡井 誠	S1S2	1		E
		5113021	Microeconomics	教授	渡辺 安虎	S1S2	4		[G2.0]E
		5113031	Practice Session for Microeconomics	教授	渡辺 安虎	S1S2	1		E
		5113041	*Macroeconomics	准教授	仲田 泰祐	A1A2	4		[G2.0]E
		5113051	*Practice Session for Macroeconomics	准教授	仲田 泰祐	A1A2	1		E
		5113060	*統計分析手法	非常勤講師	陣内 悠介	S1S2	4		
		5113061	*Statistical Methods	教授	重岡 仁	A1A2	4		[G2.0]E
		5113065	*Practice Session for Statistical Methods	教授	重岡 仁	A1A2	1		E
		5113074	Econometrics for Public Policy	教授	川口 大司	S1S2	4		E
		5113075	Econometrics for Public Policy	教授	Chen Stacey	A1A2	4		E
		5113084	Practice Session for Econometrics for Public Policy	教授	川口 大司	S1S2	1		E
		5113085	Practice Session for Econometrics for Public Policy	教授	Chen Stacey	A1A2	1		E
		5113090	公共政策の経済評価	教授	岩本 康志	A1A2	4		[科]実践科目
		5113100	公共政策の経済評価実習	教授	岩本 康志	A1A2	1		[科]実践科目
		5113152	International Trade Policy	講師	KUCHERYAVY Konstantin	S1S2	2		(経)E
		5113161	International Financial Policy	特任講師	服部 孝洋	A1	2		(経)E
		5113180	Development Economics: Microeconomic Approach	教授	高崎 善人	A1A2	2		(経)[G2.0]E
		5113190	Development Economics: Macroeconomic Approach	非常勤講師	FABINGER Michal	S1S2	2		(経)[G2.0]E
		5113195	Political Economy of Regime Change	講師	高木 悠貴	A1A2	2		(経)(経学)E
		5113225	Introduction to Game Theory	講師	高木 悠貴	S1S2	2		(法科)(法)(総)E
		5113240	Economic Analysis of Public Sector	教授	小川 光	A1A2	2		[科]E
展開科目	法律分野	5121010	環境法	教授	中谷 和弘	S1S2	2		(法科)[G2.0]
				非常勤講師	大塚 直				
				非常勤講師	桑原 勇進				
		5121020	競争政策と法	教授	白石 忠志	S1S2	4		(法科)(総)
		5121022	Big Tech and competition law: how has competition law dealt with GAFA?	教授	SIMON A.W. Vande Walle	A1A2	2		(法科)(法)(総)(経)(経学)E
		5121040	経済刑法	教授	和田 俊憲	A1A2	2		(法科)(総)
		5121050	公共哲学と法	教授	瀧川 裕英	A1A2	2		
		5121080	労働法政策	非常勤講師	濱口 桂一郎	S1S2	2		実践科目
		5121090	社会保障法政策	客員教授	鈴木 俊彦	A1A2	2		(総)(医)
		5121105	国際法の基礎理論	教授	伊藤 一頼	A1A2	2		(法科)(法)(総)(経)
		5121110	国際租税法	教授	神山 弘行	S1S2	2		(法科)(総)

			非常勤講師	佐藤 修二				
	5121121	International Environmental Law	教授	高村 ゆかり	S1S2	2		E
	5121130	国際空間秩序と法	教授	中谷 和弘	S1S2	2		(法科)(総)[海]
	5121150	ヨーロッパ法	教授	伊藤 洋一	S1S2	2		(法科)(総)(総合文化)
	5121203	ヨーロッパ統合と法 3	教授	伊藤 洋一	S1S2	2		(法科)(法)(総)
	5121204	ヨーロッパ統合と法 4	教授	伊藤 洋一	A1A2	2		(法科)(総)
			非常勤講師	網谷 龍介				
	5121227	国家と法の基本問題	教授	石川 健治	A1A2	2		(法科)(法)(総)
	5121271	金融商品取引法	客員教授	大崎 貞和	S1S2	2		実践科目
	5121272	上級金融商品取引法	客員教授	大崎 貞和	A1A2	2		(法科)(総)実践科目
	5121291	医事法発展演習	教授	米村 滋人	A1A2	2		(法)(総)実践科目
	5121300	金融法	教授	加藤 貴仁	A1A2	2		(法)(総)
			教授	松井 智予				
	5121306	財政と金融の法	教授	藤谷 武史	S1S2	2		(法科)(法)(総)
	5121380	法医学	非常勤講師	岩瀬 博太郎	S1S2	2		(法)
	5121394	Perspectives on Law : Japanese Law as Viewed from Abroad	特任教授	F00TE Daniel	S1S2	2		(法科)(総)E
	5121424	アメリカ信託・信託法	教授	溜箭 将之	A1A2	2		(法科)(総)
	5121433	証券市場法演習	客員教授	大崎 貞和	A1A2	2		(法)(総)
			非常勤講師	朱 大明				
	5121436	国際商事仲裁	非常勤講師	唐津 恵一	A1A2	2		(法科)(総)
	5121452	アジア・ビジネス法	教授	平野 温郎	S1S2	2		(法)(総)実践科目
	5121454	国際ビジネス法	教授	平野 温郎	S1S2	2		(法)(総)
	5121455	グレーターチャイナ・ビジネス法	教授	平野 温郎	A1A2	2		(法)(総)実践科目
	5121458	Law and the Formation of Transnational East Asia	教授	松原 健太郎	S1S2	2		(法科)(法)(総)
			特任准教授	T10JANCO Bryan				
	5121461	Law and Society in East Asia	教授	松原 健太郎	S1S2	2		(法)(総)
	5121470	国際法の基本問題	教授	寺谷 広司	A1A2	2		(法科)(総)
	5121481	行政法各論 (個人情報保護法制)	准教授	巽 智彦	A1A2	2		(法科)(法)(総)
	5121490	国際法実務演習	非常勤講師	岡野 正敬	S1S2	2		実践科目
			非常勤講師	錦織 有史				
	5121501	沿岸域管理法制度論	非常勤講師	三浦 大介	A1A2	2		[海]
	5121510	コーポレートガバナンス	客員教授	林 良造	S1S2	2		
			客員教授	中原 裕彦				
			非常勤講師	萬澤 陽子				
政治分野	5122011	市民社会組織・政策論	客員教授	田中 弥生	S1S2	2		[科]
	5122020	比較政策過程論	教授	中山 洋平	A1A2	2		
			非常勤講師	若松 邦弘				
			非常勤講師	岡山 裕				
	5122035	政府間関係論	教授	金井 利之	A1A2	2		(総)
	5122061	Governance and Policies of EU	教授	鈴木 一人	A1A2	2		(総)[G2.0]E
	5122070	地域政治A (現代中国の政治)	教授	高原 明生	S1S2	2		(法)(総)(総合文化)(新領域)
	5122080	地域政治B (現代東南アジアの政治)	教授	藤原 帰一	A1A2	2		(法)(総)
	5122081	地域政治B (現代南アジアの政治)	非常勤講師	竹中 千春	A1A2	2		(法)(総)
	5122096	地域政治C (現代ドイツの政治)	教授	平島 健司	A1A2	2		(法)(総)
	5122110	自治体行政調査	教授	金井 利之	A1A2	2		(法)(総)実践科目
	5122114	Local Governments and Internal Affairs in Japan	准教授	正木 祐輔	S1S2	2		実践科目E
	5122135	New Dimensions of Security in the Risk Age	教授	HENG Yee Kuang	S1S2	2		[G2.0]E
	5122137	Ethics and International Relations	特任准教授	ORSI Roberto	A1A2	2		E
	5122156	国際政治特殊研究	教授	藤原 帰一	S1S2	2		(法)(総)
	5122158	Insurgency and Counterinsurgency	教授	青井 千由紀	S1S2	2		E
	5122159	Transformation of Warfare and Technology	教授	青井 千由紀	A1A2	2		[G2.0]E

	5122140	国際政治経済の諸問題	教授	飯田 敬輔	A1A2	2	(法)(総)
	5122170	西欧比較政治論	教授	中山 洋平	S1S2	2	(法)(総)
	5122182	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy	教授	高原 明生	S1S2	2	(法)(経学)実践科目E
			教授	五百旗頭 薫			
			非常勤講師	加藤 宏			
			非常勤講師	萱島 信子			
			非常勤講師	北岡 伸一			
			非常勤講師	北野 尚宏			
			講師	JIN Bei			
			非常勤講師	澤田 寛之			
			教授	西沢 利郎			
			教授	松原 健太郎			
			客員教授	林 良造			
			教授	牧原 出			
			非常勤講師	山田 順一			
	5122201-1	Contemporary Chinese Politics	非常勤講師	林 載桓	A1A2	2	(法)(総)(新領域)(学際)[G2.0]E
	5122201-2	Contemporary Chinese Diplomacy	教授	高原 明生	A1A2	2	(法)(総)(新領域)(学際)[G2.0]E
	5122202	比較政治学・概論	教授	MCELWAIN Kenneth Mori	A1A2	2	(法)(総)(学際)
	5122207	Policy and Governance in Contemporary China	講師	JIN Bei	S1S2	2	E
	5122211	発展途上国の政治	教授	大串 和雄	S1S2	2	(法)(総)
	5122215	先進国の比較政治	非常勤講師	網谷 龍介	A1A2	2	(法)(総)
	5122236	International Politics in East Asia	准教授	佐橋 亮	A1A2	2	(総)(学際)E
	5122295	集団間和解の社会心理学	教授	大串 和雄	A1A2	2	(法)(総)
	5122296	社会的アイデンティティと紛争	教授	大串 和雄	S1S2	2	(法)(総)
	5122370	現代日本政治文献講読	教授	谷口 将紀	S1S2	2	(法)(総)
	5122375	Quantitative Social Science	教授	今井 耕介	S1S2集中	2	(法)(総)(総合文化)E
	5122384	Space Development and Public Policy	非常勤講師	菊地 耕一	A1A2	2	[科][G2.0]E
			教授	城山 英明			
			教授	中須賀 真一			
			非常勤講師	栗山 育子			
	5122394	現代ヨーロッパにおける国家とデモクラシー	教授	平島 健司	A1A2	2	(総)(総合文化)
	5122400	Global Governance	非常勤講師	TIBERGHIE Yves	A1A2集中	2	[G2.0]E
	5122402	Japan in Today's World	教授	藤原 帰一	S1S2集中	2	(法)(総)実践科目E
	5122405	Gender and Politics	講師	高木 悠貴	A1A2	2	(法科)(法)(総)(経)(経学)
	5122451	Healthy Policy and Governance	講師	JIN Bei	A1A2	2	E
	5122501	海洋科学技術政策論	特任講師	山口 健介	A1A2	2	[海][科]実践科目
			教授	城山 英明			
	5122502	海事政策論	非常勤講師	長谷 知治	A1A2	2	[海]実践科目
	5122503	Global Political Economy	教授	鈴木 一人	A1A2	2	[G2.0]E
	5122504	Science and Technology in International Relations	教授	鈴木 一人	S1S2	2	(総)[科][G2.0]E
経済分野	5123021	環境政策	特任教授	有馬 純	A1A2	2	(経学)
	5123026	再生可能エネルギーと公共政策	特任教授	有馬 純	S1S2	2	(経学)
	5123028	観光政策概論	客員教授	佐藤 善信	S1S2	2	[科]
			教授	大橋 弘			
			特任准教授	三重野 真代			
	5123029	観光地域政策	客員教授	佐藤 善信	A1A2	2	[科]
			教授	大橋 弘			
			特任准教授	三重野 真代			
	5123030	都市地域政策	特任教授	軸丸 真二	A1A2	2	(経)
			教授	高橋 孝明			
			非常勤講師	河端 瑞貴			
	5123031	地域交通政策研究	客員教授	宿利 正史	A1A2	2	[科]

5123032-1	Energy Security	特任教授	軸丸 真二				
		特任教授	有馬 純	S1S2	2		実践科目 [G2.0]E
		客員教授	田中 伸男				
5123032-2	Energy Security	特任教授	有馬 純	A1A2	2		実践科目 [G2.0]E
		客員教授	田中 伸男				
5123033	Energy Systems	准教授	小宮山 涼一	S2	2		(工) [科]E
		教授	藤井 康正				
5123034	Resilience Engineering	准教授	小宮山 涼一	S1S2	2		(工) [科] [G2.0]E
		教授	古田 一雄				
5123036	Advanced Topics in International Trade	特任講師	藤井 大輔	S1S2	2		(経)E
5123038	Data Science for Practical Economic Research	講師	KUCHERYAVYY Konstantin	S1S2	2		(経) (経学) [科] [G2.0]E
5123042	International Trade	教授	古澤 泰治	A1A2	2		(経)E
5123045	Data Science and Machine Learning	非常勤講師	FABINGER Michal	S1S2	2		(経) (経学)E
5123046	食糧安全保障と農業政策	非常勤講師	山下 一仁	S1S2	2		実践科目
5123047	Behavioral Science for Public Policy	非常勤講師	大貫 真友子	A1A2	2		E
5123062	国際開発政策・評価論	非常勤講師	青柳 恵太郎	A1A2	2		実践科目
5123081	Political Economics	教授	渡辺 安虎	A1A2	2		(経) (経学) [科]E
5123171	日本の財政金融政策	特任講師	服部 孝洋	S1S2	2		(経学) 実践科目
		教授	仲 浩史				
5123172	Evolution of Global Economic Policies	客員教授	中尾 武彦	A1A2	2		実践科目E
5123211-2	Development Economics I (Foundations of Advanced Development Economics)	教授	澤田 康幸	A2	2		(経) (経学) (総合文化)E
5123215	Contemporary Issues in Development Economics	教授	CHEN Stacey	A1A2	2		(経)E
5123221	Interdisciplinary Issues in Development Economics	准教授	庄司 匡宏	A2	2		(経)E
5123245	保健医療経済学	教授	康永 秀生	S1	2		(医)
5123250	エネルギー政策	客員教授	小山 堅	S1S2	2		(経学)
		特任教授	有馬 純				
5123256	Central Banking	非常勤講師	関根 敏隆	S1S2	2		E
5123262	Asian Economic Development and Integration	非常勤講師	吉野 直行	A1A2	2		[G2.0]E
5123272	医療イノベーション政策	客員教授	大西 昭郎	A1A2	2		[科] 実践科目
		教授	鈴木 寛				
		客員教授	林 良造				
5123300	Asian Financial Markets	客員教授	河合 正弘	S1S2	2		E
5123311	Introduction to Auctions and Mechanism Design	講師	MARSZALEC Daniel Janusz	S1S2	2		(経) (経学)E
5123312-1	Essential Academic Skills: Writing and Research Planning	講師	MARSZALEC Daniel Janusz	S1	2		(経) (経学)E
5123312-2	Essential Academic Skills: Speaking and Presentation	講師	MARSZALEC Daniel Janusz	S2	2		(経) (経学)E
5123350	Public Policy and Energy	特任教授	芳川 恒志	A1A2	2		実践科目 [G2.0]E
		客員教授	BIROL Fatih				
		非常勤講師	日下 一正				
		客員教授	田中 伸男				
5123370	Economic Development in Korea and other Asian countries	教授	福田 慎一	S1S2	2		(経) (経学)E
		非常勤講師	LEE Doowon				
5123400	Economic Analysis of Innovation	客員准教授	鎗目 雅	S1S2集中	2		[科] [G2.0]E
5123402	Advanced Time Series Analysis	教授	新谷 元嗣	A1A2	2		(経) (経学)E
5123405	Global Financial Regulation	客員教授	河合 美宏	A1A2	2		実践科目E
5123433	Sovereign Debt	教授	西沢 利郎	A1A2	2		実践科目E
5123440	経済物理学	准教授	島田 尚	S1S2集中	2		実践科目 [G2.0]
		教授	和泉 潔				
		特任講師	坂地 泰紀				
		非常勤講師	高安 秀樹				

			非常勤講師	高安 美佐子					
			非常勤講師	水田 孝信					
			非常勤講師	山田 健太					
			非常勤講師	金澤 輝代士					
	5123450	国際交通政策	客員教授	宿利 正史	S1S2	2		[科]	
			特任教授	軸丸 真二					
			教授	大橋 弘					
	5123471	Labor Economics	教授	川口 大司	A1A2	2		(経)(経学)E	
	5123475	機械学習の実証経済学への応用	准教授	川田 恵介	A1A2	2		(経)(経学)	
	5123480	コーポレートファイナンスと公共政策	非常勤講師	新井 富雄	A1A2	2			
	5123485	Environmental Economics	教授	高崎 善人	A1A2	2		(経)E	
	5123487	Economic Crisis	准教授	岡地 迪尚	A2	2		(経)E	
	5123488-1	金融市場と公共政策	特任教授	池田 宜睦	S1S2	2		(経学)実践科目	
	5123489	Empirical I.O. Methods for Financial Institutions	講師	若森 直樹	A1A2	2		(経)E	
	5123491	規制政策	教授	松村 敏弘	A1A2	2		(経学)[科]	
	5123495	Monetary Policy	教授	青木 浩介	S1	2		(経)(経学)E	
	5123498	Advanced Industrial Organization	講師	若森 直樹	S1	2		(経)E	
	5123499	Financial Markets and Institutions	特任講師	服部 孝洋	A1A2	2		E	
	5123502	Topics in Industrial Organization		(未定)		2		E	
	5123503	Digital Governance: How to redesign Technology, Law, and Market		(未定)		2		E	
	5123504	Economics of Markets and Competition Policy	教授	大橋 弘	A1A2	2		(経)E	
実践科目	5130010	政策分析・立案の基礎	准教授	正木 祐輔	A1A2	2		実践科目	
	5130020-1	交渉と合意	客員教授	松浦 正浩	S1S2集中	2		[海][科]実践科目[G2.0]	
	5130035	教育政策と教育法	教授	鈴木 寛	A1A2	2		実践科目	
	5130076	International Organizations for Sustainable Development in the 21st Century	特任教授	芳川 恒志	A1A2	2		実践科目[G2.0]E	
			特任准教授	ORSI Roberto					
			教授	城山 英明					
	5130092	Development Operations of the World Bank Group	教授	仲 浩史	S1S2	2		実践科目E	
	5130095	消費者政策の現代的展開	教授	山本 隆司	S1S2	2		実践科目	
			非常勤講師	山田 正人					
			非常勤講師	加納 克利					
	5130120	精神保健学 I	教授	川上 憲人	S1S2	2		(医)実践科目	
			准教授	西 大輔					
	5130200	Advanced Academic Writing	非常勤講師	FAYE Singh	A1A2	2		実践科目E	
	5130205	Introduction to Academic Writing	非常勤講師	FAYE Singh	A1A2	2		実践科目E	
	5130210	Presentations and Discussion	非常勤講師	FAYE Singh	S1S2	2		実践科目E	
	5130220	Advanced Study of Science & Technology	教授	小林 廉毅	A1集中	2		[科]実践科目[G2.0]E	
			教授	光石 衛					
			非常勤講師	中富 浩文					
			教授	元橋 一之					
			教授	松橋 隆治					
			教授	古田 一雄					
			教授	加納 信吾					
			教授	丸山 茂夫					
			特任教授	李 廷秀					
	5130230	Social Design and Global Leadership	教授	鈴木 寛	S1S2集中	2		[科]実践科目[G2.0]E	
			教授	城山 英明					
			教授	鈴木 一人					
	5130235	Exploring a New Global Governance in the Changing Geopolitical Dynamics	客員教授	渡辺 哲也	A1A2	2			
	5130245	Global Health Policy	教授	橋爪 真弘	S1A1	2		(医)[科]実践科目[G2.0]E	

	5130248	Introduction to Cybersecurity Policy	客員教授	林 良造	S1S2	2		実践科目 [G2.0]E
			客員教授	大西 昭郎				
			客員教授	高見澤 将林				
	5130250	Mathematics for Public Policy	非常勤講師	柿中 真	A1A2	1		実践科目E
	5130260	社会保障・人口問題の現代的諸相	非常勤講師	佐藤 格	A1A2	2		実践科目
	5130270	医療コミュニケーション学	教授	木内 貴弘	S1	2		(医)実践科目
			准教授	奥原 剛				
	5130290	International Projects	教授	加藤 浩徳	S2	2		(工)実践科目E
			准教授	小松崎 俊作				
	5130310	電力ネットワーク政策	客員教授	金本 良嗣	S1S2	2		[科]実践科目
			非常勤講師	山次 北斗				
	5135030	CAMPUS Asia Joint Course: International Public Policy in East Asia	特任講師	服部 孝洋	S1S2	4		実践科目E
	5139000	インターンシップ		各教員	通年	1		実践科目
事例研究	5140011	事例研究 (政策分析・立案実践)	准教授	正木 祐輔	S1S2		2	実践科目
	5140041	事例研究 (現代行政I)	客員教授	増田 寛也	A1A2		2	(総)
	5140060	事例研究 (現代行政III)	教授	金井 利之	通年		4	(法)(総)実践科目
	5140076	事例研究 (テクノロジーアセスメント)	客員教授	谷口 武俊	S1S2		4	(工)[科][G2.0]
			特任准教授	松尾 真紀子				
	5140078	事例研究 (人工知能と社会)	准教授	江間 有沙	S1S2		2	(総合文化)(情報理工)(学際)[科][G2.0]
			教授	國吉 康夫				
			教授	佐倉 統				
			教授	城山 英明				
	5140079	Case Study (Cybersecurity)	客員教授	林 良造	A1A2		2	実践科目E
			客員教授	大西 昭郎				
			客員教授	高見澤 将林				
	5140090	事例研究 (外交政策I)	客員教授	齋木 尚子	S1S2		4	実践科目
	5140100	事例研究 (外交政策II)	客員教授	齋木 尚子	A1A2		4	実践科目
	5140165	事例研究 (デジタル時代の行政と社会)	教授	城山 英明	A1A2		2	(情報理工)[科][G2.0]
			准教授	青木 尚美				
			教授	江崎 浩				
			非常勤講師	羅 芝賢				
			非常勤講師	座間 敏如				
			非常勤講師	平本 健二				
	5140202	事例研究 (政策評価のための因果推論I)	教授	川口 大司	S1S2		2	★
			准教授	正木 祐輔				
	5140203	事例研究 (政策評価のための因果推論II)	教授	川口 大司	A1A2		2	★
			准教授	正木 祐輔				
	5140205	事例研究 (公共経済政策：問題分析)	教授	小川 光	S1S2		2	実践科目★
			非常勤講師	深澤 映司				
	5140206	事例研究 (公共経済政策：解決策分析)	教授	小川 光	A1A2		2	実践科目★
			非常勤講師	深澤 映司				
	5140209	Case Study (Japanese Foreign Economic Policy)	教授	飯田 敬輔	A1A2		4	(法)(学際)E
	5140217	事例研究 (政治とマスメディア I)	教授	谷口 将紀	S1S2		2	(法)(総)実践科目
			非常勤講師	佐藤 武嗣				
	5140218	事例研究 (政治とマスメディア II)	教授	谷口 将紀	A1A2		2	(法)(総)実践科目
			非常勤講師	佐藤 武嗣				
	5140280	事例研究 (財政政策 I)	教授	岩本 康志	S1S2		2	実践科目★
	5140286	Case Study (International Intellectual Property Management)	教授	渡部 俊也	A1A2		2	(工)[科]実践科目E
	5140298	Case Study (Japanese Macroeconomic Policy: Solutions to Monetary and Fiscal Policy Challenges)	非常勤講師	林 伴子	S1S2		2	実践科目E★

5140299	事例研究（日本のマクロデータによる政策分析）	非常勤講師	林 伴子	A1A2	2	実践科目★
		非常勤講師	梅溪 健児			
5140301	事例研究（医療政策・問題分析）	教授	飯塚 敏晃	S1S2	2	実践科目★
5140310	事例研究（財政政策Ⅱ）	教授	岩本 康志	A1A2	2	実践科目★
5140331	事例研究（医療政策・解決策分析）	教授	飯塚 敏晃	A1A2	2	実践科目★
5140348	事例研究（金融システム分析）	特任教授	池田 宜睦	S1S2	2	実践科目★
5140393	Case Study (Quantitative Macroeconomics I)	教授	楡井 誠	S1S2	2	E★
5140394	Case Study (Quantitative Macroeconomics II)	教授	楡井 誠	A1A2	2	E★
5140395	事例研究（資本市場と公共政策）	客員教授	小野 傑	A1A2	2	(法科)(総)実践科目
		特任教授	池田 宜睦			
5140396	事例研究（金融資本市場論）	特任教授	池田 宜睦	A1A2	2	実践科目★
5140397-1	事例研究（信託法に関する実務上の諸問題）	非常勤講師	水野 大	S1S2	2	(法)(総)実践科目
5140398	Case Study (Fiscal, Macroprudential, and Monetary Policy (I))	准教授	仲田 泰祐	A1A2	2	E★
5140399	Case Study (Macroeconomic Policy for Practitioners)	非常勤講師	SCHIFF Jerald	S2	2	★
		教授	西沢 利郎			
5140404-3	Case Study (Foreign Policy of Japan)	非常勤講師	竹内 春久	A1A2	2	実践科目E
5140412	Case Study (International Financial Institutions)	客員教授	河合 美宏	A1A2	2	実践科目E★
5140414	事例研究（企業の技術戦略と国際公共政策）	非常勤講師	中川 淳司	S1S2	2	[科]実践科目
		客員教授	米谷 三以			
5140415	事例研究（国際経済ルール形成と利用）	非常勤講師	中川 淳司	A1A2	2	(法科)実践科目
		客員教授	米谷 三以			
5140416	Case Study (Global Financial Policy Making)	客員教授	河合 美宏	A1A2	2	実践科目E★
5140418	事例研究（国際経済関係の法と政策）	客員教授	米谷 三以	S1S2	2	実践科目
5140485	事例研究（政策環境・事業環境検討手法としてのシナリオプランニング：理論と実践）	非常勤講師	杉野 綾子	S1S2	2	[科]実践科目
5140486	Case Study (Business Environment, Stakeholders and Issues; a Learning Experience in Collaboration with Japanese Industry)	非常勤講師	九門 崇	A1A2	2	[科]実践科目[G2.0]E
5140488	Case Study (Public-Private Partnerships)	教授	西沢 利郎	S1S2	2	実践科目[G2.0]E★
5140498	Case Study (Institutions and Methods of Health Technology Assessment in Healthcare Policy)	特任教授	鎌江 伊三夫	A1A2	2	[科][G2.0]E★
5140500	事例研究（海洋問題演習Va）	教授	木村 伸吾	S1S2	2	[海]実践科目
		特任講師	山口 健介			
5140501	事例研究（海洋問題演習Vb）	教授	木村 伸吾	A1A2	2	[海]実践科目
		特任講師	山口 健介			
5140600	事例研究（科学技術イノベーション政策研究）	特任准教授	松尾 真紀子	A1A2	2	(工)[科]実践科目
		特任講師	木見田 康治			
		非常勤講師	牧岡 亮			
5140610	事例研究（科学技術と政治・行政Ⅰ）	教授	城山 英明	S1S2	2	(法)(総)[科]
5140700-1	Case Study (International Energy Governance)	特任教授	有馬 純	S1S2	2	実践科目E
		客員教授	田中 伸男			
5140700-2	Case Study (International Energy Governance)	特任教授	有馬 純	A1A2	2	実践科目E
		客員教授	田中 伸男			
5140715	事例研究（コーポレートガバナンス）	客員教授	林 良造	A1A2	2	
		客員教授	中原 裕彦			
		非常勤講師	萬澤 陽子			
5140723	Case Study (Finance and Development in Emerging Asia)	教授	西沢 利郎	A1A2	2	実践科目E★
5140730-1	Case Study (International Field Workshop)	教授	西沢 利郎	S2集中	2	実践科目[G2.0]E
5140730-2	Case Study (International Field Workshop)	教授	西沢 利郎	A2集中	2	実践科目[G2.0]E
5140735	Case Study (GraSPP Policy Challenge: Global Innovative Public Policy Solutions)	教授	鈴木 寛	A2集中	2	[科]実践科目[G2.0]E
		特任准教授	ORSI Roberto			
5140738	Case Study (Learning with Public Policy Cases for SDGs)	教授	西沢 利郎	S1S2	2	実践科目[G2.0]E

			非常勤講師 非常勤講師 教授 非常勤講師 教授 准教授	SETHARAM Kallidaikurichi Easwaran 福井 龍 鈴木 寛 五十棲 浩二 城山 英明 青木 尚美	A1A2集中	2	[科]実践科目[G2.0]E	
		5140741	Case Study (Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions)					
		5140742	Case Study (GPPN SDG Certificate)	特任准教授	ORSI Roberto	A2S1	2	実践科目E
		5140743	Case Study (Social Design and Management)	教授 特任准教授 教授 教授 教授 教授 教授	城山 英明 ORSI Roberto 光石 衛 丸山 茂夫 八木 信行 加納 信吾	S1S2集中	2	(工) (農) (新領域) [科]実践科目[G2.0]E
		5140751	事例研究 (中央省庁における政策立案Ⅰ)	教授	鈴木 寛	S1S2	2	実践科目
		5140752	事例研究 (中央省庁における政策立案Ⅱ)	教授	鈴木 寛	A1A2	2	実践科目
		5140771	Case Study (Fiscal, Macroprudential, and Monetary Policy (II))	非常勤講師 准教授	加藤 涼 仲田 泰祐	S1S2	2	E★
		5140790-1	Case Study (Development Economics and Policy I)	教授	高崎 善人	S1S2	2	E★
		5140791-1	Case Study (Development Economics and Policy II)	教授	高崎 善人	A1A2	2	E★
		5140792	Case Study (How a policy is formulated, and implemented at the Office of Prime Minister of Japan? How the policy has been tried to be penetrated?)	客員教授	長谷川 榮一	S2	2	
		5150010	リサーチペーパー		各教員	通年	2	
		5150011	Research Paper		各教員	年度跨り	2	
		5150020	研究論文		各教員	通年	6	
		5150021	Thesis		各教員	年度跨り	6	

※ (法科)は、法科大学院との合併授業を示す。

(総)は、法学政治学研究科総合法政専攻との合併授業を示す。

(法)は、法学部との合併授業を示す。

(経)は、経済学研究科との合併授業を示す。

(経学)は、経済学部との合併授業を示す。

(人文)は、人文社会系研究科との合併授業を示す。

(教育学)は、教育学研究科との合併授業を示す。

(総合文化)は、総合文化研究科との合併授業を示す。

(教養)は、教養学部後期課程との合併授業を示す。

(工)は、工学系研究科との合併授業を示す。

(農)は、農学生命科学研究科との合併授業を示す。

(医)は、医学系研究科との合併授業を示す。

(新領域)は、新領域創成科学研究科との合併授業を示す。

(情報理工)は、情報理工学系研究科との合併授業を示す。

(学際)は、学際情報学府との合併授業を示す。

[海]は、海洋学際教育プログラムを示す。

[科]は、科学技術イノベーション政策の科学教育プログラムを示す。

[G2.0]は、社会デザインと実践のためのグローバルリーダーシップ養成プログラム(GSDM2.0)を示す。

Eは、英語で行われる授業科目を示す。

★は、経済系の事例研究の授業科目を示す。

*印は未修者対象の授業科目を示す。

国際公共政策学専攻

	科目 番号	授 業 科 目	担 当 教 員		学期	単位数			備 考
			職 名	氏 名		講 義	演 習	実 習	
共通研究科目	必	5170001	Research Design Seminar	教授 青井 千由紀 KUCHERYAVYY Konstantin	A1A2		2		
	修	5170002	Project Seminar	教授 HENG Yee Kuang CHEN Stacey	A1A2		2		
		5170003	国際公共政策研究	各指導教員	通年		6		
		5170004							
専門応用科目	選	▼国際金融・開発研究：経済学系							
	択	5171001	Economic Crisis	准教授 岡地 迪尚	A2	2			
		5171003	International Financial Policy	特任講師 服部 孝洋	A1	2			
		5171004	Development Economics: Microeconomic Approach	教授 高崎 善人	A1A2	2			
		5171005	Development Economics: Macroeconomic Approach	非常勤講師 FABINGER Michal	S1S2	2			
		5171006-2	Foundations of Development Economics	教授 澤田 康幸	A2	2			
		5171007	Monetary Policy	教授 青木 浩介	S1	2			
		5171008	International Trade Policy	講師 KUCHERYAVYY Konstantin	S1S2	2			
		5171009	Central Banking	非常勤講師 関根 敏隆	S1S2	2			
		5171011	Advanced Industrial Organization	講師 若森 直樹	S1	2			
		5171012	Environmental Economics	教授 高崎 善人	A1A2	2			
		5171014	Advanced Topics in International Trade	特任講師 藤井 大輔	S1S2	2			
		5171015	国際開発政策・評価論	非常勤講師 青柳 恵太郎	A1A2	2			
		5171016	Development Operations of the World Bank Group	教授 仲 浩史	S1S2	2			
		5171017	Topics in International Trade	教授 古澤 泰治	A1A2	2			
		5171018	Advanced Time Series Analysis	教授 新谷 元嗣	A1A2	2			
		5171019	Interdisciplinary Issues in Development Economics	准教授 庄司 匡宏	A2	2			
		5171020	Topics in Industrial Organization	(未定)		2			
		5171021	Fiscal, Macroprudential, Monetary Policy (I)	准教授 仲田 泰祐	A1A2		2		
		5171022	Fiscal, Macroprudential, Monetary Policy (II)	非常勤講師 加藤 涼	S1S2		2		
				准教授 仲田 泰祐					
		5171023	Data Science for Practical Economic Research	講師 KUCHERYAVYY Konstantin	S1S2	2			[科][G2.0]
		5171024	Data Science and Machine Learning	非常勤講師 FABINGER Michal	S1S2	2			
		5171026	Evolution of Global Economic Policies	客員教授 中尾 武彦	A1A2	2			
		5171027	Political Economy of Regime Change	講師 高木 悠貴	A1A2	2			
		5171028	Contemporary Issues in Development Economics	教授 CHEN Stacey	A1A2	2			
		5171029	Advanced Development Microeconomics	教授 高崎 善人	S1S2	2			
		▼国際金融・開発研究：政治学系							
		5172002	Governance and Development	非常勤講師 元田 結花	A1A2		2		
		5172003	開発研究	教授 佐藤 仁	A1		2		
		▼国際金融・開発研究：法学系							
		5173001	国際経済法	教授 伊藤 一頼	S1S2	2			
		▼国際金融・開発研究：学際系							
		5174001	International Projects	教授 加藤 浩徳 准教授 小松崎 俊作	S2	2			
		5174002	International Intellectual Property Management	教授 渡部 俊也	A1A2	2			[科]
		5174003	経済物理学	准教授 島田 尚 教授 和泉 潔 特任講師 坂地 泰紀 非常勤講師 高安 秀樹 非常勤講師 高安 美佐子 非常勤講師 水田 孝信	S1S2集中	2			[G2.0]

		非常勤講師	山田 健太					
		非常勤講師	金澤 輝代士					
5174004	Behavioral Science for Public Policy	非常勤講師	大貫 真友子	A1A2	2			
	▼国際安全保障研究：政治学系							
5175001	Security Studies	教授	HENG Yee Kuang	A1A2	2			
5175002	New Dimensions of Security in the Risk Age	教授	HENG Yee Kuang	S1S2	2			[G2.0]
5175003	Insurgency and Counterinsurgency	教授	青井 千由紀	S1S2	2			
5175004	Transformation of Warfare and Technology	教授	青井 千由紀	A1A2		2		
5175005	International Conflict Study	教授	藤原 帰一	S1S2	2			[G2.0]
5175006	Science, Technology and Public Policy	教授	城山 英明	A1	2			[科][G2.0]
		非常勤講師	ALEMANNI Alberto					
		特任准教授	松尾 真紀子					
5175007-1	Contemporary Chinese Politics	非常勤講師	林 載桓	A1A2		2		
5175007-2	Contemporary Chinese Diplomacy	教授	高原 明生	A1A2		2		
5175008	International Politics in East Asia	准教授	佐橋 亮	A1A2		2		
5175010	国際政治経済の諸問題	教授	飯田 敬輔	A1A2		2		
5175012	Global Political Economy	教授	鈴木 一人	A1A2		2		[G2.0]
	▼国際安全保障研究：法学系							
5176001	国際組織と法	教授	森 肇志	S1S2		2		
5176002	国際人権法	教授	寺谷 広司	S1S2	2			
5176004	International Environmental Law	教授	高村 ゆかり	S1S2	2			
	▼国際安全保障研究：経済学系							
	▼国際安全保障研究：学際系							
5178001	Resilience Engineering	准教授	小宮山 涼一	S1S2	2			[科][G2.0]
		教授	古田 一雄					
5178002	Energy Systems	准教授	小宮山 涼一	S2	2			[科]
		教授	藤井 康正					
5178003	Global Health Policy	教授	橋爪 真弘	S1A1	2			[科][G2.0]
	▼科学技術政策研究：政治学系							
5171101	Governance and Development	非常勤講師	元田 結花	A1A2		2		
5171102	開発研究	教授	佐藤 仁	A1		2		
5171103	New Dimensions of Security in the Risk Age	教授	HENG Yee Kuang	S1S2	2			[G2.0]
5171104	Transformation of Warfare and Technology	教授	青井 千由紀	A1A2		2		[G2.0]
5171105	Science, Technology and Public Policy	教授	城山 英明	A1	2			[科][G2.0]
		非常勤講師	ALEMANNI Alberto					
		特任准教授	松尾 真紀子					
5171106	国際政治経済の諸問題	教授	飯田 敬輔	A1A2		2		
5171107	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy	教授	高原 明生	S1S2	2			
		教授	五百旗頭 薫					
		非常勤講師	加藤 宏					
		非常勤講師	萱島 信子					
		非常勤講師	北岡 伸一					
		非常勤講師	北野 尚宏					
		講師	JIN Bei					
		非常勤講師	澤田 寛之					
		教授	西沢 利郎					
		教授	松原 健太郎					
		客員教授	林 良造					
		教授	牧原 出					
		非常勤講師	山田 順一					
5171108	Space Development and Public Policy	非常勤講師	菊地 耕一	A1A2	2			[科]

			教授	城山 英明					
			教授	中須賀 真一					
			非常勤講師	栗山 育子					
5171109	Global Governance		非常勤講師	TIBERGHIE Yves	A1A2集中	2			
5171110	海洋科学技術政策論		特任講師	山口 健介	A1A2	2			[科]
			教授	城山 英明					
5171111	テクノロジーアセスメント		客員教授	谷口 武俊	S1S2		4		[科]
			特任准教授	松尾 真紀子					
5171112	人工知能と社会		准教授	江間 有沙	S1S2		2		[科][G 2.0]
			教授	國吉 康夫					
			教授	佐倉 統					
			教授	城山 英明					
5171114	デジタル時代の行政と社会		教授	城山 英明	A1A2		2		[科][G 2.0]
			准教授	青木 尚美					
			教授	江崎 浩					
			非常勤講師	羅 芝賢					
			非常勤講師	座間 敏如					
			非常勤講師	平本 健二					
5171115	Institutions and Methods of Health Technology Assessment in Healthcare Policy		特任教授	鎌江 伊三夫	A1A2		2		[科]
5171116	Global Political Economy		教授	鈴木 一人	A1A2		2		
	▼科学技術政策研究：法学系								
5172102	International Environmental Law		教授	高村 ゆかり	S1S2	2			
5172103	企業の技術戦略と国際公共政策		非常勤講師	中川 淳司	S1S2		2		[科]
			客員教授	米谷 三以					
	▼科学技術政策研究：経済学系								
5173101	Advanced Industrial Organization		講師	若森 直樹	S1	2			
5173102	Environmental Economics		教授	高崎 善人	A1A2	2			
5173103	Development Operations of the World Bank Group		教授	仲 浩史	S1S2	2			
5173104	Topics in Industrial Organization			(未定)		2			
5173105	Data Science for Practical Economic Research		講師	KUCHERYAVYY Konstantin	S1S2	2			[科][G 2.0]
5173106	Data Science and Machine Learning		非常勤講師	FABINGER Michal	S1S2	2			
5173108	Economic Analysis of Innovation		客員准教授	鎗目 雅	S1S2集中	2			[科]
5173109	Digital Governance: How to redesign Technology, Law, and Market			(未定)		2			
	▼科学技術政策研究：学際系								
5174101	International Projects		教授	加藤 浩徳	S2	2			
			准教授	小松崎 俊作					
5174102	International Intellectual Property Management		教授	渡部 俊也	A1A2	2			[科]
5174103	Resilience Engineering		准教授	小宮山 涼一	S1S2	2			[科][G 2.0]
			教授	古田 一雄					
5174104	Energy Systems		准教授	小宮山 涼一	S2	2			[科]
			教授	藤井 康正					
5174105	Global Health Policy		教授	橋爪 真弘	S1A1	2			[科][G 2.0]
5174106	経済物理学		准教授	島田 尚	S1S2集中	2			[G 2.0]
			教授	和泉 潔					
			特任講師	坂地 泰紀					
			非常勤講師	高安 秀樹					
			非常勤講師	高安 美佐子					
			非常勤講師	水田 孝信					
			非常勤講師	山田 健太					

			非常勤講師	金澤 輝代士					
実践科目	選択	▼国際公共政策実践研究							
	5179001	Social Design and Global Leadership	教授	鈴木 寛	S1S2集中	2			[科][G2.0]
			教授	城山 英明					
			教授	鈴木 一人					
	5179002	Public-Private Partnerships	教授	西沢 利郎	S1S2	2			[G2.0]
	5179003	GraSPP Policy Challenge: Global Innovative Public Policy Solutions	教授	鈴木 寛	A2集中	2			[科][G2.0]
			特任准教授	ORSI Roberto					
	5179004-1	International Field Workshop	教授	西沢 利郎	S2集中	2			[G2.0]
	5179004-2	International Field Workshop	教授	西沢 利郎	A2集中	2			[G2.0]
	5179005	Learning with Public Policy Cases for SDGs	教授	西沢 利郎	S1S2	2			
			非常勤講師	K. E. SEETHARAM					
			非常勤講師	福井 龍					
	5179006	Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions	教授	鈴木 寛	A1A2集中	2			[科][G2.0]
			非常勤講師	五十棲 浩二					
			教授	城山 英明					
			准教授	青木 尚美					
	5179008	Introduction to Cybersecurity Policy	客員教授	林 良造	S1S2	2			[G2.0]
			客員教授	大西 昭郎					
			客員教授	高見澤 将林					
	5179009	Cybersecurity	客員教授	林 良造	A1A2	2			
			客員教授	大西 昭郎					
			客員教授	高見澤 将林					
	5179010-1	Energy Security	特任教授	有馬 純	S1S2	2			[G2.0]
			客員教授	田中 伸男					
	5179010-2	Energy Security	特任教授	有馬 純	A1A2	2			[G2.0]
			客員教授	田中 伸男					
	5179011	医療イノベーション政策	客員教授	大西 昭郎	A1A2	2			[科]
			教授	鈴木 寛					
			客員教授	林 良造					
	5179012	Social Design and Management	教授	城山 英明	S1S2集中	2			[科]
			特任准教授	ORSI Roberto					
			教授	光石 衛					
			教授	丸山 茂夫					
			教授	八木 信行					
			教授	加納 信吾					

※ [科]は、科学技術イノベーション政策の科学教育プログラムを示す。

[G2.0]は、社会デザインと実践のためのグローバルリーダーシップ養成プログラム (GSDM2.0)を示す。

Contents

Year Schedule and Class Hours	-----	31
Completion Requirements	-----	32
Course Registration	-----	36
Procedures for Academic Matters	-----	38
Various Contact Information List	-----	43
GraSPP Room Use Guidelines	-----	44
Important Reminder on the Course Registration	-----	47
Class Summaries	-----	49

※ Refer to GraSPP website for class schedules.

Refer to UTAS and GraSPP website for details of Class Summaries.
Confirm the notice of bulletin board, always, because important messages including class cancellation, classroom change, and administrative procedures are posted (See "Procedures for Academic Matters") .

Bulletin Board of GraSPP is

- on the Website of GraSPP

<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/student-bulletin-board/>

- on the 13F of International Academic Research Bldg.

2021/2022 Academic Year Schedule and Class Hours

Academic schedule

[S1S2] Classes April 5 (Mon) – July 12 (Mon)

[S1] Classes April 5 (Mon) – May 31 (Mon)

[S2] Classes June 4 (Fri) – July 22 (Thu)

April 29(Thu)	no class day, Public holidays
May 3(Mon) – May 5(Wed)	no class day, Public holidays
May 14(Fri) PM	no class, GOGATSU-SAI Preparation
July 22(Thu)	S2 classes conducted on holiday

[A1A2] Classes September 27 (Mon) – January 5 (Wed)

[A1] Classes September 27 (Mon) – November 17 (Wed)

[A2] Classes November 29 (Mon) – January 25 (Tue)

November 3(Wed)	no class day, Public holiday
November 23(Tue)	no class day, Public holiday
December 28(Tue) – January 3(Mon)	no class day
January 10(Mon)	no class day, Public holiday A1A2, outside of classes term
January 14(Fri)	no class day, A1A2, outside of classes term
January 18(Tue)	Friday class will be held A1A2, outside of classes term

- ※ In principle, examinations are held during the last class of the term/semester.
- ※ With respect to combined courses offered by other faculties and graduate schools, examinations will be held during the periodical examination periods set by each respective faculty and graduate school.

Class hours

Period 1:	8:30 – 10:15	Period 4:	14:55 – 16:40
Period 2:	10:25 – 12:10	Period 5:	16:50 – 18:35
Period 3:	13:00 – 14:45	Period 6:	18:45 – 20:30

Completion Requirements

In order to complete the program of study at the Graduate School of Public Policy (GraSPP), you must be enrolled for **two years or longer and earn 46 course credits or more.** In addition, you must complete the required courses in your program (sub-specialization) and policy stream when applicable, and earn credits for them.

You may include up to eight credits earned for courses taken at the University of Tokyo's any other graduate schools or the Interfaculty Initiative in Information Studies, or faculties when calculating the required credits for completion of the GraSPP degree.

You cannot register more than 38 credits of courses in one academic year. This includes credits for Research Paper, Thesis, and/or Internship as well. Please refer to the University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy in regards to credits obtained at another graduate school or obtained before admission to the Graduate School.

Take note that you basically cannot register for courses which have the same name as the courses for which you have already earned credits for.

Program-specific completion requirements:

- ※ A module which meets more than one completion requirement will be counted as meeting all relevant completion requirements.
- ※ Take note that if a course is not listed in the Class Subject List, it is not held in this academic year.

○ International Program (MPP/IP)

for students who enrolled in MPP/IP on or after April 1, 2017

<NOTES>

Students must complete the required courses and gain credits for them in one of the policy streams of their choice from Economic Policy, Finance and Development (EPFD) or Public Management and International Relations (PMIR).

< Economic Policy, Finance and Development (EPFD) >

Required credits number	Completion Requirements
6 credits	<p>Completion of Law and Political Science courses listed below (6 credits, including 2 credits obtained for one of the compulsory elective courses indicate with * below)</p> <p><i>Public Management</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Politics and Public Policy* • Introduction to Public Management* • Introduction to Social Science • Comparative Political Parties and Elections • Policy Process and Negotiation • Science, Technology and Public Policy • Governance and Development • Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process • Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia

	<p><i>International Relations</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Introduction to International Politics* • International Conflict Study* • Field Seminar in International Relations* • International Relations and Political Regimes • Modern Japanese Diplomacy • Security Studies • Insurgency and Counterinsurgency • Contemporary Chinese Politics • Contemporary Chinese Diplomacy • Contemporary Chinese Politics and Diplomacy • International Politics in East Asia • Conflict Prevention and Post Conflict Politics • Global Governance • New Dimensions of Security in the Risk Age • Transformation of Warfare and Technology • U.S. Diplomacy toward Asia • Asia-Pacific Security • Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy • Japan in Today's World <p><i>Law</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Law and Public Policy • Public International Law and Domestic Implementation • International Environmental Law • Introduction to Japanese Law • Law and Society in East Asia
12 - 15 credits	<p>Completion of Basic Economics Courses listed below (12-15 credits from all the three groups 1 to 3)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. A or B or C <ul style="list-style-type: none"> A. Microeconomics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Microeconomics for Public Policy (1 credit) B. Microeconomics (4 credits) and Practice Session for Microeconomics (1 credit) C. Microeconomics I (2 credits) and Microeconomics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics 2. A or B or C <ul style="list-style-type: none"> A. Macroeconomics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Macroeconomics for Public Policy (1 credit) B. Macroeconomics (4 credits) and Practice Session for Macroeconomics (1 credit) C. Macroeconomics I (2 credits) and Macroeconomics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics 3. A or B or C <ul style="list-style-type: none"> A. Statistical Methods (4 credits) and Practice Session for Statistical Methods (1 credit) B. Econometrics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Econometrics for Public Policy (1 credit) C. Econometrics I (2 credits) and Econometrics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics
8 credits	A minimum of eight credits of Case Studies offered by GraSPP

28 credits	A minimum of twenty-eight credits of courses taught in English (28 credits out of 46, double-countable)
4 credits	A minimum of four credits of courses categorized as Practical Training (4 credits out of 46, double-countable)

< Public Management and International Relations (PMIR) >

Required credits number	Completion Requirements
10 credits	<p>Completion of Law and Political Science courses listed below</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. A and B (4 credits) <ol style="list-style-type: none"> A. Politics and Public Policy (2 credits) ; or Introduction to Public Management Note: If you have completed and earned credits for Politics and Public Policy given by Faculty of Law, you do not need to take this course in the GraSPP Program. B. Compulsory elective courses (Choose one): Introduction to International Politics (2 credits); or International Conflict Study (2 credits); or Field Seminar in International Relations (2 credits) 2. Choose three courses from Law and Political Science courses listed below, but not to be taken twice. (6 credits) <p><i>Public Management</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Politics and Public Policy • Introduction to Public Management • Introduction to Social Science • Comparative Political Parties and Elections • Policy Process and Negotiation • Science, Technology and Public Policy • Governance and Development • Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process • Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia <p><i>International Relations</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Introduction to International Politics* • International Conflict Study* • Field Seminar in International Relations* • International Relations and Political Regimes • Modern Japanese Diplomacy • Security Studies • Insurgency and Counterinsurgency • Contemporary Chinese Politics • Contemporary Chinese Diplomacy • Contemporary Chinese Politics and Diplomacy • International Politics in East Asia • Conflict Prevention and Post Conflict Politics • Global Governance • New Dimensions of Security in the Risk Age • Transformation of Warfare and Technology • U.S. Diplomacy toward Asia • Asia-Pacific Security • Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy • Japan in Today's World

	<p><i>Law</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Law and Public Policy • Public International Law and Domestic Implementation • International Environmental Law • Introduction to Japanese Law • Law and Society in East Asia
8 - 10 credits	<p>Completion of Basic Economics Courses listed below (8-10 credits when the option 1 is chosen or 9 credits with the option 2)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Choose two out of A, B or C <ol style="list-style-type: none"> A. Microeconomics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Microeconomics for Public Policy (1 credit); or Microeconomics (4 credits) and Practice Session for Microeconomics (1 credit); or the set of Microeconomics I (2 credits) and Microeconomics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics B. Macroeconomics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Macroeconomics for Public Policy (1 credit); or Macroeconomics (4 credits) and Practice Session for Macroeconomics (1 credit); or the set of Macroeconomics I (2 credits) and Macroeconomics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics C. Statistical Methods (4 credits) and Practice Session for Statistical Methods (1 credit); or Econometrics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Econometrics for Public Policy (1 credit); or the set of Econometrics I (2 credits) and Econometrics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics 2. The following three courses <ol style="list-style-type: none"> A. Principles of Microeconomics (2 credits) B. Principles of Macroeconomics (2 credits) C. Statistical Methods (4 credits) and Practice Session for Statistical Methods (1 credit); or Econometrics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Econometrics for Public Policy (1 credit)
8 credits	A minimum of eight credits of Case Studies offered by GraSPP
28 credits	A minimum of twenty-eight credits of courses taught in English (28 credits out of 46, double-countable)
4 credits	A minimum of four credits of courses categorized as Practical Training (4 credits out of 46, double-countable)

Course Registration

You should register your courses online using the UTAS system on the internet. You will need a user ID and password to log onto UTAS. These are noted in the "Password Notice" which was distributed after the enrollment procedures period.

Course registration through ITC-LMS or bookmarking syllabus on UTAS is different from "Course Registration" on UTAS. To earn credits, you must register course through UTAS.

Please be sure to meet the deadlines. The course registration cannot be made outside of the period.

Registration period

- (1) Log onto UTAS using the URL below to register your courses during the following period. Intensive courses registration period is the same as regular courses registration period.

S1, S1S2 and year-round courses: April 13 (Tue) – April 19 (Mon)

S2 courses: June 11 (Fri) – June 17 (Thu)

A1, A1A2 courses: October 4 (Mon) – October 8 (Fri)

A2 courses and W courses: December 6 (Mon) – December 10 (Fri)

[UT—mate URL]

https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do?locale=en_US

- (2) Registration for "Research Paper", "Thesis", and "Internship" will be done by GraSPP Office. (Your registration via UTAS is unnecessary.)

Further information for "Research Paper" and "Thesis" including registration procedure, writing requirements and schedule will be announced via GraSPP students bulletin board webpage.

Internship applications are accepted as needed. Details on application procedures will be announced via Current Students webpage.

- (3) If you find any course unable to register via UTAS, please first check the syllabus or with the respective graduate school administrative offices on your eligibility to take those courses, then contact GraSPP Office within the registration period or registration correction period.

Course registration correction period

If necessary, you can add, change and remove courses during the following period using UTAS. **You CANNOT add, change or remove courses after this period.**

S1, S1S2 and year-round courses: April 20 (Tue) – April 22 (Thu)

S2 courses: June 18 (Fri) – June 22 (Tue)

A1, A1A2 courses: October 11 (Mon) – October 13 (Wed)

A2 and W courses: December 13 (Mon) – December 15 (Wed)

However, withdrawal of Intensive courses does not apply to the correction period indicated above. You cannot withdraw intensive courses via UTAS beyond the correction period. In that case, please notify GraSPP Office by email. Please note that the email should be sent by the end of the 1st class day of the course. Any request for withdrawal after the 1st class day of the course will not be accepted. If there is any specific announcement given by the faculty of the course regarding withdrawal such as in the syllabus, such announcement will override the rule mentioned above. If intensive courses are offered from other faculties or schools, the rules at such faculties or schools will be prioritized.

[IMPORTANT] Maximum amount of credits

Maximum amount of credits that students can register in one academic year* is 38 to encourage well-planned study.

The amount of credits are counted after the correction period. However, credits for Research Paper, Thesis and Internship which registration is done outside of the registration period will also be included. Please note that courses you received the grade “M” or “F” in previous semester will not be excluded. It will be counted as part of the maximum amount of credits.

***Autumn enrolled students: academic year will be counted from September.**

Caution: Registration of Courses with Other Faculties and Graduate Schools

Students in their final semester of studies should not take courses from other faculties or graduate schools as part of your credits required for completion. Those credits are NOT counted as required credits for completion. As the grade reporting period differ amongst faculties/graduate schools, there is a possibility that you will not be able to receive grades before the completion assessment period.

You cannot take courses for those case studies of Faculty of Law which are not joint curricular courses with GraSPP.

Information: Courses for “Research Paper” and “Thesis”

In AY2021/2022, GraSPP will offer three courses to strengthen English writing skills, presentation skills and effective delivery of works.

Students, especially those who are willing to submit either Research Paper or Thesis or those who seek to enroll in a PhD program, are advised to consider taking the course(s) below.

✂Please check syllabus in the UTAS for more details.

Course Title : Essential Academic Skills: Writing and Research Planning

Course Number : 5123312-1

Name of Lecturer : MARSZALEC Daniel Janusz

Course Title : Advanced Academic Writing

Course Number : 5130200

Name of Lecturer : FAYE Singh

Course Title : Introduction to Academic Writing

Course Number : 5130205

Name of Lecturer : FAYE Singh

Procedures for Academic Matters

Registration and change of address, telephone number and e-mail address:

- (1) Once you receive a notice of your UTAS password, you must promptly register your address, telephone number and e-mail address through the UTAS system.
- (2) GraSPP Office may contact you via e-mail or telephone when necessary. **Be sure to check your e-mail address registered to UTAS.**
- (3) When critical matters arise (i.e. regarding completion requirements) or urgent issues occur, GraSPP Office will contact via e-mail or telephone respectively. It is crucial that student register e-mail address and telephone number at all times in UTAS and update in case of change in e-mail address and telephone number.

Student Contact (Announcements etc.):

- (1) GraSPP students bulletin board webpage is to be checked daily by students as information on academic matters, scholarship, commencement ceremony information etc. are posted frequently.
- (2) Please also check information on examinations and cancellation of classes etc. of the joint curricular courses with other faculties and graduate schools, which are announced at their various respective bulletin boards.

Issuance of certificates:

- (1) Some certificates, such as student records, student identification, and expectation of completion, as well as student fare cards are issued immediately by the automatic certificate dispenser.
* An expectation of completion certificate can be issued for only the second year.
- (2) Your PIN for the automatic certificate dispenser is the same as the UTAS password.
- (3) Other certificates are issued according to a "Application for Certificate" as follows.
Certificates in Japanese: Issued next day (except Saturdays, Sundays and holidays)
Certificates in English: Issued in a week (except Saturdays, Sundays and holidays)

Tuition Payments:

- (1) Tuition payments are made twice a year for the summer semester (April – September) and the winter semester (October – March) and one half of the annual amount must be paid each in May and November.
- (2) Payment by automatic remittance from an account registered based on a tuition deposit account registration Web page.
- (3) Account remittance dates are May 27 for the summer semester and November 27 for the winter semester (or the next business day if the payment date is a financial institution non-business day).
- (4) Please be sure to deposit an amount equal to the tuition payment in the relevant account at least one the day prior to the remittance date.

※ **There will not be notifications for each deduction of tuition fees.**

* Reference: https://www.u-tokyo.ac.jp/en/prospective-students/tuition_fees.html

Scholarship Matters: ※ *(mainly for Japanese Students)*

- (1) Primarily, scholarships are available under UT's in-house scholarship schemes, Japan Student Services Organization (JASSO), Local Public Organizations or Public Interest Organizations.
- (2) Please check GraSPP Current Students webpage on your own for information on application procedures and schedule etc, which will be announced when available.

※ **International Students should be careful of information from International Student Adviser. Please ask International Student Adviser if you want to know the details.**

* Reference: <https://www.u-tokyo.ac.jp/en/prospective-students/scholarships.html>

Changes on your student registration status:

If you wish to request permission for temporary withdrawal, study abroad, change of policy stream, or extension of your enrollment period, you must submit a designated application form to the GraSPP Graduate School Office to request permission one month before the commencement of the term in which you wish to make the status change. For more information, see the sections relating to the procedures for “temporary withdrawal”, “foreign travel”, “changing program” and “extension of enrollment period” below.

Travel abroad:

When you travel abroad or go back to your home country except for studying at overseas universities, you must submit a "Notice of Travelling Abroad" beforehand.

GraSPP Graduate School Office

Office hours: 9:00 – 17:00

(Except Saturdays, Sundays, holidays, the New Year holidays and the day of entrance exam)

E-mail: ppin.j@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

Phone: 03-5841-1349 (same as office hours)

• Procedures for temporary withdrawal

If you wish to temporarily withdraw from your degree, you should keep the following in mind:

1. Procedures

If you wish to temporarily withdraw from your study at GraSPP, by one month before submitting a designated application form to the GraSPP Graduate School Office to request permission.

For the criteria regarding the granting of permission for temporary withdrawal, refer to the “Criteria for Granting Permission for Temporary Withdrawal by Student” and the “Scope of Recipient of Care and Activities of Social Merits for the Criteria for Granting Permission for Temporary Withdrawal by Student”.

The maximum period for temporary withdrawal is one year. If you wish to extend your withdrawal period beyond one year, you must re-apply at least two months before the expiration of your permitted withdrawal.

(Documents required for the application of temporary withdrawal)

For studying (taking course) abroad	Application for permission of temporary withdrawal; study plan; letter of acceptance or student identification from the foreign institution.
For scientific research abroad	Application for permission of temporary withdrawal; research/field trip plan (including itinerary)
For financial reasons	Application for permission of temporary withdrawal; letter of explanation
For medical reasons	Application for permission of temporary withdrawal; doctor's certificate
Due to childbirth or childcare commitments	Application for permission of temporary withdrawal; maternity record book (copy)
For nursing care	Application for permission of temporary withdrawal; doctor's certificate
For activities of social merit	Application for permission of temporary withdrawal; activity plan
For a home visit (foreign students)	Application for permission of temporary withdrawal; letter of explanation

2. Temporary withdrawal, years required for completion and years in enrollment

(see Article 18 of The University of Tokyo Rules on Graduate School Professional Degree Programs)

The duration of temporary withdrawal to be permitted is a minimum of two months but shall not exceed two years.

You should note that the period of your temporary withdrawal will not be included in the calculation of the years required for completion (i.e., 2 years) and the limit on years in enrollment (i.e., 3 years). You are not allowed to take any courses during the period of temporary withdrawal.

3. Re-enrollment

Once the reason for your temporary withdrawal becomes non-existent at any time during your leave, you must submit a designated application form to the GraSPP Graduate School Office to request permission. You must follow the same procedures when you return to school at the end of your temporary withdrawal period.

4. Tuition fees

You are exempted from payment of tuition during your temporary withdrawal. If you have not completed the temporary withdrawal procedure on time, you should note that you could pay tuition for either the summer or winter semester even if you will be absent from your studies.

When you receive permission to return to your studies, you must pay tuition fees during the month in which you return for the entire period from that month to the end of the semester. Any tuition which has been paid will not be refunded.

- Procedures for foreign travel

1. Traveling abroad while on leave for temporary withdrawal

If you intend to enroll in an educational or research institution abroad, or conduct research and field trips abroad, you must take procedure of temporarily withdraw.

The period of temporary withdrawal (a maximum of two years) will not be included in the calculation of the years required for completion and the enrollment limit. Further, if you have submitted and received approval for an application for temporary withdrawal prior to the end of the submission period (end of February for the summer semester and end of August for the winter semester), you will be exempted from paying tuition fees for the period of your temporary withdrawal (see “Procedures for temporary withdrawal”).

2. Studying abroad (Article 9, Paragraph 2 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy)

If you wish to study at a university in a foreign country, you must carry out the procedures required by the Graduate School Office.

If you will be taking courses which are related to your major and earning credits for those courses at a university abroad, you may be deemed to have taken the equivalent courses at GraSPP and gain credits up to one-half of the credits required for completion of the course. (Note: If you have transferred credits which existed prior to your enrollment pursuant to Article 10 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy, contact the GraSPP Graduate School Office before starting the application procedures).

For study at a university affiliated under a student exchange agreement with GraSPP, refer to the notices separately posted.

- Procedures for changing policy stream * Only for MPP/IP students

You may be allowed to change your policy stream if you are deemed to have an acceptable reason only once during your enrollment.

When you want to change your stream, please make sure to check with the GraSPP Graduate School Office beforehand for more details.

1. Procedures for change

If you wish to change your stream, you must submit a designated application form to the Graduate School Office to request permission at least one month before the commencement of the term in which you wish to make the change.

2. Change of stream, temporary withdrawal period, years required for completion and limit on years enrolled

The number of years required for completion, the limit on years enrolled and the duration of temporary withdrawal are aggregated with the years you have accumulated before the change.

3. Treatment of credits previously taken

Credits which you have already gained before you change stream may be included in the calculation of the credit requirements.

- Procedures for extension of enrollment period

The standard period of enrollment is two years (see Article 3 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy).

If you wish to extend your enrollment beyond this standard limit, you must submit a notice of extension of enrollment on or before the end of the month preceding the month for your original completion. (Long-term students should contact the Graduate School Office for confirmation).

It should be noted that enrollment in GraSPP is limited to three years (see Article 17 of The University of Tokyo Rules on Graduate School Professional Degree Programs). Accordingly, you can extend your enrollment for one only year (excluding the period of temporary withdrawal).

Various Contact information list

Main Matters In Charge	Advising Centers	Place
Matters relating to Registration, Courses and Grades, UTAS, Classroom	Graduate School Office of GraSPP 03-5841-1349	13th floor, International Academic Research Bldg.
Matters relating to Overseas Exchange and Double Degree Program	Graduate School Office of GraSPP exchange.j@gs.mail.u-tokyo.ac.jp	13th floor, International Academic Research Bldg.
General Guide to Campus-wide Consultation Facilities(Departments)	One-Stop Resources Office 03-5841-7867、0786 http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/nsc/en/	Research Prefabricate Bldg. A (next to Second Refectory)
Counseling and Consulation relating to Academic Life, Career Options and Interpersonal Relations.	Student Counseling Center 03-5841-2516 http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/scc/en/	Research Prefabricate Bldg. A (next to Second Refectory)
Career Advice, Job Search Assistance	Career Center 03-5841-2650 http://www.careersupport.adm.u-tokyo.ac.jp/intern	B1, Student Support Center
Matters relating to Exemption and Deferred Payment of Entrance Fee and Tuition Fees	Scholarship Team, Student Scholarship and Welfare Group 03-5841-2547、2548	B1, Student Support Center
Matters relating to Scholarships from JASSO, Local Public Organizations or Public Interest Organizations	Scholarship Team, Student Scholarship and Welfare Group 03-5841-2520	B1, Student Support Center
Matters relating to Printer and Copy Machine located PC room	The University of Tokyo CO-OP 03-3816-0711	
Recommendation of Apartment, Lodging	The University of Tokyo CO-OP 03-5841-7945	Basement floor, Faculty of Law & Letters Bldg.2
Regular Health Check, Medical Examination and Health Consultation	Hongo Health Service Center 03-5841-2573 http://www.hc.u-tokyo.ac.jp/en/index	2nd floor, Administration Bureau Bldg.2
Matters relating to Sexual Harassment	Harassment Counseling Center 03-5841-2233 http://har.u-tokyo.ac.jp/en/	Room S107, 1st floor, Faculty of Medicine Bldg.1
Matters relating to Academic Harassment	Student Counseling Center, Harassment Counseling Center, etc	
Matters relating to lost items, security and theft in campus	SECURITY OFFICE 03-5841-4919	1st floor north side, Yasuda

GraSPP Room Use Guidelines

Followings are to set general rules for students' use of GraSPP facilities in Akamon General Research Building and International Academic Research Building.

I Akamon General Research Building

1. Rooms open to students / How to enter

4 th floor, Akamon General Research Building			
Name	Seats	Equipment	How to enter
Student Study Room N Student Study Room W	54 30		Locked all the time. To enter, touch your student ID card onto the card reader near the door.
Computer Lab	24	24 computers 2 copiers	Locked all the time. To enter, touch your student ID card onto the card reader near the door.
Discussion Space 1 Discussion Space 2 Discussion Space 3 Discussion Space 4 Discussion Space 5	6 6 6 6 6		Unlocked all the time.
Student Locker Room			Unlocked all the time.
Student Lounge		1 copier	Unlocked all the time.

2. Available days for students

- 1) In principle, students are able to use the rooms listed above except for the designated close off dates such as New Year's holidays and days for entrance exams. Unavailable dates will be announced to students in advance.

3. Important notes for using Student Study Rooms and Computer Lab

- 1) Keep quiet and refrain from disturbing others in the room. Set your cell phone and smartphone to silent mode and refrain from talking on the phone.
- 2) Eating and drinking are not allowed in the room except for plastic bottles, in principle.
- 3) Do not occupy desks with your personal belongings.
- 4) Use the room and its equipment with care. Do not damage them.

5) In order to save energy, turn off all the lights, air conditioners, and computers when you do not use them or leave the room. Be sure to close the windows after use.

6) GraSPP may delegate the use of the rooms to its students as long as they take good care of using the rooms in an autonomous way following the room use guidelines.

In case they do not follow the guidelines and inappropriate use is found, GraSPP will limit its students' room use.

4. How to use Discussion Spaces

1) Items 2)-6) of the above "Important notes for using Student Study Rooms and Computer Lab" are applied.

5. Important notes for using Student Locker Room and Student Lounge

1) Use and take good care of an approved locker with your own responsibility.

2) Eating and drinking are allowed in the Student Lounge. Use Lounge and its equipment with care, do not damage them. In order to save energy, turn off all the lights and air conditioners when you leave.

II International Academic Research Building

1. Rooms open to students / How to use

12 th Floor, International Academic Research Building		
Name	Seats	How to use
Seminar Room A	36	Reservation required at Graduate School Office
Seminar Room B	24	
Seminar Room C	24	
Seminar Room D	24	
Seminar Room E	36	
Seminar Room F	12	

2. Available days & time for students

1) In principle, students are able to use the rooms listed above except for the designated close off dates such as New Year's holidays and days for entrance exams. Unavailable dates will be announced to students in advance.

2) Rooms can be used from 9:00 am to 10:30 pm.

3. How to use Seminar Rooms

1) Seminar Rooms can only be booked for students' study group.

2) Room reservation is required at Graduate School Office.

- 3) A student can book a room for 2 hours in principle. If the room is still available after his/her use on the day, he/she can extend the time of use.
- 4) GraSPP's courses and events have priorities of using the Seminar Rooms. Even if the room was booked by a student in advance, his/her reservation might be re-arranged by GraSPP when needed.

4 . Important notes for using Seminar Rooms

- 1) Eating and drinking are not allowed in the room except for plastic bottles, in principle.
- 2) Use the room and equipment with care. Do not damage them.
- 3) In order to save energy, turn off all the lights and air conditioners when you do not use them or leave the room. Be sure to close the windows after use.
- 4) In case students do not follow the room use guidelines and inappropriate use is found, GraSPP will limit its students' room use.

Important Reminder on the Course Registration

Basically, you may not register courses which have same names as the courses for which you have already earned credits for, except for the following course.

・5140735 Case Study (GraSPP Policy Challenge for SDGs 1) (The course title before the change : Case Study (GraSPP Policy Challenge I)) ※You may earn up to four credits.

As for the subjects of the list shown below, the course title has changed, but the registration of those who acquired the credits of right side course by last year is not accepted because the part of contents are almost the same with the subject on the left side.

Course Title in AY 2021/2022			Course Title in AY 2020/2021		
Course No.	Course Title	Credits	Course No.	Course Title	Credits
5122110	自治体行政調査	2	5122110	自治体行政聴査	2
5123211-2	Foundations of Development Economics	2	5123211-2	Development Economics I (Foundations of Advanced Development Economics)	2
5123221	Interdisciplinary Issues in Development Economics	2	5123221	家計とコミュニティの開発経済学	2
5140011	事例研究（政策分析・立案実践）	2	5140011	事例研究（法政策I-A）	2
5140398	Case Study (Fiscal, Macprudential, and Monetary Policy (I))	2	5140398	Case Study (Macro-Financial Linkages)	2
5140738	Case Study (Learning with Public Policy Cases for SDGs)	2	5140738	Case Study (Writing Public Policy Cases for SDGs)	2
5140751	事例研究（中央省庁における政策立案I）	2	5140751	事例研究（社会構想マネジメント、ソフトパワー・人材政策I）	2
5140752	事例研究（中央省庁における政策立案II）	2	5140752	事例研究（社会構想マネジメント、人材政策、ソフトパワー政策II）	2
5140771	Case Study (Fiscal, Macprudential, and Monetary Policy (II))	2	5140771	Case Study (Current Global Economic Issues)	2

As for the subjects of the list shown below, those who acquired the credits of right side by last year can not register the subject on the left side because the part of contents are almost the same.

Course Title in AY 2021/2022			Course Title in AY 2020/2021		
Course No.	Course Title	Credits	Course No.	Course Title	Credits
5122201-1	Contemporary Chinese Politics	2	5122201-1	Contemporary Chinese Politics and Diplomacy	2
5122201-2	Contemporary Chinese Diplomacy	2			

授業内容概略

Class Summaries

時間表、詳細、最新版は UTAS 及び公共政策大学院の Web サイトで確認すること。

Make sure to check class schedules, details, and updated versions via UTAS and in GraSPP Website.

Reference : <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/courses/>

基 幹 科 目

Basic Courses

Course Code	5111010	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	民事法の基層と現代的課題				
Faculties	石川 博康				
Course Objectives/Overview	<p>法の生成・展開過程や法を支える社会の構造等を踏まえた基礎的考察を通じて法の基層に降り立つことは、民事法における諸制度を設計し、またそれを解釈・運用するに際しての欠くべからざる諸前提のうちの一つである。本講義では、既存の法制度を評価し、また新たに法制度を構想する際に必要な、民事法の基本的な考え方および概念について講義する。法学未習者と、学部で民事法を一通り勉強した学生で民事法を支える理論的諸基盤についてより広い視野からもう一度理解し直そうと考えている者とを、対象とする。</p> <p>本年度は、民事法の諸制度を支えている歴史的基盤に着目し、現代法に関し法史学の観点からの一定の見通しを得ることを目的とした検討を行う。</p>				

Course Code	5111020	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	公法の基層と現代的課題				
Faculties	宍戸 常寿／寺田 麻佑				
Course Objectives/Overview	<p>法学未修者のみならず、学部で公法を一通り勉強した学生であっても、公法の全体を広い視野からもう一度理解し直したい者をも歓迎する。前半は宍戸（憲法）が担当する。既存の法制度を評価し、また新たに法制度を構想する際に必要な、憲法学の基本的な考え方および概念を講義する。重点的にテーマをしぼり、また現実の具体的な諸問題を素材にして、講義を進める。後半は寺田（行政法）が担当する。公共政策の良き担い手や発案者となることができるよう、「行政を動かし、コントロールして政策を実現するための法」としての行政法を概観する。とりわけ、法執行過程の全体を手続として捉えることができるようになることを目標とする。</p>				

Course Code	5111040	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	行政組織法				
Faculties	太田 匡彦				
Course Objectives/Overview	<p>行政組織を編成し規律する法としての行政組織法について講義する。法学的観点からの考察であり、単純な制度設計論、政策論、政官関係論ではないので注意すること。取り上げる主たる対象は、国家行政組織と公務員法(国家公務員法)である。地方行政組織は、地方自治法の授業で取り上げられる。</p> <p>行政法総論、とりわけ行政法を成り立たせる憲法上の基本原理については既に知見を得ていることが求められる。法学部との合併講義であり、法学部科目の行政法第1部か公共政策大学院科目の公法</p>				

	の基層と現代的課題を受講済であることを前提とする。
--	---------------------------

Course Code	5111050	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	財政法				
Faculties	藤谷 武史				
Course Objectives/Overview	<p>財政法は、文字通り「財政」を規律する法規範の体系であるが、政治的・経済的動態性を本質とする財政を法学的に扱うことは、元来、極めて困難な企てである。財政の法学的把握は未だ満足な水準に達しておらず、しばしば現象の後追いの記述に留まる。しかし、ある時期までの近代議会民主制の展開を主導したのが財政問題であったこと、さらに財政が金融制度を介して市場経済社会のあり方と密接に関わってきたことを考えれば、「財政の法学的把握」を巡る如上の現状は、深刻な方法論的反省の対象とされて然るべきであろう。</p> <p>斯様な問題意識に立脚する本講義は、(1)財政法学が議論すべき対象としての「財政」を幅広い経済・社会構造の中で捉え、(2)方法論の拡張によって実質的に意味のある「財政の法学的把握」を提示することを目的とする。第1の側面では、最低限、財政と金融市場や通貨秩序（いずれもその国際的側面を含む）の関係が視野に含まれる。第2の側面では、現代財政の機能面での変質（例えば社会保障制度による財政の時間軸の長期化）が財政法にいかなる質的变化をもたらしたか、に注意が喚起され、この構造を把握しうる法的概念が探究される。そのために、現在進行形であり未だ正解が（国際的にも）確立していない財政上の諸問題、例えば、日本銀行による巨額の公債保有、マイナス金利政策、財政規律ルール導入、「国富ファンド」のガバナンス、政府調達における社会的政策追求などを具体的に論じ、これらとの対峙を通して現代財政の実像に即した財政法学の体系と課題を析出したい。</p>				

Course Code	5111060	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地方自治法				
Faculties	太田 匡彦				
Course Objectives/Overview	地方自治に関する法制度を把握し、その立法論・解釈論上の問題点を検討する。				

Course Code	5111070	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地方財政・租税論				
Faculties	藤谷 武史				

Course Objectives/Overview	<p>公債は国家財政の歴史とともに古くから用いられてきましたが、その法的分析は十分になされてきたとは言えません。加えて近時、金融危機や新型コロナウイルス感染症の拡大の結果、公債残高は急膨張しており、中央銀行による空前規模の金融緩和（中央銀行通貨供給）策と相まって、従来の理論では説明されない領域に達しています。これほどまでに積み上がった公債を「返済」することはもはや困難にも思われますが、そもそも公債には私的な債務と同じ意味での「返済」が観念しうるのでしょうか？特に、中央銀行が発行する通貨と公債の区別が曖昧化するようにも思われる中で、国家の「債務」とは法的には何を意味するのでしょうか？この演習では、こうした素朴で根本的な問題にアプローチすることを意図して、公債法はもちろんのこと、通貨や中央銀行の法的性質など、様々な角度からの検討を試みます。</p>
----------------------------	---

Course Code	5111080	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	租税政策				
Faculties	藤谷 武史				
Course Objectives/Overview	<p>「本格的なデジタル経済の到来を前に、これまで国家財政を支えてきた税制が困難に直面している」という話を、一度ならず耳にしたことがあると思います。しかし考えてみれば、現在の私たちになじみ深い所得税や消費税といった税制も、万古普遍のものではなく、経済社会の構造変化の中で登場し、存続してきたものに過ぎません。では、現在進行形の「新しい経済社会」の到来は、新しい税制（やその編制原理）の登場を意味するのでしょうか？</p> <p>また、税制が経済社会＝「市場」の変化を追いかけるばかりではなく、税制の存在が市場のあり方に（時には決定的に）作用する、という側面もあります。従来の租税理論では、市場経済に対する基本的な信頼の上に、税の中立性が重視されてきましたが、一方では社会の持続可能性への関心の高まり、他方ではデジタル経済の下でのさらなる分断への懸念、などから、税制をより積極的に市場のデザインの一部に組み込もう、という議論もあるところです。</p> <p>この演習では、租税と市場を巡って近時急速な展開を見せる様々な議論を拾い上げて検討を加え、近未来の税制（と国家、経済社会）のあり方を一緒に考える、ことを目指します。</p>				

Course Code	5111090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	立法学				
Faculties	伊藤 和子				
Course Objectives/Overview	<p>大学における法学教育は、実定法の解釈学を中心としたものであるが、本講義では、実定法の制定がどのように行われているかについて、立法過程、立法政策、立法技術等の視点から多角的に概説する。</p>				

	<p>経済社会に生起する諸問題の解決に向けて、一定の政策目標を最も適切な形で実定法に組み込むための実践的な手法を学ぶことは、公共政策のテーマと重なるものである。</p> <p>講義に当たっては、進行中の事案も含め実際の立案事例を紹介するとともに、感染状況を勘案して可能であれば国会見学（講義外・任意参加）の機会を設けるなど、立法という営為をリアルかつアクティブなものと感じられるように心がけたい。</p>
--	--

Course Code	5111110	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	刑事政策				
Faculties	川出 敏裕				
Course Objectives/Overview	現在の刑事政策に関わる様々なテーマにつき、その問題状況を把握するとともに、あるべき解決策を探ることを目的とする。				

Course Code	5111120	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	知的財産政策				
Faculties	加藤 浩				
Course Objectives/Overview	<p>知的財産権とは、特許権、商標権、意匠権、著作権などの総称であり、近年、政策的なアプローチの重要性が高まっている。本講義では、これらの知的財産権を取り扱う知的財産政策について、基礎理論を整理した上で、知的財産政策の経緯と現状について解説し、今後の政策課題について考察することを講義のねらいとする。講義では、第一に、知的財産分野の主要なテーマごとに、知的財産政策について講義を行う。例えば、企業・大学における知的財産活動の現状・課題や、イノベーション政策、情報社会などのテーマにおける政策課題について考察する。また、秘密情報管理や安全保障との関係から、知的財産政策の今後の方向性について検討する。第二に、クールジャパン戦略について解説し、文化政策や地域政策における知的財産行政の現状と課題について考察する。また、文化多様性・生物多様性と知的財産政策との関連性についても考察する。第三に、グローバルな視点から、知的財産政策について講義を行う。例えば、途上国に対する開発投資や環境保全における知的財産政策の役割について考察する。また、人権保護の観点を含めて、医薬品行政・医療行政と知的財産政策の在り方について考察する。受講生として、公共政策に関心のある文科系の学生・社会人だけでなく、技術系の学生・社会人も想定し、最近のトピックス（オープンイノベーション、AI（人工知能）、ブランド戦略、クールジャパン政策、産学連携など）も適宜取りあげていく予定である。講師の意図としては、知的財産法制・政策がどうなっているかより、なぜそうなっているかを考えることに主眼を置いた講義を進めることとしたい。教科書、参考書は、最初の講義で紹介するが、原則として、講義資</p>				

	料を講師が作成して毎回、配布する。(希望者には、経済産業省、文部科学省、文化庁の見学などを実施する予定。)
--	---

Course Code	5111150	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際組織と法				
Faculties	森 肇志				
Course Objectives/Overview	<p>近年国際条約、とりわけ多数国間条約が数多く結ばれているが、これらのうち、条約により運営機関が設置されるものが多くみられ、条約体制と呼ばれるものが形成されている。それらは当該条約の適用・履行確保さらには発展という、国際法の実現において大きな役割を果たしている。また、こうした条約によるもの以外に、非拘束的合意（ソフトロー）によるものの重要性も増している。</p> <p>そうした条約等の多くは、それを実施するための国内法や国内裁判所による適用等を通じて、国内法平面においても、したがって国内法曹にとってもますます重要になってきている。</p> <p>本演習では、こうした条約体制（国際組織を含む）の構造ならびに実際の運用のあり方を、参加者のリサーチを中心に明らかにすることを通し、現代国際法の現実の姿の一端を明らかにする。具体的イメージとして、森肇志他『分野別国際条約ハンドブック』（有斐閣・2020年）、とりわけその「概論」を参照されたい。</p> <p>本演習は法科大学院との合併授業である。</p>				

Course Code	5111160	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際経済法				
Faculties	伊藤 一頼				
Course Objectives/Overview	<p>国境を越えた経済活動は絶えず加速しており、特に貿易・投資の分野においては明確な国際ルールの必要性が高いことから精緻な条約システムが構築されている。本講義では、貿易分野における世界貿易機関(WTO)、および投資分野における投資保護協定といった国際法制度を中心に、その歴史や規律内容の理解を目的とする。また、地域経済統合の進展や大国間の貿易摩擦など近年の新たな動向についても解説を加える。これらを通じて、現代の国際経済関係を法的な視点から読み解き、的確な分析を加えるための視点を獲得するとともに、国際経済法務に携わるうえで必要となる実践的な知識を身に付けることが目標である。実務家の特別講義を予定している。</p>				

Course Code	5111170	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際人権法				
Faculties	寺谷 広司				

Course Objectives/Overview	<p>今日、人権は国際社会における最も中心的な関心の一つであり、日本でも法曹関係者を初め、多くの立法・行政機関関係者、民間団体が「国際人権」に関与するようになってきている。この授業では、人権の国際的保障の現状とあるべき姿について考察する。そのために、現行諸制度の仕組みと運用について理解を深めるのはもちろんのこと、背景となる歴史と理論、特に国際法理論との連続を重視して討論する。</p>				
----------------------------	---	--	--	--	--

Course Code	5111200	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	法制執務の基礎と応用-法治国家の政策対応				
Faculties	外山 秀行				
Course Objectives/Overview	<p>政府の各府省は、所管法令について、個別事案に応じた解釈運用を行うとともに、新たな政策課題に対応した制度改正を行うべく企画立案事務を遂行している。本講義は、こうした法令の解釈運用と企画立案に当たって必要となる基礎的・技術的な事項を解説し、併せて、立法過程の仕組みを概観することにより、法令解釈、立法技術、立法過程の三分野にわたって、法制執務に携わるために必要な知識を養成することを目標とする。</p>				

Course Code	5111210	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Japanese Law				
Faculties	Daniel Foote				
Course Objectives/Overview	<p>This course will help students understand the fundamentals of law in contemporary Japan. Students will emerge with at least a foundational understanding of key concepts in Japanese law, both in isolation and in their social context. Students will learn critically to discuss strengths and weaknesses of various areas of Japanese law, and offer comparisons with other systems where appropriate. The course assumes no knowledge of Japanese law, or law in general.</p>				

Course Code	5112010	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政治学 I				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	<p>政治学 I は、政治学の入門クラスです。広い意味での政治学関連科目を勉強した経験がない人、または政治学の基本を学び直したい人を対象に、一般教養としての政治学の学修を目標にします。基礎的な知識を習得するにとどまらず、その知識を用いて自分の意見を考え、表現し、また多様な見方を知ることを目指します。</p>				

Course Code	5112030	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政治思想と公共政策				
Faculties	荏部 直				
Course Objectives/Overview	<p>政治思想上の諸問題は、政策を作り、運用する過程に、さまざまな形で深くかかわっている。これは、いわゆる「公務員倫理」（あるいは「政治倫理」？）といったような、決定者の心得にとどまるものではない。現場で直面する、個々の課題について選択を迫られるとき、結論に至る筋道は多くの場合、何がいったい「平等」か、人のいかなる「自由」を守るべきか、政府がなすことの限界をどうさだめるか、そもそも「政治」とはいったい何なのか.....といった、原理上の問いについて、当面する状況に適したアイディアを見いだす思考作業と切り離せないのである。</p> <p>この授業は、担当者の報告と、参加者全員の討論による、演習形式で行なう。授業時間は毎回延長する。</p> <p>研究者養成コースである、大学院法学政治学研究科総合法政専攻と合併。</p>				

Course Code	5112040	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政策分析				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	<p>政策分析は、決定者に対してどのような政策的な選択肢が存在するのかを示し、その効果やコスト等に関する情報を明らかにするものである。この授業においては、政府が社会経済に働きかける政策の様々な手段という側面を中心的な視点にして考察してゆく。</p> <p>まず、最初に現在のガバナンスの変容が政策手段の選択にどのような影響を与えているのか、その大きな動きについて論ずる。さらに、政策の様々な手段を評価し、判断する軸として、どのような観点が重要となるのかを議論する。次に、具体的な政策の事例を挙げながら、（１）規制、補助金、直接供給等といった政府の用いる政策手段の基礎的なレパートリーにどのようなものがあるのか、また、（２）個々の政策手段には、どのようなメリットとデメリットが存在するのか、さらに（３）個々の政策手段が有効に機能する条件はどのようなものであるのか、について考察してゆきたい。この授業を通じて、政策的な課題に対応するための手段的な選択肢についての一定の見取り図を得、具体的な課題にそって具体的な手段を組み合わせ新たに構築してゆくための基礎的な能力を身につけることを目的とする。</p>				

Course Code	5112050	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	自治体行政学				

Faculties	金井 利之
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、現代日本の自治体行政に関して、様々な特徴について概説する。</p> <p>行政学各論として、行政学一般を自治体に適用する講義を行う。</p> <p>なお、行政学各論としての性格から、都市政治・自治体政治に関することは、基本的には本講義の対象外かもしれないが、政治行政の密接な関係から、重要な環境要因として解説する。また、自治体政府相互の関係、あるいは、自治体政府と全国政府の関係は、政府間関係論の領域かもしれないが、必要な範囲で、本講義でも言及することはある。</p>

Course Code	5112060	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	公共管理論Ⅰ				
Faculties	金井 利之／尾西 雅博				
Course Objectives/Overview	<p>公共政策の形成、実施、評価は、主として行政機関による組織的活動である。組織活動を効果的に実施するためには、多数の要素から構成されている組織活動の適切な「管理」が不可欠である。この授業では、このような公共政策に関する管理を「公共管理」と捉え、その基本的な考え方について述べるとともに、行政組織について、「行政管理」のための資源と手法、病理、改革等の基本的事項について考察する。今年度も以前に引き続き、行政管理の中心的なテーマであるとともに「基盤行政」ともされてきた、人事管理及び公務員制度について、公務員制度改革にも焦点を当てながら講義を展開する。</p>				

Course Code	5112070	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	公共管理論Ⅱ				
Faculties	正木 祐輔				
Course Objectives/Overview	<p>政策は、立案されて終わりではなく、行政組織を通じて実施される必要があります。最終的により良い政策が実施されるためには、政策の内容それ自体をより良くすることのみならず、立案から決定、実施に至るまでの行政組織内外における政策過程をより良くすることも重要です。例えば、行政組織は、政策目的実現のため、限られた資源を効果的・効率的に活用するように設計されなければなりません。また、政策実施に当たっては、市民や各種団体等の様々な利害関係者との協力が必要であるのみならず、政策実施前の政策立案・決定段階でも、議会における承認や関係者との合意形成が必要です。さらに、行政組織の中で働く行政官は生身の人間であり、無味乾燥な制度だけでなく、彼らがモチベーションを持って働ける仕組みも重要です。</p> <p>本講義では、政策過程において大きな役割を担う行政機構を、人間</p>				

	一人ひとりから構成される有機体としての「組織」の観点から捉えた上で、行政組織内外における政策過程をより良くするための知識・技術を身に付けることを目指します。具体的には、行政組織を巡る構造について、政官関係、国・地方関係など組織間の構造のみならず、意思決定の在り方や人材マネジメントなど組織内の構造を含めて理解を深めることを目指します。さらに、その構造を担う一員一人ひとりが最大限パフォーマンスを発揮するための交渉力、リーダーシップ等のソフトスキルの習得も目指します。必要に応じて、担当教員の実務家としての国（総務省、内閣府）や地方自治体（熊本県、山口県）での経験も参照します。
--	--

Course Code	5112080	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ポリティカル・メソドロジー				
Faculties	加藤 淳子				
Course Objectives/Overview	政治学の方法論の基礎を身につけることを目的とする。比較の方法を中心に、基本的なゲーム理論・社会的選択理論を含む合理的選択理論、基本的な統計分析の考え方、歴史的アプローチを含む新制度論、実験の方法など、政治学における分析手法を幅広く取り扱う。これらの文献の多くは、海外の政治学博士課程プログラムでも読まれているものであり、この授業に参加することで、政治学の様々な方法を包括的に理解することができる。				

Course Code	5112090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際行政論				
Faculties	城山 英明				
Course Objectives/Overview	国際行政とは国境を越えた相互依存にともなう諸課題を解決するための様々な組織的マネジメントである。多国間国際組織の活動のみならず、二国間等の調整活動やNGO等の活動も含まれる。国際組織と国、NGOといった組織間関係のマネジメントも1つの焦点である。国際行政は2つの特質を持つ。第1に国際行政の対象は多量かつ多様である。第2に国際行政活動は諸主権国家制という分権的な統治制度の下で行われる。本講義では以上のような基本的特質を持つ国際行政現象について、組織論、管理論（財政、人事等）、活動論の観点から行政学的に分析することを試みる。活動論に関しては、国際安全保障（国際刑事司法、科学技術と安全保障を含む）、国際援助、国際的規制調和等の具体的事例をとりあげる。				

Course Code	5112101	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際政治経済 I				

Faculties	飯田 敬輔
Course Objectives/Overview	国際政治経済論は国際政治と国際経済は相互にどのように関係しているのかを理論的かつ体系的に解明することを目標とする。理論的枠組みとしては、現在の国際関係理論の主要理論であるリアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズムを中心に考察する。応用分野としては、通商、通貨、金融、開発などのほか、環境問題も扱う。

Course Code	5112111	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	International Conflict Study				
Faculties	FUJIWARA Kiichi				
Course Objectives/Overview	<p>What is an international conflict? Will it be possible to discuss the origins of international conflicts in the abstract, or would it be that the distinct character of each conflict rules out theoretical abstraction? How, and in what way, can we relate the conflicts that we observe each day to the ones that have been studied in the past decades? Those are the questions that will guide our journey.</p> <p>In this seminar, we will discuss various conceptual approaches to international conflicts. These approaches need not be new; many of them date back to the court diplomacy in post-medieval Europe, while others emerged out of the period following the end of the Cold War. Our purpose here will be to examine the utilities of old and new concepts in the light of present-day conflicts. Please be advised that this is an introductory course that only offers brief overview of the terrain in which international conflicts take place.</p>				

Course Code	5112131	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Science, Technology and Public Policy				
Faculties	SHIROYAMA／ALEMANNO／MATSUO				
Course Objectives/Overview	<p>The development and diffusion of science innovative technologies is indispensable for modern society. However, despite its benefits, the development of science and technology is not without various risks and social problems. So far as we are going to make societal decisions for the use of science and technologies with diverse social implications that encompass both risks and benefits, sometimes involving values implications, there is a need for mechanisms of decision making and management of the development and utilization of science and technology. Decisions can be different depending on environmental, institutional and cultural conditions. In addition, innovative policy instruments/ mechanisms to deal with rapidly changing science and technology, including regulatory measures, are required for implementing decisions.</p> <p>This course will deal with wide range of issues from local to global levels faced at the interface areas between science, technology and public policy from comparative perspective of Japan, the US and Europe. It offers key theoretical issues surrounding Science and Technology and provides students with the tools and frameworks, such as risk assessment/ management and transition management, to analyze them. This course invites students from both natural</p>				

	science backgrounds (i.e. the graduate school of engineering, new frontier science and so on) and social science backgrounds (graduate school of public policy, law and politics, and economics and public policy). We expect students to acquire interdisciplinary perspective in addition to their primary major, which is one of the critical skill in analyzing complex social technical issues posed by science and technology.
--	--

Course Code	5112140	Term	A 1	Credits	2
Course Title	開発研究				
Faculties	佐藤 仁				
Course Objectives/Overview	<p>開発/発展という現象を歴史的、批判的な観点から検証し、あわせて研究手法の紹介も行う。とりわけ、開発援助における権力作用、国家とは何か、貧困への視点、技術の役割、援助の役割などを扱う。学生諸君が先入観としてもっている「開発」のイメージを揺さぶり、一段深い考察のレベルに誘導することが目標である。</p> <p>形式は、講義と演習を折衷した形をとり、課題文献の予習を前提として、学生が主体的に議論に参加する形をとる。よって「学ぶだけ」の学生は歓迎しない。考えたことを発信する意欲のある学生を歓迎する。課題文献の要約と批判を含めたミニ・レポートを3回課すが、この採点は、学生同士で行う。また、教室では、議論の喚起を目的とした簡潔な報告をする訓練を行い、対話する上でのコミュニケーション能力養成も視野にいれる。英語を中心に一定量の文献を毎週読んでもらうが標準的に4時間程度の予習時間が確保できそうもない人には受講をすすめない。</p> <p>具体的なスケジュールや課題文献リストについては初回の授業でシラバスを配布したうえで解説するので、受講希望者は必ず初回の授業に出席してほしい。</p>				

Course Code	5112150	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政策過程論				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	<p>政策の決定・実施・評価の一連のプロセスについて検討する。政策過程の政策課題の認識、課題設定、具体案の作成、意思決定(行政部内、議会)、モニタリング・評価の各段階において、どのような要因が影響するのか等に関する見取り図を与えることを意図する。また、各々の段階で配慮すべき事項についても、具体的事例を素材に検討する。</p>				

Course Code	5112170	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	現代日本政治				

Faculties	谷口 将紀
Course Objectives/Overview	現代日本政治の主要トピックスのうち、いくつかを選び、さまざまなアプローチを用い、インテンシブに分析します。 現在住んでいる日本の政治を、自分なりの言葉で分析・説明できるようになること、他人の見方を鵜呑みにするのではなく、政治を主体的に考え、結論を出せるようになるためのキッカケを提供することが本授業の目的です。

Course Code	5112181	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Modern Japanese Diplomacy				
Faculties	TAKEUCHI Haruhisa				
Course Objectives/Overview	The International community and the Asia Pacific region in particular are going through rapid structural changes which represent both opportunities and challenges to the region and the world. The course will review and discuss the contemporary Japanese foreign and security policy. Throughout the course, the lecturer, a former diplomat, will endeavor to share with the students his experience as a practitioner. As appropriate, guest speakers will be invited to discuss current affairs.				

Course Code	5112191	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Policy Process and Negotiation				
Faculties	AOKI Naomi				
Course Objectives/Overview	This course aims to enhance students' understanding of public policy processes. The class format combines lectures and case discussions. The lectures cover theories and empirical research findings, as well as real-world examples, and the treatment of topics is comparative and international in scope; this approach helps students to look at their own countries from an outside perspective and to see their distinctiveness. Students are asked to critically evaluate trade-offs involved in policy processes, which can vary considerably, especially at the international level. A comparative approach comes at the expense of in-depth analyses of single national or local cases – a gap students are encouraged to fill when they write reflection essays. Given the lecturer's background, the course will be taught mostly from a public administration perspective, with some interdisciplinary influences.				

Course Code	5112195	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Field Seminar in International Relations				
Faculties	HENG Yee Kuang / AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	This course provides an overview of the key issues and theories of global and international affairs. Introductory sessions will cover core theories as well as integrating concepts to help understand International Relations as a complex				

	<p>interplay between power and interests, cooperation and discord; institutions and norms, and diverse actors. Subsequent weeks will apply these concepts to selected issue areas including security and war; peacekeeping and humanitarian intervention; international trade and finance; and global public goods such as climate change and global health.</p> <p>It is anticipated that students will develop a deeper and more nuanced understanding of the complexities of the international system in the 21st century. Through prescribed academic writings, students are directed to the linkage between emerging global events and to think critically about how the global agenda of the new millennium will be shaped by drivers such as globalisation, cooperation and discord, and major power transitions.</p> <p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. An ability to approach both theoretical debates and foreign policy outcomes with diverse analytical tools 2. The ability to collate and evaluate arguments from different sources and perspectives 3. The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms 4. Critical thinking, analytical and reading skills
--	---

Course Code	5112211	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process				
Faculties	HAYASHI Ryoza				
Course Objectives/Overview	<p>Objective</p> <p>The objective of this course is to understand Japanese economic policy-making process from comparative perspective through the analysis of post-war economic development including Abenomics.</p> <p>While policymaking process is essentially determined by the interaction of history, national value system and institution, economic policy is heavily influenced by the coalition of legislator, relevant executive officials and interest groups with some participation of public. After walking through the establishment of basic structure at Meiji Restoration and major modification, we will compare Japanese system with other major economies including US and UK.</p> <p>Student will be expected to make short presentation.</p> <p>Class will be conducted in English. Students are encouraged to actively participate in the class.</p>				

Course Code	5112220	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Governance and Development				
Faculties	MOTODA Yuka				
Course Objectives/Overview	<p>The objectives of the course are: 1) to give students a historical understanding of the context of the rise and fall of major development theories on which donors have based their aid policies; 2) to deal with the ways in which current international development cooperation takes place in the areas at issue - with the primary focus being placed on 'governance' amongst them; 3) to provide a critical assessment of the ways in which the concept of 'governance' and the role of state are framed through international development discourse in general and development aid in</p>				

	<p>particular.</p> <p>By the end of the course, students will be able to understand firstly why a certain theory was emerged at a certain point of history and why it was adopted by donors, and how it was turned into their aid policies. Secondly, students will deepen their understandings of the impact of implemented aid policies on recipient states' governments and societies at large - i.e. the governance of recipient states. Thirdly, students will be able to follow up emergent 'unorthodoxies' that challenge the dominant discourse on governance and development in the international aid industry.</p>
--	--

Course Code	5112242-3	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	農村統治における個と集団				
Faculties	松里 公孝				
Course Objectives/Overview	<p>ロシア・ソヴェト農政史においては、国家が村自治をどう利用するのかが重大な問題であり続けてきた。 ストルイピン期の個人農化政策を村会の取り決めで進める、村会の取り決めで利用して戦時の穀物調達や農業集団化など農民の利益に反する政策を進めるような逆説もまま見られた。ポスト社会主義の集団農場の解体は、生活防衛のための村コミュニティの意義をかえって高めた。日本の農村とも共通するが、恩顧政治の下では、村レベルの票の動員が保守政治の基盤をなす。</p> <p>本演習では、農奴解放以来のロシア帝国・ソ連・旧ソ連の村自治のあり方を、中国、日本などとも比較しながら検討する。</p>				

Course Code	5112243-3	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	旧社会主義国における恩顧政治と支配党				
Faculties	松里 公孝				
Course Objectives/Overview	<p>旧社会主義諸国の中で、安定的な支配政党の建設に成功した例、ロシア（統一ロシア党）、カザフスタン（ヌルオタン党）、アゼルバイジャン（新アゼルバイジャン党）に注目し、そのような支配政党の発生と機能、成功因、デモクラシーにとっての功罪を考察する。支配等建設に失敗している例や、議会多数を占める政党が成立してもすぐに衰退してしまうウクライナ、クルグズスタン、アルメニアなどとの比較を行う。</p>				

Course Code	5112250	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Social Science				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	At the end of the course, the student should have familiarised with the key concepts informing epistemological and methodological debates in social science,				

	<p>such as hypothesis, theory, falsification, verification, covering law, causality, with particular consideration for positivistic paradigms and anti- or post-positivistic reactions.</p> <p>The student should be aware of the specific difficulties of social scientific disciplines in studying human societies arising from the problematic separation between the studied object and the studying subject, and the link between social science and the political dimension.</p> <p>The student should familiarise with problems of social research design, starting from the specificities characterizing the various stages of social science research.</p> <p>The student should become aware of the functional classification of social science methods in qualitative and quantitative, familiarising with a number of techniques in both domains, while grasping that contemporary social research increasingly requires the application of different methods and interdisciplinary approaches, which also lead to the necessity of teamwork coordination.</p> <p>The course also aims at providing a large variety of examples where the concepts and principles described above find their application and didactical clarification. Those examples will focus in particular on the study of technology and its social impact.</p> <p>Finally, the student should become aware of the moral implications, limits and rules informing social science research, as well as of the role and importance of effective communication in the social sciences.</p>
--	--

Course Code	5112260	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to International Politics				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>At the end of this course, the student should have familiarised with a series of ongoing discussions concerning the nature of international politics, both in its theoretical articulation and in its several sectorial dimensions. International political theory will be introduced through an analysis of the major schools of thoughts providing a definition of what international politics is about (ontology) and how it is supposed to be studied (epistemology). For this initial part (Lectures 1-7), the students will become familiar with the concepts of realism, Realpolitik, anarchy, power, national interest, zero-sum-game, relative vs. absolute gain, polarity, globalisation, sphere of influence, intervention, human rights, emancipation. A second group of four lectures introduces specific sub-disciplines and study fields in international politics, dealing with geopolitics, international political economy, international organisation, and international environmental issues. Student will become acquainted with the influence that geography exercises on the life of political communities, and how much of international political debates and struggles revolve around the position of a certain state within the economic architecture of the globe. International organisations will be illustrated as the key component of a highly interconnected world in need of governance structures, however tenuous. A strong emphasis will be put on environmental questions, particularly climate change, and the student will familiarise with the specific difficulties characterising environment protection in a globalized world with high levels of resource competition.</p>				

Course Code	5112265	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Public Management				
Faculties	AOKI Naomi				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to introduce selected topics of public management research and reform discourse. It is designed to serve students who aspire to work for a public organization or to become informed citizens who can critically assess the functioning of their government organizations. The lectures cover theories and empirical research findings, as well as real-world examples, and the treatment of topics is comparative and international in scope; this approach helps students to look at their own countries from an outside perspective and to see their distinctiveness. It also helps students to see trade-offs involved in different approaches to public management, which can differ substantially at the international level. Discussions are based on cases and questions prepared by the instructor.</p>				

Course Code	5112270	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Security Studies				
Faculties	HENG Yee Kuang				
Course Objectives/Overview	<p>The aim of this module is to introduce students to key concepts and issues that constitute the agenda of Security Studies today. It stresses different approaches to understanding security; and the key ongoing transitions and drivers within the global system, which has led to a mix of so-called 'old' and 'new' security challenges to be addressed. Various historical and theoretical debates on what might be termed 'classical' or 'old' security concepts in the 21st century are examined, such as the role of Great Powers, the Security Dilemma, Arms Races; territorial disputes and geo-political competition. At the same time, it also enables students to understand current debates about the impact of globalization on security through studying issues such as trans-national terrorism; the spread of infectious diseases and ethnic conflicts. These may be loosely labelled the 'new' security agenda. It is anticipated that students will develop a deeper and more nuanced understanding of the complexities of the global system in the 21st century. Through prescribed academic writings, students are directed to the linkage between emerging global events and to think critically about how the global security agenda of the new millennium will be shaped by drivers of change such as globalisation and major power transitions.</p> <p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. An ability to approach both theoretical debates and foreign policy outcomes with diverse analytical tools 2. The ability to collate and evaluate arguments from different sources and perspectives 3. The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms 4. Critical thinking, analytical and reading skills 				

Course Code	5113007	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Principles of Microeconomics				

Faculties	OGAWA Hikaru
Course Objectives/Overview	This course covers the introductory microeconomics to students who are not majoring in Economics. It provides key concepts, economic ideas, and a framework for learning about microeconomics. The course places primary emphasis on the role of market, and then analyzes the role of government in the market.

Course Code	5113009	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Principles of Macroeconomics				
Faculties	YOSHINO Naoyuki				
Course Objectives/Overview	<p>This course will ask students to understand macroeconomic theory and its application to real world. Lots of examples will be used in the lecture to make students understand the relation between macroeconomic theory and real world. Mathematical equations are used in the class which will assist students to learn deeply.</p> <p>All the chapters will be based on my draft of the textbook which is expected to be published in this summer.</p> <p>Active participation in the class by students will make me easy to teach.</p>				

Course Code	5113016	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Microeconomics for Public Policy				
Faculties	IIZUKA Toshiaki				
Course Objectives/Overview	This is an introductory course in microeconomics, which covers the fundamental theories of the consumer, the firm, and markets. Emphasis will be on applying these theories to understanding and evaluating real world events so that the student learns to think like an economist. It assumes no prior knowledge of economics, and some of high school level mathematics and graph based reasoning will be used.				

Course Code	5113017	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Microeconomics for Public Policy				
Faculties	IIZUKA Toshiaki				
Course Objectives/Overview	Under the supervision of Prof. Iizuka, the TA will go over some lecture materials, problem sets and homework materials.				

Course Code	5113018	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Macroeconomics for Public Policy				
Faculties	NIREI Makoto				
Course Objectives/Overview	This course introduces the basic concepts of macroeconomics, which provides standard framework and statistics used in macroeconomic policy debates. Students will learn the systematic method toward understanding of markets and why markets				

	sometimes fail to achieve full employment or economic growth. The goal of this course is to prepare students to read the literature on macroeconomic policy debates by themselves. This course will provide the basis for further studies in such fields as monetary economics and policy, economic growth and development, public finance and social securities, banking and finance, and international trade and finance.
--	---

Course Code	5113019	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Macroeconomics for Public Policy				
Faculties	NIREI Makoto				
Course Objectives/Overview	Practice Session for Macroeconomics provides discussion series that complement Macroeconomics for Public Policy (5113018).				

Course Code	5113021	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Microeconomics				
Faculties	WATANABE Yasutora				
Course Objectives/Overview	<p>The purpose of this course is to develop understandings of microeconomic analysis. We study how economic agents, such as consumers and firms, make choices, how the choice of the economic agents results in market outcomes, and how it affects the welfare of the consumers and the profits of the firms. Given that this course is offered in the graduate school of public policy, we pay more attention to the policy implication of the analysis.</p> <p>The first half of the course will cover the standard price theory. After covering the partial equilibrium analysis, we dig deeper into consumer behavior and producer behavior, and then equilibrium under monopoly and competitive market. In the second half of the course, we cover strategic interaction (game theory), externalities, public goods, models of imperfect competition, asymmetric information, and other related topics.</p>				

Course Code	5113031	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Microeconomics				
Faculties	WATANABE Yasutora				
Course Objectives/Overview	<p>The purpose of this course is to develop understandings of microeconomic analysis. We study how economic agents, such as consumers and firms, make choices, how the choice of the economic agents results in market outcomes, and how it affects the welfare of the consumers and the profits of the firms. Given that this course is offered in the graduate school of public policy, we pay more attention to the policy implication of the analysis.</p> <p>The first half of the course will cover the standard price theory. After covering the partial equilibrium analysis, we dig deeper into consumer behavior and producer behavior, and then equilibrium under monopoly and competitive market. In the second half of the course, we cover strategic interaction (game theory), externalities, public goods, models of imperfect competition, asymmetric</p>				

	information, and other related topics.
--	--

Course Code	5113041	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Macroeconomics				
Faculties	NAKATA Taisuke				
Course Objectives/Overview	Learn basic tools of macroeconomics				

Course Code	5113051	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Macroeconomics				
Faculties	NAKATA Taisuke				
Course Objectives/Overview	To assist students learn the materials covered in "Macroeconomics."				

Course Code	5113060	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	統計分析手法				
Faculties	陣内 悠介				
Course Objectives/Overview	統計学の基礎理論を習得し、データ分析のスキルを身に付けること。				

Course Code	5113061	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Statistical Methods				
Faculties	SHIGEOKA Hitoshi				
Course Objectives/Overview	This is an introductory course in statistics and econometrics. The objective of the course is to make students become familiar with how to use and interpret basic descriptive statistics, probability distributions, point and interval estimations, hypothesis testing, forecasting, and simple regression analysis. The course will focus on concepts and practice needed for understanding the existing empirical studies as well as for carrying out their own empirical works in economics. Students will learn how to apply the methods presented in class to real dataset through computer exercises using the econometric software (mainly STATA).				

Course Code	5113065	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Statistical Methods				
Faculties	SHIGEOKA Hitoshi				

Course Objectives/Overview	This is a practice session that complements Statistical Methods (5113061).				
----------------------------	--	--	--	--	--

Course Code	5113074	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Econometrics for Public Policy				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course introduces basic econometrics that is indispensable to evaluate the effectiveness of public policies.				

Course Code	5113075	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Econometrics for Public Policy				
Faculties	CHEN Stacey				
Course Objectives/Overview	This course introduces contemporary methods for empirical studies and demonstrate how to apply those methods to data and interpret estimation results.				

Course Code	5113084	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Econometrics for Public Policy				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course is a companions course of Econometrics for Public Policy. This practice session guides you how to implement econometric methods introduced in the lecture using statistical package software.				

Course Code	5113085	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Econometrics for Public Policy				
Faculties	CHEN Stacey				
Course Objectives/Overview	This course is a companion course of Econometrics for Public Policy. This practice session guides students on implementing econometric methods introduced in the lecture using R, a statistical package software.				

Course Code	5113090	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	公共政策の経済評価				
Faculties	岩本 康志				
Course Objectives/Overview	政策形成をより合理的なものに改善していくためには、政策分析の質的向上が必要である。 なかでも、政策の効果を経済学的に分析することは、その結果を肯定するにせよ、否定するにせよ、政策形成上必須であろう。しかし、				

	<p>これまで、政策の効果を経済学的に分析することは日本の政策現場では伝統的に軽視されてきた。</p> <p>本科目の主要な目標は、以下の 2 つである。1 つは、費用便益分析の標準的な教科書に基づいて費用便益分析の全体像を習得することである。もう 1 つは、費用便益分析の知識を理解するには現実の事象への応用が不可欠という観点に立ち、受講者がグループに分かれ、社会資本投資、市場設計、規制評価等、自ら選んだ事例について費用便益分析を行うことである。</p> <p>なお、ミクロ経済学、マクロ経済学及び統計学の素養が前提となるが、高度な経済学的分析を追求するものではなく、前提とする水準は「Principles of Microeconomics」及び「統計分析手法」程度である。</p>
--	--

Course Code	5113100	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	公共政策の経済評価実習				
Faculties	岩本 康志				
Course Objectives/Overview	「公共政策の経済評価」の理解を深めるため、演習問題や、費用便益分析を現実に応用するための実習を行う。				

Course Code	5113152	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	International Trade Policy				
Faculties	KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	<p>This is an introductory class to International Trade. In the class we will address the main issues associated with international trade:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Is free trade beneficial to countries? - What are the potential consequences of trade liberalization? - What are the ways trade can improve country's welfare? - How does trade impact income inequality? - Who are the winners and losers from trade? - What are the right trade policies? <p>While answering these questions, we will cover some of the main theories of international trade: Ricardian, Heckscher–Ohlin, Krugman, and Melitz models. The focus will be in understanding these theories on the conceptual level, rather than going into in-depth mathematical details of these models.</p>				

Course Code	5113161	Term	A 1	Credits	2
Course Title	International Financial Policy				
Faculties	HATTORI Takahiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to help students to develop a solid understanding of the basics of international finance and provide useful economics background for practitioners and policy makers.</p> <p>To this end, the course will cover key theoretical concepts (e.g. the determinant</p>				

	of current account and foreign exchange and discuss several applications and practical issues.
--	--

Course Code	5113180	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Development Economics: Microeconomic Approach				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	The objective of this course is to understand the basic concepts and methods of development microeconomics. It is designed for a wide range of students who are interested in international development. It covers development, poverty, inequality, vulnerability, program evaluation, demography, health, education, labor, migration, social protection, finance, political economy, and institution. This lecture course is offered in English.				

Course Code	5113190	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Development Economics: Macroeconomic Approach				
Faculties	Fabinger Michal				
Course Objectives/Overview	Understand key policy issues in macro development from both theoretical and empirical perspectives. First, students are expected to build theoretical foundations through neo-classical growth theory and the new growth theory. Second, students are expected to build empirical foundations through key data analyses for the catch-up process of developing countries. Third, students are expected to recognize various barriers for economic development, effects of removing barriers in the development process (of now advanced countries), and policy implications from the related studies. In addition, students are expected to find that key barriers lie in the financial system and the labor markets as well as in the social institutions (e.g., family and gender issues). Note: This syllabus is from a previous version of the course. At the beginning of the course, we will decide on appropriate adjustments based on the students' interests.				

Course Code	5113195	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Political Economy of Regime Change				
Faculties	TAKAGI Yuki				
Course Objectives/Overview	TBD				

Course Code	5113225	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Introduction to Game Theory				
Faculties	TAKAGI Yuki				

Course Objectives/Overview	TBD
----------------------------	-----

Course Code	5113240	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Economic Analysis of Public Sector				
Faculties	OGAWA Hikaru				
Course Objectives/Overview	This course covers the fundamentals of economic analysis of public sector ("public economics"). Specifically, it provides an overview of the key theorem, hypothesis, and the concept in micro- and macroeconomic public policy analyses. Particular emphasis is directed at developing tools that can be applied theoretically to clarify essential economic concerns in the current public sector. Such concerns include the social welfare and equality, externality, public goods provision, public procurement, optimal taxation, public debt, and fiscal sustainability.				

展開科目

Topics Courses

Course Code	5121010	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	環境法				
Faculties	中谷 和弘／大塚 直／桑原 勇進				
Course Objectives/Overview	わが国では幾多の公害事件訴訟を通して不法行為や差止め等をめぐる民事法理論に大きな進展が見られたところであり、まずはその流れを把握するとともに最新の問題状況を正確に理解することが第一の課題である。しかし、損害賠償や差止めといった民事法の伝統的なテーマに思考を局限することなく、環境救済法という枠組みの下に、経済学理論に基づく近時の救済手法や環境哲学に立脚する新たな救済原理などをも視野に収めた幅広い考察を求めていく。さらに環境法の国際的側面についても理解を深めてもらうことを目指す。				

Course Code	5121020	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	競争政策と法				
Faculties	白石 忠志				
Course Objectives/Overview	競争法（独禁法）の基本的な枠組みと考え方を理解します。法令・ガイドライン・主要事例などに根ざした具体的で体系的な理解を目指します。あわせて、競争法の英語に慣れます。短く基本的な英文を読む機会を多くし、成績評価においても英文読解を取り入れます。				

Course Code	5121022	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Big Tech and competition law: how has competition law dealt with GAFA?				
Faculties	VANDE WALLE, Simon A.W.				
Course Objectives/Overview	<p>Google, Amazon, Facebook and Apple play an important role in the digital economy and in our daily lives. But the rapid growth and market power of these companies has also raised concerns. Have these companies become digital monopolies that threaten competition? Have they abused their market power to exclude smaller competitors? Have they engaged in “killer acquisitions”?</p> <p>This seminar will look at how competition law - known in Japan as antimonopoly law 独占禁止法 - has dealt with these questions. The core of the seminar will be an analysis and discussion of the main cases that have been brought against Google, Amazon, Facebook and Apple. What was at issue in these cases? What has been the impact of these cases? The focus will be on cases brought by the European Commission, which enforces EU competition law, but cases brought by U.S. authorities and the Japan Fair Trade Commission can also be discussed.</p>				

Course Code	5121040	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	経済刑法
Faculties	和田 俊憲
Course Objectives/Overview	経済活動を規制する各種法令の罰則について、刑事法の立場から解釈論的な検討を加える。

Course Code	5121050	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	公共哲学と法				
Faculties	瀧川 裕英				
Course Objectives/Overview	<p>公共政策は公共的理由によって正当化されることが必要である。では、公共的理由とは何か。公共政策を正当化するときに、援用できる理由は何であり、援用できない理由は何であるのか。</p> <p>この授業は、論争的で実践的な問題を検討することを通じて、何が公共的理由となりうるかを考察する能力を養うことを目的とする。それと同時に、公共政策を提案するときに必要な情報とは何か、という点をも考察していく。</p> <p>そのために、3つのテーマを設定する。第一は、リスクと安全である。リスクに対処するとき、どの程度安全を考慮すべきか。裏からいえば、自由をどの程度確保すべきか。第二は、平等とマイノリティである。異なる人をどのように取り扱うことが、平等なのか。違いに応じるべきなのか、違いを無視するべきなのか。第三は、デモクラシーである。デモクラシーが機能するためには、どのように制度を改良すべきか。こうしたテーマについて、それぞれ3～4の問題を設定して検討していく。</p>				

Course Code	5121080	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	労働法政策				
Faculties	濱口 桂一郎				
Course Objectives/Overview	伝統的な公労使三者構成の審議会において労使団体と政府(厚生労働省)の間で行われる対立と妥協のメカニズムとともに、近年顕著な官邸主導による立法も含め、具体的な労働立法の政策決定過程を跡づける形で、労働法制の内容を説明する。いわば、完成品としての労働法ではなく、製造過程に着目した労働法の講義である。				

Course Code	5121090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	社会保障法政策				
Faculties	鈴木 俊彦				
Course Objectives/Overview	社会経済、国民生活の中で、社会保障は、現在及び将来にわたり非常に大きな比重を占めており、現代行政における社会保障行政の重				

	<p>要性もますます大きくなっている。</p> <p>一方、人口減少・少子高齢化、社会経済の構造変化など、社会保障を取り巻く環境・状況は大きく変貌しつつあり、その中で社会保障について、どのような法政策を展開し、どのような保障の形を選択していくかは、「国のかたち」にも関わる重要な問題となっている。</p> <p>こうした状況認識・課題認識に立ち、社会保障各分野の政策の責任者として、長年にわたり立案・実施に当たってきた経験を踏まえ、我が国の社会保障の現状と課題、今後の社会保障改革の方向性等について解説し、社会保障に関わる今後の法政策を考える上での基本的枠組みや視点を提供する。その際、社会保障各分野の実務家、政策担当者等との対話を通じて最新の状況を把握し、理解と考察を深める。</p> <p>具体的には、総論として、人口構造の変化、社会経済の変化、国民生活の変化、国際比較等を明らかにしつつ、我が国の社会保障の現状と課題を概観する。各論として、医療、介護、年金等を中心に、主要分野について、現状と課題、今後の政策の方向性等を概観する。以上を踏まえて、社会保障政策の今後の方向性に関する論点について掘り下げて分析し、総括として今後の社会保障と我が国社会の在り方について考察する。</p>
--	---

Course Code	5121105	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際法の基礎理論				
Faculties	伊藤 一頼				
Course Objectives/Overview	学部における国際法の講義で修得した基礎知識を前提として、さらに深く国際法の理論的問題に取り組むための重要文献を講読し、研究を深めるための素材とする。特に、伝統的な国際法理論に対して新たな課題を投げかけるような事例や議論を取り上げ、今後の国際法の発展を見通すような視点を身につけることが目標である。				

Course Code	5121110	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際租税法				
Faculties	神山 弘行／佐藤 修二				
Course Objectives/Overview	租税法の国際的側面を学びます。企業活動がグローバル化する中で、国際取引を行ったときに課税がどうなるかを検討できると、法律家として仕事をする上で大きな強みになります。そこでこの授業では、所得課税を中心にして、国際的な課税問題についてまとめた見通しを得ることを目標にします。制度の理論的基礎を講ずるのみならず、具体的な取引事例を素材とすることにより、問題発見やプランニングのための力を養います。				

Course Code	5121121	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	International Environmental Law				
Faculties	TAKAMURA Yukari				
Course Objectives/Overview	International environmental law (IEL), an evolving branch of international law aimed at protecting the environment, has provided a legal framework for addressing transboundary environmental challenges. The objectives of the course is to deepen understanding of historical developments, basic concepts and principles, feature of IEL in a comprehensive manner, and to examine various contemporary and cross-cutting issues, such as climate change, trade and the environment, and human rights and the environment, with view to exploring a possible solution in a practical and creative manner.				

Course Code	5121130	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際空間秩序と法				
Faculties	中谷 和弘				
Course Objectives/Overview	<p>演習「国際空間秩序と法」</p> <p>陸・海・空・宇宙を対象とするいわゆる領域論は、国際法の諸分野の中でも非常に重要な分野であり、国際法の解釈・適用の上でもまた外交政策・公共政策上も興味深い様々な素材を提供してきた。</p> <p>この授業では、海洋、国際航空、宇宙、領土をめぐる国際法上の諸課題について、実定国際法の解釈はもとより、明日のあるべき法(国際空間秩序)の提案も射程に入れつつ検討を行う。あわせて、第5の空間といわれるサイバー空間に関する国際法問題（特にサイバー攻撃の問題）についても検討してみたい。</p>				

Course Code	5121150	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ法				
Faculties	伊藤 洋一				
Course Objectives/Overview	<p>東西冷戦の終結とともに、ヨーロッパ連合(EU)は、安全保障をも視野にいれた広い権限を持つ地域的国際組織として、今や国際経済のみならず国際政治においても大きな意義を持つ存在となった。</p> <p>また、ヨーロッパ統合の進展とともに、EU法の重要性は増加の一途をたどっており、特に、EU法の基礎的知識は、EU加盟国の国内法理解に際しても今や不可欠となっている。ヨーロッパ法が、いかにして国内法においても重要性を獲得するようになってきたのかは、国際レベルにおける法の支配の確立事例としても極めて興味深い問題である。</p> <p>近年のユーロ危機、移民危機、ポーランド・ハンガリーの権威主義体制化問題、更にイギリスのEU脱退(Brexit)移行期間の2020年末満了とその後の通商関係等、岐路に立つ欧州統合に関する話題には事欠かない。これらの「複合危機」を背景として、EUに関する報道は</p>				

	<p>少なくないが、残念ながら、日本のマスコミ関係者でも、現実の EU における制度設計、法形成がどのようになされ、またどのように運用されているかにつき、正確な理解を持つ者は多くない。一方で、Brexit キャンペーンの際に、「ブリュッセル」が諸悪の根源であって、EU から脱退しさえすれば、全ての問題が解決するという、単純明快なポピュリストの主張が、しばしば報道されたことは記憶に新しい。ところが、Brexit を巡るその後のイギリス国内政治の混迷により、「行き過ぎた欧州統合」を非難するだけで、「グローバル化」による相互依存関係が進んだ現在の世界における全ての問題が解消するわけでもないことが、明らかとなった。EU が常に「非民主的」だと非難され、「ブリュッセル」だけが諸悪の根源だとする非難は本当に正しいのか、正しいとした場合、誰もが「民主的」だと認めるような制度は、どのようにすれば形成できるのか。それほどまでに「非民主的」な組織であるにも拘らず、なぜ加盟国は、イギリスの後を追って次々に脱退し、あるいは EU を直ちに廃止しようとならないのか、といった疑問が次々に浮ぶであろう。</p> <p>一言で言えば、グローバル化の進展過程において、古典的な主権国家の枠を超える「民主的」な国際組織をどのように設計すべきかという大きな問題としても、EU の制度・運用の研究は重要な意義を持つのである。</p> <p>以上のように、EC/EU 法は、従来の古典的国际法とどのように異なるのか、加盟国の国内法との間にどのような影響関係があるのか、「民主的」な国際組織の設計はどのようなものであるべきかといった問題は、学問的にも重要な理論的問題を提起している。</p> <p>本講では、上述のような近時の問題状況をも念頭に置きつつ、現行法たるリスボン条約を中心に講義を行う予定である。EU 法の対象分野は、共同体管轄事項が拡張されてきた結果、今や多岐にわたっているが、EU 組織法の理解は、個別の EU 実体法理解のため不可欠の前提となる。本講では、EU 法の総論部分にあたる組織法、具体的には、EU の機構、法源、争訟制度等について順次講じる予定である。</p>
--	---

Course Code	5121203	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ統合と法 3				
Faculties	伊藤 洋一				
Course Objectives/Overview	<p>ヨーロッパ統合の大きな特色は、「法による統合」であることである。特に、広義のヨーロッパ法(EU 法およびヨーロッパ人権法)の国内法に対する優越の結果、加盟国においては、国内法の「ヨーロッパ法化」が近年顕著な現象となっており、ヨーロッパ法の影響を無視して加盟国の国内法のみを研究することは、もはや困難となってきた。特に、ヨーロッパ諸国の基本権保障については、ヨーロッパ人権条約および EU 基本権憲章の影響を無視することはできなくなっている。</p> <p>本演習では、フランス国務院 (行政裁判所系統の最上級審)のメンバーであり、昨年からヨーロッパ人権裁判所判事となった Mattias</p>				

	Guyomar のフランス語論文を教材として講読する予定である。同論文は、国内裁判所とヨーロッパ人権裁判所の関係を論じるものであり、近年のフランスにおけるヨーロッパ人権法の影響増大と、それに対する対応の実態を垣間見せてくれるであろう。
--	---

Course Code	5121204	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ統合と法 4				
Faculties	伊藤 洋一／網谷 龍介				
Course Objectives/Overview	<p>EU 加盟国における、国内法の「ヨーロッパ法化」が顕著な現象として注目されるようになって既に久しい。このような現象は、EC/EU 法における直接適用性・国内法に対する優越原理の形成と不可分である。</p> <p>しかし、ヨーロッパ法といえども、一日にして形成されたものではない。往々にして見受けられるデマゴグの主張するところとは異なり、ヨーロッパ法は、決して加盟国と全く無関係に「ブリュッセル」が形成してきたものではなく、既に半世紀にわたる、EC 裁判所(リスボン条約発効以後は、EU 裁判所と改称)と国内裁判所との相互影響関係、近年頻繁に使われるようになった言葉を用いれば「裁判官の対話(dialogue des juges, judicial dialogue)」を通じて形成されてきたものである。</p> <p>残念ながら、日本における従来のヨーロッパ法研究は、ともすればヨーロッパレベルの動向のみを対象とし、その動態的な性格を軽視しがちであったが、ヨーロッパ法は、決して EU 裁判所が象牙の塔の中で無から作り上げたものではなく、加盟国の国内裁判所との間の相互的影響のもとに形成されてきたものであることを忘れてはならない。換言すれば、国内法の「ヨーロッパ法化」は、一面では、ほかならぬ加盟国の国内機関の手によるものなのである。</p> <p>このような相互的影響は、実定法解釈学としての EU 法研究のみならず、アメリカを中心とする政治学研究の対象としても注目を集めるようになり、「法と経済学」ならぬ「法と政治学」、具体的には judicial politics 研究として少なからぬ研究業績が蓄積されてきている。ヨーロッパ統合の特色は、「法による統合」である点にあると言われてきたが、これは逆に言えば、EU 法が単なる実定法解釈に止まらない政治的意義を持つということであり、EU 法の形成過程を深く理解するためには、政治学との協働が欠かせない。</p> <p>そこで、今年度は、judicial politics 研究の展開に大きな影響を与えた論文(Stein, Eric, Lawyers, Judges, and the Making of a Transnational Constitution, American Journal of International Law 1981, vol 75, pp. 1-27; Weiler, Joseph H.H., The Transformation of Europe, Yale Law Journal 1991, vol. 100, pp. 2403-2483)を中心に、その後の研究の展開を概観する合計約 10 本程度の論文(英語)(開講時にリスト配布予定)を取り上げる予定である。</p> <p>本授業は、judicial politics に関する総論的論文および各論的論文の均衡、参加者数等をも考慮し、適宜選択した論説を、参加者(参加者の</p>				

	<p>人数によっては、グループ)が毎回分担報告する形式で進める。 指定された文献を手がかりとして、EU 裁判所と国内憲法裁判所との相互影響関係を具体的に検討することにより、ヨーロッパ法に対する理解を深めることが、本講の目的である。</p>				
--	--	--	--	--	--

Course Code	5121227	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国家と法の基本問題				
Faculties	石川 健治				
Course Objectives/Overview	講義では十分に論ずることのできない基礎的ないし原理的な論点を、掘り下げて考察することを目標とする。その際、演習が散漫なものになるのを防ぐための工夫として、参加者には、「書評」という文章ジャンルに挑戦されるよう、強く希望したい。				

Course Code	5121271	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融商品取引法				
Faculties	大崎 貞和				
Course Objectives/Overview	日本における資本市場法制の中核をなす金融商品取引法の概要を解説する。法規制の技術的側面に過度に目を奪われることなく、基本的な構造と制度の背景となっている考え方を把握することを目指す。資本市場をめぐる時事的な話題も取り上げ、現実の市場のダイナミズムを感じ取れるような講義にしたい。				

Course Code	5121272	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	上級金融商品取引法				
Faculties	大崎 貞和				
Course Objectives/Overview	金融商品取引法の基礎を理解していることを前提としながら、近年の法改正や実務上の問題となることの多い論点を取り上げ、問題の背景や争点、その経済的・社会的な影響をも含めた深い理解に努める。狭義の金融商品取引法だけでなく会社法や投資信託法などの関連法令の検討、米国等外国の法制度との比較検討も行う。				

Course Code	5121291	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	医事法発展演習				
Faculties	米村 滋人				
Course Objectives/Overview	医事法は、医療や医学研究に関する法律問題を扱う法分野である。従来から存在した医療過誤・薬害等の類型に加え、近時では特殊医療や医学研究に対しても法規制が強化されており、この分野に関する				

	<p>る法律問題は急速に拡大しつつある。ところが、これらの問題は法学部・法科大学院の講義で扱われないことが多く、また医学や医療政策等の総合的な知識が必要であるため、独学での学習は相当に困難である。本科目は、医療・医学研究の分野で発生している法律問題に関して、医学・法学・公共政策学等の専門家をゲスト講師に招くなどして背景的知識を補いつつ、問題の多角的な検討を行い、当該分野の法制度のあり方などにつき発展的な考察を行うことを通じて、医学・法学の両者にまたがる専門的問題解決の能力を培うことを目的とする。</p>
--	--

Course Code	5121300	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	金融法				
Faculties	加藤 貴仁／松井 智予				
Course Objectives/Overview	この講義では、金融実務に詳しい実務家をゲストとして招いて実務の現状や実際に生起している問題点などを具体的に話してもらい、それに基づいて理論的な分析や展望などを試みる。				

Course Code	5121306	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	財政と金融の法				
Faculties	藤谷 武史				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、現代の財政が直面する諸課題を、法学の観点から検討します。その際、財政と金融（さらには貨幣）の密接な関係性に特に注意が払われます。財政と金融の強い結びつきは古くから認識され、例えば「財政」に対応する西欧語（public finance, finances publiques, Finanzen）にその痕跡をみることができますが、現代の管理通貨制とグローバル経済の下で、両者の関係はさらに複雑な様相を示しています。例えば、金融危機やパンデミックへの対応として、中央銀行が大規模な金融緩和政策を継続し、巨額の国債を保有するに至った状況をわれわれはどう理解すべきでしょうか。あるいは「通貨発行権を有する主権国家は、自らそれを望まない限り自国通貨建ての国債の債務不履行に陥ることはない」という言明は、資本移動がグローバル化したといわれる時代において、何を意味するのでしょうか。こうした財政と金融の複合的な問題については、マクロ経済学・ファイナンス理論・政治学・社会学など様々な学問分野からの考察が試みられていますが、国家と経済社会の基本構造に関わる問題である以上、法学もその一翼を担う必要があります。本講義は、そのような新たな課題に取り組む財政法学の現時点での到達点と課題をわかりやすく示し、受講者が現代財政の諸課題を法学的観点からも論じられる能力を獲得できることを目的とします。</p>				

Course Code	5121380	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	法医学				
Faculties	岩瀬 博太郎				
Course Objectives/Overview	法医学とは法が適正に執行されるべく医学的な助言を行うための学問である。すなわち、国民の安全や権利を守るための医学といえる。法医学は死因究明のほか、虐待を受けた小児等の保護も業務として実施しているが、本講義ではそうした法医学の目的や業務を理解することを目的としている。				

Course Code	5121394	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Perspectives on Law : Japanese Law as Viewed from Abroad				
Faculties	Daniel Foote				
Course Objectives/Overview	For over a century, Western scholars have pursued scholarship on Japanese law. Foreign scholars have produced many excellent works exploring various fields of Japanese law, frequently approaching subjects from perspectives other than those commonly found within Japan. In this course, we will read and discuss leading works on Japanese law written by foreign scholars. The readings will include works from various perspectives, including sociological, historical, economic, and practice-related perspectives. For a few class sessions, depending on availability, foreign scholars will be invited as guest speakers. NOTE: This class will be conducted entirely in English. Heavy emphasis will be placed on class discussion.				

Course Code	5121424	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	アメリカ信託・信託法				
Faculties	溜箭 将之				
Course Objectives/Overview	日本で高齢化が進んでいることは周知のとおりだが、アメリカでは日本に先んじて高齢者法の重要性に注目してきた。本授業では、アメリカにおける高齢者に関わる法を分野横断的に検討する。高齢化社会への日米の取り組みを見てゆく中で、これからの法律家の取り組むべき課題を探るとともに、日本とアメリカの社会のあり方についても考えてゆくことを目標とする。				

Course Code	5121433	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	証券市場法演習				
Faculties	大崎 貞和／朱 大明				
Course Objectives/Overview	金融商品取引法に関する基本的な諸問題について、海外の法制との比較を踏まえつつ、法の考え方を学ぶとともに、実務的な論点について検討する。				

Course Code	5121436	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際商事仲裁				
Faculties	唐津 恵一				
Course Objectives/Overview	<p>企業活動のグローバル化に伴い、国際商取引紛争は増大している。国際商取引に関する紛争解決方法として、国際商事仲裁が定着してきており、日本企業が当事者となる国際商事仲裁事件数も増えてきている。本講義においては、序盤に仲裁制度の基礎知識を習得したうえで、国際商事仲裁に関する理論的な枠組みを理解し、中終盤では国際商事仲裁の各論点につき、実務的な観点から、理解を深める。序盤は日本人教員が中心となり日本語で行うが、中終盤は国際商事仲裁に精通した外国人実務家が英語により行う。</p>				

Course Code	5121452	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	アジア・ビジネス法				
Faculties	平野 温郎				
Course Objectives/Overview	<p>企業がグローバルに事業展開する上で必須の機能である「国際企業法務」を、アジア（中国・香港及びいくつかの ASEAN 主要国を取り上げる予定）をテーマとして概観する。事業の法的イシュー・リスクを発見し、最適解を導き出すことにより、その持続的な成功を法的に担保するという、所謂「リーガルリスク・マネジメント」（これはビジネスパーソンのコアスキルである）の素養を身に着けることが目的である。将来、企業の法務部門や事業部門で、アジア関係業務を中心に専門性を活かして活躍したい参加者を想定しているが、アジアに関心を持つ参加者も可能な限り歓迎する。</p>				

Course Code	5121454	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際ビジネス法				
Faculties	平野 温郎				
Course Objectives/Overview	<p>企業がグローバルにビジネス展開を行うにあたっては、様々な法分野にまたがる国際的な法知識を有するとともに、これを駆使していかに企業価値を最大化するかというビジネスセンスを有し、かつ言語を含めた国際的素養を有する法務人材が求められる。本授業はこのような人材育成を念頭に、外国人ゲストスピーカーも含めた複数の実務経験者が教員となり、実例を中心に、ビジネスのさまざまな局面における法的問題を概観する。</p> <p>Nowadays, companies developing their businesses globally need legal experts, who have knowledge of various areas of international law, good business sense for utilizing such knowledge to maximize corporate value and broad exposure to international matters including knowledge of foreign languages. This course will</p>				

	seek to develop student awareness and knowledge of the foregoing human resource imperatives by examining legal issues that arise in various business situations by introducing cases. Lectures will be conducted by instructors, including foreign guest lecturers, who have experience in this field.
--	--

Course Code	5121455	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	グレーターチャイナ・ビジネス法				
Faculties	平野 温郎				
Course Objectives/Overview	<p>>日本企業が有望な事業展開先国として位置付けるアジア、就中世界第二位の経済大国である中国を中心としたグレーターチャイナの法制度、ビジネス法の概要および主要な課題に対する理解を深める。</p> <p>>グレーターチャイナにおいては、華人が様々なネットワークを構築しダイナミックにビジネスを展開しており、日本企業としてもいかに華人ネットワークとの取り組みを強化していくかは、今後とも重要な経営課題であるが、本講義では、そのような経営課題を認識した上で、ビジネスを持続的、安定的に推進するための法務の知見や思考力、問題解決センスを身につけさせることを目標とする。これは、将来企業法務に携わる者だけでなく、政策立案や事業そのものを担当することとなる者にとっても、十分に意義がある学びとなる。</p> <p>>具体的には、最近の民法典や外国投資法の制定など、これまで以上に法環境の変化が著しい中国のビジネス法を中心に据え、香港・台湾のビジネス法も（中国との相関関係も視野に）取り上げる。ビジネス法そのものを総花的に講義するのではなく、M&A、Joint Ventureやサプライチェーンなど、国際取引・ビジネスにおける重要なテーマに関連する法的課題を抽出し、理論と実務の両面から考察する。</p>				

Course Code	5121458	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Law and the Formation of Transnational East Asia				
Faculties	MATSUBARA Kentaro／Bryan Tiojanco				
Course Objectives/Overview	<p>This course explores the visions and historical processes that shaped the political, economic, and legal principles, policies, and practices of a transnational order in East Asia from the mid-nineteenth century to the mid-twentieth. Its focus will be on the trans-Pacific interactions between the United States, Japan, the Philippines, and China, but always with the rest of East Asia in mind. The discussions will delve into the interplay of law, politics, and economics during the period covered. Through these discussions, this class will explore new ways of understanding the historical developments whereby a coherent transnational order was formed in East Asia. The aim will be to overcome the limitations of the two prevalent narratives regarding East Asian history. The first, known as the "Western Impact" model, looks at modern East Asian history in the context of how each society reacted to Western powers attempting to dominate the area through trade and colonization. The second</p>				

	approach has traditionally been presented as an antithesis to the first, focusing on the internal logic of East Asian societies, and modernization in these societies is explained by referring primarily to domestic political dynamics, avoiding overemphasis on influence from the West. By grounding our analyses on the development of a transnational order among East Asian societies on one hand, but focusing on trans-Pacific interactions on the other, our objective will be to re-assess not just the history of East Asian societies, but the history of the US, and its role in the shaping of a global order that remains crucially important to this day.
--	--

Course Code	5121461	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Law and Society in East Asia				
Faculties	MATSUBARA Kentaro				
Course Objectives/Overview	<p>This seminar aims to discuss the social / historical bases on which a modern legal system might operate in various East Asian societies, and to provide an introduction to some of those problems involving the integration of different legal traditions into a pluralistic yet coherent legal regime. We will focus on the tensions experienced by these societies, involving the importation of what were presented as "universal" values and norms, and the near-universal resistance to these values and norms, such resistance being based on the notions of custom and tradition. While the initial focus will be mainly on the experiences concerning the formation of legal institutions in China and Japan, students will be encouraged to bring in perspectives from other societies as well. The problems discussed will include: the difficulties regarding what exactly can be identified as East Asian legal traditions; how legal regimes were structured through the actions of actors exploiting the plurality of legal traditions; and how the relationship between legal arrangements and the political power-structure played out. Particular attention will also be paid to the issues of colonialism, and the uneasy relationship between Modernisation, Westernisation and Colonisation in these societies. The ability to read source materials written in Chinese and/or Japanese would be of much help, but will not be essential.</p>				

Course Code	5121470	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際法の基本問題				
Faculties	寺谷 広司				
Course Objectives/Overview	<p>どのような法分野でもそうだが、理論教育の重要性は論をまたない。本ゼミでは、国際法の諸問題について、より理論的な文献を中心に選択し、全員で討議する。</p>				

Course Code	5121481	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	行政法各論（個人情報保護法制）				
Faculties	巽 智彦				
Course	一般的な行政法の講義では深入りすることが難しい、個別の行政分				

Objectives/Overview	<p>野に関する法（行政法各論）を取り扱う。今回は、近年の発展が目覚ましい、個人情報の保護および利活用に関する法制（個人情報保護法制）をテーマとする。具体的には、下記のような論題を予定している。志望理由書には、自身の関心を下記の論題との関係で具体的に記載すること。</p> <p>なお、教員の主たる関心は行政法にあるが、それ以外の法分野（憲法、国際法、消費者法、経済法など）ないし学問分野（政治学など）に関心のある学生の参加も歓迎する。ただし、あくまで法学のゼミとして、現状の法規制およびその沿革、ならびにその法的な課題を正確に理解することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の個人情報保護法制の沿革 <ul style="list-style-type: none"> 1988 行政電算機個人情報保護法 2003 個人情報保護関連 5 法（個人情報保護法、行政機関等個人情報保護法等） 2015 個人情報保護法改正 2016 行政機関等個人情報保護法改正 2020 個人情報保護法改正 2021 個人情報保護法一元化改正（予定） ・日本の個人情報保護法制の内容 <ul style="list-style-type: none"> 民間事業者／国の行政機関／（地方）独立行政法人／地方公共団体等の機関に対する規律 個人情報の定義 個人情報の取扱いに係る義務／本人の権利 個人情報の保護に係る行政手法／行政組織 ・世界の個人情報保護法制 <ul style="list-style-type: none"> OECD プライバシーガイドライン EU データ保護基本規則（GDPR） 欧州評議会 108 号条約 カリフォルニア州消費者プライバシー法（CCPA） APEC プライバシーフレームワーク ・関連する法的仕組み <ul style="list-style-type: none"> 個人番号（マイナンバー） 公証（住民基本台帳、戸籍等）、統計、オープンデータ等
---------------------	--

Course Code	5121490	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際法実務演習				
Faculties	岡野 正敬／錦織 有史				
Course Objectives/Overview	外交における国際法の役割につき、具体的な事例・問題に則し、実務家の視点を踏まえて理解を深める。各回毎に講師が具体的な事例・問題を設定して関連する国際法上の論点を提起するので、参加者は				

	提起された国際法上の論点について各自の考えを整理し積極的に議論に参加する。
--	---------------------------------------

Course Code	5121501	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	沿岸域管理法制度論				
Faculties	三浦 大介				
Course Objectives/Overview	<p>まず、実務上の重要性にもかかわらず行政法学の教育では片隅に追いやられている公物法について、その基礎理論をひと渡り学習する。その後、わが国に存在する沿岸域に関する諸法律を外観し、沿岸域の「総合的管理法」の必要性を認識する。</p> <p>法制度の基礎知識が身についた段階で、海岸法や採石法の許認可をめぐる訴訟や、海砂利採取に関する各種の訴訟の事例を取り上げ、単なる法解釈論的な理解に留まらず、事件の背景にある利害衝突の実相を探究し、問題の解決方法を考究する。1つの問題を多角的に理解する能力の涵養に努めたい。</p>				

Course Code	5121510	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	コーポレートガバナンス				
Faculties	林 良造／中原 裕彦／萬澤 陽子				
Course Objectives/Overview	<p>現在進みつつあるコーポレートガバナンスの改革の波は世界の企業経営を大きく変えつつある。わが国では、90年代後半のバブル崩壊・不良債権処理の遅れの顕在化以降、会社法・金融商品取引法・会計規則・税法などの諸制度の改正が進み、株式所有形態の変化などと相まって企業経営の監視は格段に充実された。また、近年では成長戦略の一環としてコーポレートガバナンス改革が進みつつある。具体的には「機関投資家が対話を通じて企業の中長期的な成長を促すなど、受託者責任を果たすため」「『責任ある機関投資家』の諸原則(日本版スチュワードシップ・コード)」、「会社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため」として「コーポレートガバナンス・コード」が実施に移された。</p> <p>この分野は学際的な理論と実務が交錯する分野であり、授業では全体像を鳥瞰し我が国のコーポレートガバナンス制度が直面している課題及び適切な制度構築に向けた論点を検討するとともに、実際のコーポレートガバナンスの現場や各国のガバナンス制度の違いを把握することから、さらなる制度設計に向けた視座を得る。</p>				

Course Code	5122011	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	市民社会組織・政策論				
Faculties	田中 弥生				

Course Objectives/Overview	<p>市民社会は万能ではないが、すべてのものの前提であると述べたのは経営学の父と呼ばれた P.F.ドラッカーである。そう述べた背景には深遠な理由がある。NPO や NGO は、貧困、環境、教育格差などの社会課題に挑み、公のために貢献するという市民社会の象徴的な役割を果たす。だが、他方で、世界大戦時、ドイツ市民がナチスの積極的支持者になり、短期間のうちに民主主義から全体主義に転じることを後押ししたという史実がある。つまり、市民社会はユートピアではなく正負両側面があり両極端にぶれる可能性がある。本講義にのぞむにあたり常にこの問題意識を念頭に置きたい。</p> <p>本講義がゴールとするのは、受講者が NPO やボランティアなどの市民社会にかかる政策を社会科学の観点から、論理的に分析、評価するための知識とスキルを身に着けることである。</p> <p>そのために、まず市民社会組織について理解する。代表的な非営利組織論をレビューした上で、非営利組織が目指す社会変革と提言機能、非営利マネジメント、資金や人材確保の解決策としての仲介機能について理論と実践例を交えて論ずる。</p> <p>次に、市民社会関連政策を分析するためのツールとして評価論の基礎を学ぶ。まず、ベースとなる思考方法を学んだ上で、代表的な評価技術や用語について学ぶ。その上で、政策評価の基本要素、事例を学び、我が国の市民社会関連政策を分析的、批判的に捉えることを試みる。</p> <p>【内容】以下のような内容を網羅する予定である。詳細は授業計画を参照のこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イントロダクション：日本社会の持続性と非営利組織 ・社会統治と市民社会 ～ドラッカーとナチスとボランティア～ ・市民社会組織論：社会変革と提言機能、非営利経営論 ・市民社会と社会装置：資源提供者と非営利組織の仲介機能の設計 ・評価論「変化とは何か 進捗と効果を科学する～ アウトカムとロジックモデル」 ・政策評価論「社会課題と政策の関係、政策体系と構造の論理性、評価事例」 ・高齢化社会における市民社会政策：パラレルキャリアと大企業
----------------------------	--

Course Code	5122020	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	比較政策過程論				
Faculties	中山 洋平／若松 邦弘／岡山 裕				
Course Objectives/Overview	<p>先進民主主義諸国のうち、影響力のある主要な国の事例を取り上げ、その政策過程を比較検討する。今年の講義では、アメリカ合衆国とイギリス、フランスをなるべく体系的に比較することを目指す。予算・年金・福祉、移民、気候変動など、様々な政策領域から適宜、具体例を紹介する。</p> <p>重要な論点としては、政策形成の背景となる各国の公式の制度、官僚制の特質、政治文化、政党や利益団体の役割、シンクタンクなどの政策立案能力などが挙げられる。国ごとの、そして政策領域ごと</p>				

	の歴史的背景と同時に、比較政策分析のために有効な理論や概念も紹介される。
--	--------------------------------------

Course Code	5122035	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政府間関係論				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本授業は、自治体行政学を受けて、現代日本の自治体行政を、複数の政府間の関係からなるシステムである点に着目して、実際の制度と運用に即して概観することを目的とする。しかし、行政学の一分野としての側面を重視する観点から、現代日本の行政全般に関しても注意を払う。</p> <p>進め方は、日本及び他の先進諸国の政府間関係・地方自治・都市行政および行政一般に関する基礎的文献を素材として、指定された文献を事前に読んでくることを前提に、担当学生による報告と、解説の講義と、参加者間の討論を進めることとする。</p> <p>その意味で、実質的には演習形式を想定している。</p>				

Course Code	5122061	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Governance and Policies of EU				
Faculties	SUZUKI Kazuto				
Course Objectives/Overview	<p>European Union has a unique system of governance. On the one hand, it has a feature of international organization as a collection of sovereign state, but on the other, it has autonomous authority and competence to govern. This course will provide how EU came to this form of governance and what are the policies that has been conducted within EU. It will discuss the issues in recent years such as Brexit, emergence of populist movements, and migration issues.</p>				

Course Code	5122070	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 A（現代中国の政治）				
Faculties	高原 明生				
Course Objectives/Overview	<p>この講義は、建国以来、今日にいたるまでの中華人民共和国の政治と外交を主な対象とする。実質的な一党独裁を続ける中国共産党の思想、組織、政策、行動様式などが、如何に変化してきたか、あるいは変化しないままできたか、ということが中心問題である。当然ながら、その変化は国際環境の影響を受けている。</p> <p>日本やアジアのみならず、世界にとって、中国の重要性がさまざまな意味でますます大きくなることは間違いない。中国に関して、しっかりとした根拠に基づき、理性的に議論することが肝要であるが、中国政治は複雑かつはなはだ不透明である。それについて学び、理解することは難しいが、面白い。</p>				

Course Code	5122080	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域政治 B（現代東南アジアの政治）				
Faculties	藤原 帰一				
Course Objectives/Overview	東南アジア諸国の政治を概説する。植民地時代から現在に至るこの地域の歴史について、最近の研究成果を交えて紹介すること、さらに東南アジアを通して、民族意識はどのように生まれるのか、独裁は経済開発のためには必要なのか、軍事政権はいつできてどう壊れるのかなど、基本的な問題を考えることが目的である。				

Course Code	5122081	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域政治 B（現代南アジアの政治）				
Faculties	竹中 千春				
Course Objectives/Overview	現代南アジアの政治を比較政治・国際政治の視角から考える。地域大国インドを講義の中心に置き、授業の前半では 19-20 世紀の植民地時代から国民国家時代の変遷を踏まえ、独立後の国家形成と民主主義の展開、危機の到来と体制変動、1990 年代代初めのポスト社会主義国家への転換を分析する。授業の後半では、最近 30 年間に焦点を置き、グローバリゼーションと経済成長、ポストコロニアル・ナショナリズムの危機、核実験と核保有、宗教暴動と対テロ戦争、ジェンダーやマイノリティの人権 이슈、ヒンドゥー至上主義勢力の台頭と民主主義の変容、南アジアとそれを取り巻く国際政治の変化などを分析する。内戦・対テロ戦争・平和構築および民主化を経験したネパール・スリランカ・パキスタンの歩みについても考察し、南アジアの国際政治と各国政治を結びつけて論じたい。結びとして、以下の新しいトピックを取り上げる。「インド太平洋」地域における日米豪印の 4 か国の安全保障協力や、中国の大国化を背景とした中印国境の緊張激化などを考察し、広域アジアの国際関係として、インド太平洋の「海の国際政治」と、ユーラシア大陸の「陸の国際政治」の双方向から見た、南アジアとインドの立ち位置を検討する。また、2020-21 年の新型コロナ・ウィルスの感染拡大により、インドはアメリカに次ぐ世界第 2 位の感染者数を記録したが、社会経済に深い爪痕を残すパンデミックの影響も含め、2020 年代に向けてのインドの動きを考察する。				

Course Code	5122096	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域政治 C（現代ドイツの政治）				
Faculties	平島 健司				
Course Objectives/Overview	現代のドイツにおける政治の展開を、主体、制度、アイディアの観				

	<p>点から分析する。かつて「ドイツ連邦共和国」では、二大政党が中心となってさまざまな政策課題の解決が試みられてきた。個々の政策対応を越え、共和国の根幹をなす制度の変革にまで及ぶこともまれではなかった。しかし、冷戦が終焉する中で達成された国家統一が残した重い課題の解決が遅れる一方、二大政党は勢力を後退させポピュリストの政党さえ登場するに至った。ドイツが主軸の一つとなって支えてきた EU も近年は相次ぐ危機に直面し、ドイツはそこでも新たな役割を求められている。多重化する内外の課題に対するドイツの対応と、それらの積み重ねの中から生じたドイツ政治の変化について考察する。</p>
--	---

Course Code	5122097	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 C（現代アメリカ政治特殊研究）				
Faculties	久保 文明				
Course Objectives/Overview	<p>アメリカにおけるいわゆるイデオロギー的分極化の問題について、以下の諸点について考察する。</p> <p>イデオロギー的分極化の意味</p> <p>イデオロギー的分極化の起源と展開</p> <p>イデオロギー的分極化の近年の急展開およびトランプ・トランプイズム</p> <p>イデオロギー的分極化と政策的収斂</p>				

Course Code	5122110	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	自治体行政調査				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>自治体にとって予算過程は極めて重要なものである。それは、国による地方財政制度および地方財政措置の枠組のなかで、財政当局と所管課・現場の職員による実務運用の蓄積のなかで、生成発展するものである。予算過程は、具体的な事業の採択および財源充当の多寡によって、地域住民の生活にも直結するが、同時に、後年度の住民にもインフラ整備や債務残高などによって大きな影響を与える。このように重要な予算制度・予算過程について、制度面・実務面の双方から、検討を深めていきたい。</p>				

Course Code	5122114	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Local Governments and Internal Affairs in Japan				
Faculties	MASAKI Yusuke				
Course Objectives/Overview	<p>In Japan, local government expenditure accounts for approximately 60 percent (100 trillion yen per year) of national and local governments' expenditures. This course addresses the local government system and public finance in general as well</p>				

	as a wide array of policy areas handled by local governments, including welfare, education, agriculture, urban planning, and emergency management.
--	--

Course Code	5122135	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	New Dimensions of Security in the Risk Age				
Faculties	HENG Yee Kuang				
Course Objectives/Overview	<p>The following outcomes are emphasized:</p> <p>1.An ability to understand and evaluate a range of new security challenges and policy responses in a World Risk Society interconnected through globalization and technology</p> <p>2.The linkage between industry, media, politics, and science and its relevance to global security affairs</p> <p>3.The ability to collate and evaluate arguments from different sources and theoretical perspectives</p> <p>4.The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms</p> <p>5.Critical thinking, analytical and reading skills</p>				

Course Code	5122137	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Ethics and International Relations				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>By the end of this course the student should have acquainted himself or herself with the main questions of ethics in International Relations, becoming familiar with the concepts and jargons of ethical theory, just war, ethics of war and warfare, responsibility to protect, human rights and global justice, as well as political theology.</p>				

Course Code	5122140	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際政治経済の諸問題				
Faculties	飯田 敬輔				
Course Objectives/Overview	<p>本演習は国際政治と国際経済の接点にある各種の問題について実証的に研究することを目的とする。輪読のテーマは、主要国の貿易政策の比較である。米国、日本のみならず、その他の主要国の貿易をめぐる政策決定過程を幅広く取り扱いたい。文献については開講後指示する。</p>				

Course Code	5122156	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際政治特殊研究				
Faculties	藤原 帰一				

Course Objectives/Overview	TBD
----------------------------	-----

Course Code	5122158	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Insurgency and Counterinsurgency				
Faculties	AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	<p>This seminar provides students with a basic understanding of a range of academic and policy issues related to what are frequently called “small wars”, or insurgency and counter-insurgency. The seminar introduces theoretical and empirical approaches to the study of insurgency and counterinsurgency, with a particular focus on historical changes in conceptual frameworks for understanding the phenomena of insurgency, and on how policy and strategic responses have been shaped by such conceptualization. The concept of warfare itself is examined.</p> <p>Seminar Objective: On completion of the seminar, students are expected to demonstrate:</p> <ul style="list-style-type: none"> a) In-depth understanding of the concepts of insurgency and counterinsurgency. b) In-depth knowledge of history of insurgency and counterinsurgency in the 20th and 21st centuries. c) Ability to appraise competing theories and interpretations of the origin, concept and dynamics of insurgency, and effectiveness of counterinsurgency. d) Ability to engage in policy debates concerning contemporary operations such as Iraq and Afghanistan. e) Ability to use analytical skills and present independent research on topics in this area. 				

Course Code	5122159	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Transformation of Warfare and Technology				
Faculties	AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	<p>There have developed quite separate debates concerning, on the one hand, the Transformation of Warfare, and Revolution in Military Affairs on the other. Conventional knowledge is that while the former approach encompasses a vast range of scholarly analysis on how war in the contemporary era might have transformed in all spheres of economy, politics and society, the latter has focused on the impact of technological advancement in a narrower sense on warfare, especially the way in which warfare has been conducted or ought to be conducted. However, to discuss changes in the character of war in these quite distinct spheres, each with specific preoccupations with no interactions, is not very conducive to a meaningful generalization about the transformation of warfare itself.</p> <p>The purpose of this seminar is to consider the impact of modern and contemporary technological changes, especially focusing on communication and media spheres, on the character and conduct of warfare today, hence bridging the two distinct spheres of interests.</p>				

Course Code	5122170	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	西欧比較政治論				
Faculties	中山 洋平				
Course Objectives/Overview	<p>2020 年のアメリカ大統領選挙は、「民主制の崩壊」というヨーロッパ政治史の古典的なテーマが、半世紀ぶりに先進国比較政治の表舞台に戻ってきたことを改めて印象付けた。</p> <p>しかしそこには錯覚がないだろうか。西ヨーロッパの反移民急進右翼政党も、トランプ派などと同じ「ポピュリズム」という言葉で語られている。しかし、トルコやハンガリーで深刻化し、アメリカ合衆国でも始まったかに見える民主制の侵食は、西ヨーロッパ諸国でも進行しているのだろうか。</p> <p>このような問題意識を持ちつつ、この演習では、戦間期西ヨーロッパ諸国における大衆民主制の危機と崩壊の過程を、古典と最新の研究を突き合わせつつ、改めて辿り直す。その上で、今日の先進国民主制の「危機」をいかなる様相の下に捉えるべきかを検討する。</p>				

Course Code	5122182	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy				
Faculties	TAKAHARA／IOKIBE／KATO／KAYASHIMA／KITAOKA／KITANO／SAWADA／NISHIZAWA／MATSUBARA／HAYASHI／MAKIHARA／YAMADA				
Course Objectives/Overview	<p>This course is designed to offer an overview of Japan's experience in modernization and how it has extended its assistance to other countries' modernizing efforts. As the first non-western country to modernize, Japan's experience, both positive and negative, presents an important reference point for other countries to investigate. This course is conducted in cooperation with JICA, the Japan International Cooperation Agency. Those taking part in the JICA Development Studies Program are required to take this course, while other students are most welcome to take part.</p>				

Course Code	5122201-1	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Chinese Politics				
Faculties	LIM Jaehwan				
Course Objectives/Overview	<p>This course has three objectives. First, students will build greater confidence and competence in interpreting domestic and international affairs pertaining to China. Second, students will gain a deeper understanding of China's contemporary rise to a global power and its future trajectory by identifying and exploring domestic contexts in which it has transpired. Third, students will be expected to sharpen the skills of critical reading and discussion, preparing for conducting an original research project.</p>				

Course Code	5122201-2	Term	A1A2	Credits	2
-------------	-----------	------	------	---------	---

Course Title	Contemporary Chinese Diplomacy				
Faculties	TAKAHARA Akio				
Course Objectives/Overview	This course looks into the diplomacy of the People's Republic of China. It discusses the development of Chinese diplomacy from the days of Mao Zedong and Zhou Enlai to the current period. Important questions to be tackled include the policy process, especially the linkage between internal politics and external policy.				

Course Code	5122202	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	比較政治学・概論				
Faculties	Kenneth Mori McElwain				
Course Objectives/Overview	研究者を目指す大学院生に向け、比較政治学における主要なトピックを紹介する。世界の研究者はどのようなテーマに関心を持ち、理論や方法論はどう発展してきたのか。先行研究の問題点は何であり、どう解決するべきなのか。受講生は議論を通して、政治学における様々な概念についての理解を深めることができるだろう。				

Course Code	5122207	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Policy and Governance in Contemporary China				
Faculties	JIN Bei				
Course Objectives/Overview	This course would introduce the key political, economic and social issues in contemporary China, and the policy measures taken by the Chinese government. Regarded as the “most serious competitor” to the United States, China's development direction and challenges would also be discussed. By the end of this course, students would be expected to be able to understand how China has achieved rapid economic growth and social transformation, the fundamental characteristics of policy and governance in China, and their impact on the current issues and future challenges.				

Course Code	5122211	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	発展途上国の政治				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	発展途上国の国内政治に関連する基本的概念と理論を習得し、発展途上国の政治の構造と力学を広い意味で理論的に理解する。また、政治における暴力の問題を分析する。				

Course Code	5122215	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	先進国の比較政治				

Faculties	網谷 龍介
Course Objectives/Overview	<p>この講義は、政党デモクラシーの構造と変容をヨーロッパの事例を中心として検討するものである。具体的には第二次世界大戦後(ca. 1950-80s)の西ヨーロッパにおいて安定をみた、議会を中心とする政党デモクラシーを、「デモクラシーという理念の一つの歴史的実装」と位置づけ、その社会的前提条件、現実の運営、規範的位置を検討する。その上で、その後(ca. 1990s-)の変容を検討しながら、この「歴史的実装」が現在直面している困難を分析する。</p> <p>もちろん戦後ヨーロッパはローカルな特殊事例に過ぎない。大統領制における政党の意義は議会制におけるそれと大きく異なり、社会的諸条件に応じて政党の果たす機能も相違する。しかしこの特殊事例の検討には、理論的・普遍的に説明可能なものと歴史的・社会的条件に依存している部分を腑分けするという、一般的に必要とされる作業が含まれる。また、この特殊ヨーロッパ的な「歴史的実装」はさまざまな分析的・規範的モデルを通じて政治学的な思考に強く影響しており、その帰趨は政党とデモクラシーをめぐる議論全体に影響しうる。これらの点で、他の地域・時期に主たる関心を持つ受講者に対しても一定の有益な知見をもたらすものと期待している。</p> <p>なお、本講義のパースペクティブは歴史的なものである。新たな因果関係の説明を提示するより、事態の理解と概念化に重点はおかれる。しかし講義のなかでは先端的な比較政治研究の成果も随時紹介する。またこれを通じて「比較政治の経験的研究はより広く理論的・規範的な議論にも貢献しうる」ことも示されるであろう。</p>

Course Code	5122236	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	International Politics in East Asia				
Faculties	SAHASHI Ryo				
Course Objectives/Overview	This course does not focus on a particular nation's foreign policy. Rather, we examine the impacts of both the rise of Asia, regionalism and American commitment on the order in East Asia. Behaviors of not only great powers but small and middle powers are to be analyzed.				

Course Code	5122295	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	集団間和解の社会心理学				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	国内武力紛争後の和解における社会心理的側面について、英語テキストの輪読を通じて理解を深める。また、履修者がテキストで学んだことを任意の事例に適用して報告する。				

Course Code	5122296	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	社会的アイデンティティと紛争				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	社会的アイデンティティと武力紛争との関係について、英語のテキストの輪読を通じて理解を深める。				

Course Code	5122370	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	現代日本政治文献講読				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	最近出版された現代日本政治に関する研究書を毎回 1 冊講読し、研究者または関連する専門職（公務員、ジャーナリスト等）として必要なリサーチ能力の修得を目指します。				

Course Code	5122375	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Quantitative Social Science				
Faculties	IMAI Kousuke				
Course Objectives/Overview	Would universal health insurance improve the health of the poor? Do patterns of arrests in US cities show evidence of racial profiling? What accounts for who votes and their choice of candidates? This course will teach students how to address these and other social science questions by analyzing quantitative data. The course introduces basic principles of statistical inference and programming skills for data analysis. The goal is to provide students with the foundation necessary to analyze data in their own research and to become critical consumers of statistical claims made in the news media, in policy reports, and in academic research.				

Course Code	5122384	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Space Development and Public Policy				
Faculties	KIKUCHI／SHIROYAMA／NAKASUKA				
Course Objectives/Overview	Space related treaties which are legal basis of the global space activities are subject to the nations and presume that the nations are the main player of space activities and they should supervise non-governmental entities. Under such structure, conventional space companies have mainly supported governmental space activities which contribute to the national interests. However, New Space companies that emerged in 2000s are conducting space activities with their own visions and business models although they are also under the governmental supervision. In addition, new space faring nations like UAE which is engaged in Mars mission are emerging. These new players are activating global space activities. At the same time, according to the increase of space debris, there are concerns about sustainability of space activities, and the nations and national space agencies are still main players in terms of sustainable space program,				

	<p>development of infrastructures, and maintenance of industrial bases.</p> <p>In Japan, 2008 Space Basic Law enabled space activities for national security, renewed its governance structure by establishing Strategic Headquarters for Space Policy headed by Prime Minister, and shifted its weight to utilization from research and development. 2016 Space Activity Act set out legal basis for space activities including those by private companies. However, there are still various legal and policy challenges including industrial promotion and space debris issue from the viewpoint of sustainable space activities.</p> <p>This course will offer practical lectures by various practitioners and specialists to understand current situation of global space activities. Afterwards, students will develop and discuss policy proposals for specific themes as practices. FY 2021, we will deal with the latest topics including space traffic management, space resources exploration, and roles of national space agency as the issues related to norm building and rule-making for sustainable space activities on the Low Earth Orbit (LEO) and the Beyond Low Earth Orbit (BLEO) under the theme of "Governance of Space Activities".</p>
--	---

Course Code	5122394	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	現代ヨーロッパにおける国家とデモクラシー				
Faculties	平島 健司				
Course Objectives/Overview	<p>今日の EU を構成する主軸国家たるドイツは、ヨーロッパの「覇権国」とさえ呼ばれることもまれではない。しかし、そもそも第 2 次大戦後の欧州統合は、分断国家となった西ドイツを西側社会につなぎとめることを主要な動機として始まった。その後、経済大国となり政治的安定を得た西ドイツが統合を主導したが、冷戦の終焉とともに達成された国家統一は、いかにして今日のドイツを生み出したのか、また、その対 EU 政策はどのようにして形成されるのか。イギリスにおけるドイツ研究の第一人者たちによる近著の購読を通じ、現代のドイツと EU について考察する。</p>				

Course Code	5122402	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Japan in Today's World				
Faculties	FUJIWARA Kiichi				
Course Objectives/Overview	<p>The purpose of this course is to provide a basic overview of Japanese politics and foreign policy in today's world. As a summer program designed for participants from academic institutions in the International Alliance of Research Universities, the composition of students will be multinational, providing an opportunity for Japanese students to observe their surroundings from a new perspective. 日本の政治外交について基本的な見取り図を提供することがこのコースの目的である。研究重点型大学連合(IARU)のサマープログラムの一環として開催される関係から、参加する学生は多国籍であり、そのためにこれまでとは異なった視点から日本政治を考える機会を得ることができるだろう。</p>				

Course Code	5122405	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Gender and Politics				
Faculties	TAKAGI Yuki				
Course Objectives/Overview	TBD				

Course Code	5122451	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Health Policy and Governance				
Faculties	JIN Bei				
Course Objectives/Overview	This course would introduce the fundamental structure of health systems, especially the role of health policy and governance in achieving higher performance. Six most common global health issues are selected, each is followed by the introduction of typical response adopted in various countries or on a global scale. By the end of this course, students would be expected to be familiar with key global health issues and corresponding policy options, as well as to be able to apply the analytic frameworks and practical tools presented in this course to identify and address problems in health systems.				

Course Code	5122501	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	海洋科学技術政策論				
Faculties	山口 健介／城山 英明				
Course Objectives/Overview	科学技術の進歩等により、「海洋の自由」という国際法上の原則では海洋の管理が不十分になりつつあります。すなわち、海洋調査技術、資源開発技術、エネルギー技術等の進歩により、海が資源としての意味を持ち始めた結果、海洋開発をめぐる権利や利益が利害関係者間で争われる対象として立ち現れてきました。海は誰のものか？どのように利害関係を調整するのか？本講義の目的は、科学技術が海洋権益を生み出す過程とそれへの対応過程を理解し、関連する公共政策上の論点を学ぶことです。適宜、実務の方々なども招き、現場の取り組みを通じて理解を深めます。評価は、授業参加(30%)、中間議論(30%)、最終発表(40%)により行います。(また、希望者には関連施設の見学等を検討する予定です。)				

Course Code	5122502	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	海事政策論				
Faculties	長谷 知治				
Course	四面を海に囲まれた我が国の経済・国民生活を支える上で、海事産				

Objectives/Overview	<p>業は非常に重要な役割を担っている。例えば、輸出入貨物の 99.7%は海運により輸送されている。</p> <p>海事関係の主要分野には、国際・国内の海上輸送（貨物、旅客）、造船、船員、港湾、水先、海上保安等が含まれる。それぞれの分野では、安全確保、事業振興、環境対策、セキュリティ、離島振興、観光振興、人材確保・育成等の視点から必要な政策が議論され、立案、遂行されることになる。また、海事政策においては法令・予算・税制といった国内における措置に加え、IMO, OECD, ILO 等国际機関への対応も重要な要素となっている。</p> <p>この授業では、海事関係の様々な分野の事業や業務の構造、歴史、制度、最近の課題や政策、今後の見通し等について、多面的に理解することを目標とする。このため、中央省庁における実務を踏まえた講義を行うとともに、様々な分野の第一線で活躍している実務関係者の話を聞いて対話する機会、施設の見学等を計画する。</p> <p>なお、この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである海洋学際教育プログラムを構成する科目でもあることを踏まえ、法律、行政、海事産業等に関する予備知識があまりない者にも理解しやすいように配慮する。</p>
---------------------	--

Course Code	5122503	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Global Political Economy				
Faculties	SUZUKI Kazuto				
Course Objectives/Overview	<p>This lecture aims to help explaining and understanding the structure of international order and issues in international public sphere. The key concept for this understanding is globalization. Globalization of market, technology and international security closely knitting up states and actors to global arena, while political structure is geographically divided into 200-some sovereign states. Only these states have legitimate foundation of power to exercise its military, economic and legal capacities. The inconsistency between single global arena and locally divided political authorities requires new concepts and methodologies for analyzing international order under globalization.</p>				

Course Code	5122504	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Science and Technology in International Relations				
Faculties	SUZUKI Kazuto				
Course Objectives/Overview	<p>The objectives of this course are threefold. First, it will focus on how science and technology changed international relations. It argues that the development of science and technology in military, health, navigation and other technologies have impacted on the relationship of interstate power relationship and the civilization. Second, it will focus on how international relationship has shaped and directed the course of science and technology development. In this segment, it will take up space and nuclear technologies of which are subject of export control. Third, it will focus on science and technology changed the structure of international trade, finance and intellectual base. It will argue how science and technology has impacted</p>				

	on international governance
--	-----------------------------

Course Code	5123021	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	環境政策				
Faculties	有馬 純				
Course Objectives/Overview	地球環境問題とエネルギー問題の密接不可分な関係、IPCC の科学的知見と不確実性、地球温暖化をめぐる国際ガバナンスの動向、温暖化対策の理論と実際、我が国における温暖化対策、目標の動き等についての理解の増進を目的とする。				

Course Code	5123026	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	再生可能エネルギーと公共政策				
Faculties	有馬 純				
Course Objectives/Overview	エネルギー安全保障、温暖化防止両面から再生可能エネルギー導入拡大に向けた期待が高まっており、コスト低下も急速に進んでいる。同時に間欠性のある再生可能エネルギーの大量導入が系統に与える影響、他電源に及ぼす影響、補助負担の拡大等、様々な課題も顕在化している。本講座では再生可能エネルギー導入拡大のための政策の現状、課題及び主要な再生可能エネルギー源毎の課題、プロジェクトファイナンスのあり方等について講義を行い、再生可能エネルギーについてバランスのとれた視点を提供することを目的とする。				

Course Code	5123028	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	観光政策概論				
Faculties	佐藤 善信／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	近年、「観光立国」が推進され、観光は一大外貨獲得産業に急成長する一方、様々な課題が顕在化してきた。また、新型コロナウイルスが人々の価値観やライフスタイルを変容させ移動行動も変わりつつある中、観光の在り方も変化が求められている。このような中、今後の観光を考えていく上では、現在及び将来を見据えて経済・社会文化・環境への影響を考慮した持続可能な観光の視点の重要性が増している。本講義では、観光が多様な主体の多様な取り組みによって成り立っていることを理解した上で、観光に何が期待され、観光は何をもたらすか、そして他分野の政策との関係性について、持続可能性を主軸に据えて考察する。				

Course Code	5123029	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	観光地域政策				
Faculties	佐藤 善信／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	<p>「観光立国」が推進され、観光は地域が抱える様々な課題を解決し得る手段として期待されている。本講義では、観光が多様な主体の多様な取り組みによって成り立っていることを理解した上で、観光が地域の課題解決に果たし得る役割及びそのために必要な取り組みのあり方について具体的に考察する。</p>				

Course Code	5123030	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	都市地域政策				
Faculties	長谷 知治／高橋 孝明／河端 瑞貴				
Course Objectives/Overview	<p>現実の都市地域政策を経済学のツール等を用いて分析・評価する能力を養うことを目的とする。講義において実際に取り扱うテーマは、交通政策、土地利用政策、都市環境政策、住宅政策等の中から、適宜選択する。政策分析における GIS（地理情報システム）の活用法についても教示する。</p>				

Course Code	5123031	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域交通政策研究				
Faculties	宿利 正史／長谷 知治				
Course Objectives/Overview	<p>人口減少と超高齢化が同時進行する我が国において、地域のエッセンシャルサービスである公共交通は厳しい状況にある。さらに昨年初来の新型コロナウイルスの感染拡大により、我が国の交通・観光産業はかつて無い大幅な需要減に直面し、甚大な影響を受けている。地域公共交通も例外ではなく、経営やサービスの維持に困難をきたすなど従前にも増して深刻な事態に陥っている。</p> <p>一方、この感染拡大を契機として、働き方や生活のスタイル、移動の形態等社会の様々な場面で価値観の転換や行動変容が進みつつある。また、デジタル技術等の革新を背景に、交通事業者をはじめ幅広い民間企業において、MaaS（Mobility as a Service）の導入やビッグデータ・AI・自動運転技術などの活用の取組みが進みつつあり、「モビリティ」自体が大きな変革の最中にある。</p> <p>本授業では、こうした状況の下、地域住民の足であり、かつ、地域間交流の基盤であるとともに、観光振興にも不可欠な地域公共交通を持続的に確保・維持し、改善していくための政策の在り方について、各授業毎に具体の事例を採り上げて、当該事例の解説及びディスカッション並びに現地視察（3回）を通じて考察を深める。</p> <p>○ 本科目については、大学院横断型教育プログラム「科学技術イノ</p>				

	<p>バージョン政策の科学教育プログラム」の選択科目として位置づけられている。</p> <p>○ 本授業（現地視察を伴う授業を除く。）については、履修登録者以外の東京大学の学生に公開する。</p>				
--	--	--	--	--	--

Course Code	5123032-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Energy Security				
Faculties	ARIMA Jun／TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	Learn about individual energy sectors from global energy security perspective. Find out public policy issues for each sector and develop policy responses to enhance secure, affordable and sustainable energy supply.				

Course Code	5123032-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Energy Security				
Faculties	ARIMA Jun／TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	Learn about individual energy sectors from global energy security perspective. Find out public policy issues for each sector and develop policy responses to enhance secure, affordable and sustainable energy supply.				

Course Code	5123033	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Energy Systems				
Faculties	KOMIYAMA Ryouichi／FUJII Yasumasa				
Course Objectives/Overview	In this course, basics of energy systems on and around nuclear energy are explained comprehensively. Environmental and economic evaluation methods associated with energy use and development are also mentioned so that the students can obtain balanced knowledge and ways of thinking of energy systems.				

Course Code	5123034	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Resilience Engineering				
Faculties	KOMIYAMA Ryouichi／FURUTA Kazuo				
Course Objectives/Overview	<p>Resilience is the intrinsic ability of a system to adjust its functioning prior to, during, or following changes and disturbances, so that it can sustain required operations under both expected and unexpected conditions. Resilience can be an advanced concept of safety based on probabilistic concept of risk and now drawing attention of researchers and practitioners.</p> <p>Resilience engineering is an academic area of study to pursue methodologies how to implement resilience to complex socio-technological systems. This lecture provides fundamental concepts, frameworks of resilience engineering as well as an up-to-date overview of specific applications.</p>				

Course Code	5123036	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Advanced Topics in International Trade				
Faculties	FUJII Daisuke				
Course Objectives/Overview	<p>This is a graduate-level class of international trade, which is a natural sequence of the trade class taught in the spring semester. We will mainly study academic papers together to grasp the recent advancement of international trade theories. We will learn how the Eaton-Kortum (EK) framework of the Ricardian trade model is extended to explain recent trade issues, applications of trade models with heterogeneous firms, and many other topics.</p> <p>Students should have good understanding of the fundamental models of international trade: Heckscher-Ohlin model; Armington model; basic Ricardian model and Eaton-Kortum model; Krugman and Meltz models. Some of the basic models will be covered in the lectures if needed.</p>				

Course Code	5123038	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Data Science for Practical Economic Research				
Faculties	KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	<p>This is an advanced (close to PhD level) class on fundamentals of Machine Learning. We will closely follow two textbooks:</p> <ul style="list-style-type: none"> - T. Hastie, R. Tibshirani and J. Friedman, "The Elements of Statistical Learning: Data Mining, Inference, and Prediction" (Springer, 2009) - G. James, D. Witten, T. Hastie and R. Tibshirani, "An Introduction to Statistical Learning, with applications in R" (Springer, 2013) <p>During the lectures, we will cover chapters from these books and perform hands-on sessions. Also, we will cover some of the most recent academic papers on Machine Learning.</p> <p>All homework assignments for this class will be practical: students will be asked to apply methods covered in the class to real datasets. The required programming language is Python.</p> <p>Students taking this class will be assumed to be familiar with basics of Machine Learning as well as programming in Python.</p>				

Course Code	5123042	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	International Trade				
Faculties	FURUSAWA Taiji				
Course Objectives/Overview	<p>We will learn the core theories of international trade at an advanced level. We will cover the theories that have been used extensively in the research frontier of international trade. The aim for this course is to give enough knowledge and understanding to read papers in this field and to construct one's own model for analyzing various issues in international trade.</p>				

Course Code	5123045	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Data Science and Machine Learning				
Faculties	FABINGER Michal				
Course Objectives/Overview	<p>This course covers a range of methods in Data Science and Machine Learning, including Deep Learning in Artificial Neural Networks.</p> <p>The topics will include: Data manipulation: dataset transformation, visualization, data cleaning, web data scraping. Supervised machine learning: under-fitting and over-fitting, regularization, cross-validation, data augmentation. Unsupervised machine learning: clustering, principal component analysis. Semi-supervised learning. Distributed data representation: entity embedding. Nonlinear dimensionality reduction. Computational graphs and functional programming. Practical aspects of high-performance computing: GPU computing, cloud computing.</p> <p>The topics will also include some of following areas. The choice will be made based on the students' interests. Optimization: backpropagation, stochastic gradient descent and its accelerated versions. Supervised and semi-supervised machine learning: details of regularization and data augmentation methods. Neural network architecture: activation functions and their properties, layer patterns. Training neural networks: data preprocessing, weight initialization, gradient flow, batch normalization, regularization, practical aspects of GPU computing and distributed training. Hyper-parameter optimization, model ensembles, model compression. Transfer learning and fine-tuning. Spatial data modeling: convolutional networks, visualizing their internal data representations, susceptibility to adversarial examples. Sequence data modeling: recurrent networks, LSTMs GRUs, and their convolutional alternatives, attention. Natural language processing: word embeddings, neural machine translation, transformer networks. Unsupervised machine learning: variational autoencoders, generative adversarial networks. Reinforcement learning: Q-learning, policy gradient methods.</p> <p>The course will include a first introduction to Python and R, as well as PyTorch/FastAI and TensorFlow/Keras. For specialized tasks other software will be introduced. Students are encouraged to bring to the class their own datasets, which could then be used for the purposes of instruction and practical demonstration.</p>				

Course Code	5123046	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	食糧安全保障と農業政策				
Faculties	山下 一仁				
Course Objectives/Overview	<p>どのような分野の政策でも、ファクツやエヴィデンスを踏まえて、これをロジック・セオリーで構築することによって、企画・立案する（考える）ことが必要である。しかし、日本の食料・農業政策は、誤った事実認識や観念に基づき、また経済的な理論による裏付けもなく、企画・立案されてきた。特に、高度成長期以来、農業と政治との関係が深まるにつれて、このような傾向が高まり、その結果、農政自体が、農業の後退、食料自給率の低下を招いた。</p> <p>この講義では、日本の食料・農業政策を批判的に検討しながら、そ</p>				

	れを通じて、政策の企画・立案に真に必要な“考える力”を養う。
--	--------------------------------

Course Code	5123047	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Behavioral Science for Public Policy				
Faculties	ONUKI Mayuko				
Course Objectives/Overview	<p>The goal of this course is to improve students' abilities to apply insights from the behavioral sciences in designing policies and interventions that improve well-being of societies across the world. This course accomplishes it by 1) providing a general overview of recent advancements in behavioral science research sourced from psychology and behavioral economics, and 2) analyzing the gaps between research, evidence and practice. Applications of the materials covered in this course include healthcare, education, business, finance, management, politics, and justice, among others. The lectures are offered in English. All written assignments must be written in English.</p>				

Course Code	5123062	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際開発政策・評価論				
Faculties	青柳 恵太郎				
Course Objectives/Overview	<p>エビデンスに基づく国際開発援助実践（Evidence-Informed Practice in International Development）のために必要となる基礎知識の習得を目指す。具体的には、①エビデンス（介入効果の検証結果）を用いた開発援助プロジェクトの立案ができるようになること、②有効性が実証されていない介入については、その検証方法（評価デザイン）を描けるようになることの2点を目指す。後者については、特にランダム化比較試験（Randomized Controlled Trial：RCT）による効果検証を中心に据え、開発援助実務者の視点から実践方法について学ぶ。</p> <p>RCTは確証度のもっとも高いエビデンスを作り出せる評価デザインである。その基本的な考え方は、対象者を介入群（介入を受けるグループ）と統制群（受けないグループ）にランダムに割り当て、介入群への介入実施後に両群の状態を比較するという非常に単純なものである。しかし、現実社会のなかでRCTによってエビデンスをつくり出す際には、開発課題を明確化させることに始まり、政策担当者や現場担当者との合意形成、検証方法のデザイン策定、実施プロセス管理、データ収集、分析、そして結果のまとめといった非常に泥臭いプロセスの中で様々な課題やつまづきに頻繁に直面することになる。本講義では現実味のある環境を想定した演習の中で準備からデータ分析までの一連のプロセスを体感することで、実践力を養成することを重視する。</p>				

Course Code	5123081	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	Political Economics
Faculties	WATANABE Yasutora
Course Objectives/Overview	The course introduces research in political economics. The course will start from the basic models of voting, then covers the topics of voter participation, electoral competition, deliberation, lobbying, and media.

Course Code	5123171	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	日本の財政金融政策				
Faculties	服部 孝洋／仲 浩史				
Course Objectives/Overview	我が国の財政は、先進国の中でも最悪の状況になっており、財政構造改革が喫緊の課題になっています。また、経済社会がかつてない構造変化を遂げてきており、社会保障制度、国と地方のあり方、国際通貨管理等、戦後わが国の基盤となってきた様々な制度について、改革が求められています。本講義では、政策実務担当者をゲストスピーカーとして招いて、これらの現状についての理解を深めるとともに、課題の解決に向けた政策立案について学びます。				

Course Code	5123172	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Evolution of Global Economic Policies				
Faculties	NAKAO Takehiko				
Course Objectives/Overview	Students study through this course i) how economic policies have evolved since the demise of the Bretton Woods system in the 1970s, ii) what were impacts of Asian financial crisis in the late 1990s and the global financial crisis in 2008/09, iii) how Asian countries have achieved high growth and poverty reduction, and iv) what are new and emerging challenges for Asia and the World. Lecture is both theoretical and empirical, and based on the lecturer's experiences as Chairman of Institute, Mizuho Research Institute (April 2020-), President of Asian Development Bank (ADB) (2013-2020), Vice-minister of Finance for International Affairs dealing with G7, G20, and IMF issues (2011-2013), and other work at the Japan's Ministry of Finance, including tax, budget, and financial sector policy (1978-2013) and as an advisor in IMF's Policy Development and Review Department (1994-97).				

Course Code	5123211-2	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Foundations of Development Economics				
Faculties	SAWADA Yasuyuki				
Course Objectives/Overview	This course will be composed of English lectures on advanced graduate-level development economics.				

Course Code	5123215	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Issues in Development Economics				
Faculties	CHEN Stacey				
Course Objectives/Overview	This course covers contemporary topics in Development Economics. It is appropriate for graduate students in Economics, Public Policy, Agricultural and Resource Economics, and related fields.				

Course Code	5123221	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Interdisciplinary Issues in Development Economics				
Faculties	SHOJI Masahiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course covers interdisciplinary research topics in economic development, such as health, gender, non-cognitive skills, community, and natural disasters.</p> <p>Each topic consists of two sections. In the first section, we review the broad literature in economics and related fields, such as sociology and psychology. The goal of this section is to understand various socio-economic issues in developing countries comprehensively.</p> <p>In the second section, we focus on a few recent empirical papers and discuss the details, such as their contributions to the literature, econometric methodology, and policy implications. This section aims to learn how to read and write academic papers.</p>				

Course Code	5123245	Term	S 1	Credits	2
Course Title	保健医療経済学				
Faculties	康永 秀生				
Course Objectives/Overview	<p>1. 医療経済学の基礎知識を身に着ける。</p> <p>2. 医療経済学の考え方に沿って、現実の医療経済政策における個別の課題について考察する力をつける。</p>				

Course Code	5123250	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	エネルギー政策				
Faculties	小山 堅／有馬 純				
Course Objectives/Overview	<p>わが国を取り巻くエネルギー情勢には様々な課題が山積している。コロナ禍の影響で世界のエネルギー市場は激動を示している。著しい供給過剰から、原油価格は一時期大暴落したが、その後、上昇に転じている。米中「新冷戦」など、厳しい地政学環境が国際エネルギー情勢を揺り動かしている。世界のエネルギー供給の中心である中東情勢は一段と不透明化している。これらの動きに大きな影響を及ぼすのが米国であるが、バイデン政権の発足で、国際エネルギー情</p>				

	<p>勢や気候変動対策にも大きな変化が生まれる可能性が注目されている。世界のエネルギー市場の重心は、成長著しいアジアの新興国・途上国へとシフトしており、アジア市場で何が起こるかが、世界の重要課題となっている。EU を中心に進められてきた、「カーボンニュートラル」実現への取組みは世界で進展しつつあり、今後の「エネルギー転換」のカギを握ることになる。このように、世界で低炭素化・脱炭素化への取組みが進められる中、水素など革新的エネルギー技術の可能性が一気に重要性を増し、世界の注目の的となっている。</p> <p>東日本大震災後、わが国では、エネルギー政策包括的見直しが進められてきた。2030 年のエネルギーミックスがようやく定まり、原子力発電所の再稼働も始まったが、今後のエネルギー政策課題は山積している。電力とガスの小売り自由化が行われ、本格的なエネルギー大競争が始まる可能性もある。日本のエネルギー政策の基本となる、「エネルギー基本計画」の改定を巡る議論が進む中、2050 年のカーボンニュートラル実現も含めた、新しいエネルギーミックス・エネルギー政策の立案が重要な課題となっている。内外の最新エネルギー情勢を踏まえつつ、エネルギーセキュリティ問題と地球温暖化問題の一体的・統合的な解決を目指すエネルギー政策の現状と課題について、理解を深めるべく、講義を進めていく。</p>
--	--

Course Code	5123256	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Central Banking				
Faculties	SEKINE Toshitaka				
Course Objectives/Overview	This course intends to give an overview for a framework of monetary policy, or central banking more broadly. Based on basic theory, it places a particular emphasis on practical aspects by drawing on experiences of Japan and other countries. Students' active participation is expected through group presentations/discussions on relevant topics.				

Course Code	5123262	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Asian Economic Development and Integration				
Faculties	YOSHINO Naoyuki				
Course Objectives/Overview	<p>Asian Economic Development and Integration</p> <p>The course will provide various research topics related to Asian Economic Development.</p> <p>In each lecture, economist at Asian Development Bank Institute located in Tokyo (at Kasumigaseki) will give their research topics.</p> <p>No need for any preparatory courses.</p> <p>The objective of the class is to connect theory and econometric analysis with practical policies used in Asia and Pacific economy. The course will give ways to use economic analysis in actual policy making in Asian and Pacific region.</p> <p>When economic theory or econometric methods were used in the class, basic</p>				

	analysis will be reviewed by the instructor so that no need for prior knowledge in economic theory and econometrics. The lead instructor of the course is N. Yoshino who was former Dean/CEO of Asian Development Bank Institute (2004-2020).
--	--

Course Code	5123272	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	医療イノベーション政策				
Faculties	大西 昭郎／鈴木 寛／林 良造				
Course Objectives/Overview	<p>一国の医療の水準、そしてその結果としての健康の水準は、医療に対する支出の全体の水準と個別の価格設定、提供される医療の安全・安心や一定の質を確保するための国家の関与、医療事故に対する責任の構造、効率的で公平な国民のアクセスを提供するための人的・物的インフラの整備のルールなどに対して、医師、患者、病院、保険者、薬局、製薬企業、医療機器メーカーなど様々な主体が反応していく行動の総体として決定される。そして、これらの主体の行動や制度の有効性は、少子高齢化の進展、グローバル化の展開、経済成長の動向、医療技術の進歩などにより変化している。</p> <p>本講義は、医療水準やその結果としての国民の健康の水準を決定する様々な制度について、当事者間の合意と市場の働きに委ねるのではなく国家の関与が必要とされる理由にさかのぼって考え理解するとともに、特に近年、医療・健康政策と経済成長のための政策の両面から注目されている「医療イノベーション」に視点を当ててこれらの諸制度の評価を行う。</p> <p>医療をめぐる近年の急速な技術進歩やグローバル化の進展を理解するとともに、基礎的科学から患者への提供にいたるヘルスケア産業のイノベーションの過程を取り上げ、国際的な比較を交えて、日本のイノベーション環境の評価を行う。また、「医療イノベーション」を経済成長のための政策としてみる場合の留意点について理解する。それらに合わせて、先端医療技術の活用におけるリスクや不確実性、個人情報保護、倫理上の課題も取り扱う。具体的な事例としては、医薬品・再生医療・医療機器に関する研究開発や承認プロセス等を扱う予定である。</p>				

Course Code	5123300	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Asian Financial Markets				
Faculties	KAWAI Masahiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide an overview of the structure, development and challenges of financial markets in Asia, particularly in ASEAN member states, China, Japan, the Republic of Korea, India and other emerging and developing economies in the region. Its primary focus is on how policymakers can achieve the right balance between financial development (through liberalization, innovation and inclusion) & opening and financial stability (through macroeconomic management, financial regulation and supervision, capital flow management,</p>				

	<p>and international financial safety nets).</p> <p>Japanese and emerging Asian financial markets went through fundamental changes in the 1990s. The Japanese banking crisis and the Asian financial crisis of 1997-98 were instrumental in inducing such changes. The global financial crisis of 2007-09 again affected Asian financial markets and has offered important lessons to be learned. In more recent year, the use of information and communication technology in providing financial services has expanded. The course emphasizes that open-economy financial policy would require a deep consideration of the trilemma hypothesis in international finance. At the end of the course, students are expected to understand the key drivers of Asian financial market development and deepening over the past 30 years and be familiar with a range of ongoing policy debates to influence financial market development, including the financing of infrastructure investment and ESG investment, fintech revolution, and financial stability in the region.</p> <p>Students are expected to: (1) attend all lectures; (2) participate actively in class discussions; (3) produce a short essay, a lecture note on any of the lecture topics of the student's choice, and a term paper related to any theme covered in the course; and (4) present the term paper and engage in Q&As.</p>
--	---

Course Code	5123311	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Introduction to Auctions and Mechanism Design				
Faculties	MARSZALEC Daniel Janusz				
Course Objectives/Overview	This course explores various aspects of auction theory and mechanism design. The aim is to give the participants a broad overview of the applicability of auction-based methods both in the context of academic research as well as practical implementation.				

Course Code	5123312-1	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Essential Academic Skills: Writing and Research Planning				
Faculties	Marszalec Daniel Janusz				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to teach some skills that will help you along your career path to being a successful economist; it is a part of two-course series that I teach. I recommend that you take both courses - both of them focus on communication, and effective delivery of your work.</p> <p>In this part of the course we will focus on writing, and structuring your research.</p>				

Course Code	5123312-2	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Essential Academic Skills: Speaking and Presentation				
Faculties	Marszalec Daniel Janusz				
Course Objectives/Overview	This course aims to teach some skills that will help you along your career path to being a successful economist; it is a part of two-course series that I teach. I recommend that you take both courses - both of them focus on communication,				

	and effective delivery of your work. In this part of the course, we will focus on effective verbal communication, designing presentations, and learning and practicing voice use.
--	--

Course Code	5123350	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Public Policy and Energy				
Faculties	YOSHIKAWA Hisashi／BIROL Fatih／KUSAKA Kazumasa				
Course Objectives/Overview	This course aims to provide students with a practical understanding of public policy as well as energy and climate change policy where policy makers make decisions taking multi-faceted factors such as economy, national security, global warming, technology and innovation, and foreign policy into consideration. International organizations play a significant role in this arena because of the global nature of energy and energy policy. The course also aims to define the fundamentals of energy markets and systems. In addition, public policy issues such as trade-offs, evidence based policy making and role of stakeholders will be picked up and discussed in the class. Students are encouraged to actively participate in the class discussion. The course also tries to develop the students' skill of communication, presentation and document preparation.				

Course Code	5123370	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Economic Development in Korea and other Asian countries				
Faculties	FUKUDA Shinichi／LEE Doowon				
Course Objectives/Overview	The purpose of this course is to improve the understanding of the Korean and the other East Asian economies in the global perspective. Also, the instructor will help the students to enhance their knowledge about theories of macroeconomics, international trade and economic development in the light of the Korean and the other East Asian experiences. Upon reviewing major models of economic development, this course will examine the century-old economic development of Korea and East Asia. Most of the emphasis will be given to the period after the Second World War. The lion's share of the lecture materials will be devoted to review the evolution of the Korean economy during the last several decades in comparison with other East Asian economies. Major characteristics as well as the most important policy change of each decade will be explained. Also, more specific topics such as macroeconomic management, fiscal and monetary policy, role of financial market, firms and industrial policy, external economic relation, and social issues will be studied. In each subject, relevant theoretical backgrounds will be introduced. Also, international comparisons based on various sources of references will be made as much as possible to enhance the understanding of the lectures.				

Course Code	5123400	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Economic Analysis of Innovation				
Faculties	YARIME Masaru				

Course Objectives/Overview	<p>This course discusses the functions and mechanisms of innovation systems and the economic assessment of their impacts, with implications for industrial structure and dynamics and societal challenges. A particular attention is paid to corporate strategy, public policy, and institutional design. Among the issues to be discussed in this course include models of technological change, systems approaches to innovation, research and development, intellectual property rights, university-industry collaboration, public policy for innovation, and case studies in various sectors. The processes of producing, adopting, and utilizing innovations are elaborated from a perspective of co-evolution of technology and institutions. Analysis of economic evolution is introduced, and its concepts and methodologies are elaborated to represent and model the dynamics of innovations. Systemic approaches are taken to discuss the functions and structure of innovations at the national as well as industrial levels. These theoretical frameworks introduced in the first half of the course are utilized to understand the mechanisms of creating innovations on various types of societal issues, including food, energy, chemicals, information and communication, and health. Implications for public policy and institutional design are explored for a transition towards global sustainability.</p>				
----------------------------	---	--	--	--	--

Course Code	5123402	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Advanced Time Series Analysis				
Faculties	SHINTANI Mototsugu				
Course Objectives/Overview	<p>Most macroeconomic data show dynamic properties in the sense that the current value is connected to events in the past in some forms. A formal statistical analysis of this dynamic feature helps us understand the structure of the macroeconomy. In the course, we learn the vector autoregressive (VAR) model, the most frequently used time series model in macroeconomic analysis, and its variations. Motivated undergraduate students are also welcome.</p>				

Course Code	5123405	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Global Financial Regulation				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide students with first-hand information and knowledge on global financial regulation and help them develop a broad understanding of financial regulation, paying particular attention to the global nature of financial regulation. The course covers key topics of global coordination of financial regulation. Issues covered are: history of global financial coordination, the 2008/2009 financial crisis, and the financial regulatory reform after the 2008/2009 crisis. The course in particular discusses key financial regulatory standards in the areas of global systemically important financial institutions (G-SIFIs), recovery and resolution, capital requirements, liquidity requirements, corporate governance, market based finance, over-the-counter derivatives, artificial intelligence (AI), financial technology (Fintech), cyber risk and digital currencies. Students taking this course for credits must take part in all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.</p>				

Course Code	5123433	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Sovereign Debt				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course has three objectives. First, it aims to deepen student understanding about the nature of sovereign debt—public debt as opposed to private debt (conceptual framework). Second, it tries to familiarize students with sovereign debt issues based on selected cases (lessons from history). Third, it provides students with opportunities to discuss how we should manage sovereign debt to achieve policy goals (policy implications). In the current global context, the scope of discussion will be connected occasionally with the implications of the COVID-19 pandemic for sovereign debt with a view to giving real-world relevance to student learning. As a practical training course with active learning approach, students will have the opportunity to work in a team, make oral presentation, debate and produce memos and reports.</p> <p>Background observations and motivation for offering this course are as follows. We know many stories about sovereign debt crises. In the immediate past, since the global financial crisis of 2008-09 and following the Eurozone crisis, high levels of government debt in advanced, emerging, and developing economies have raised concerns over possible sovereign debt crises. There has been an ongoing debate about how to get under control Japan's sovereign debt, which represents more than twice the OECD members' average debt-to-GDP ratio. Furthermore, in some of the emerging and developing countries, governments are struggling with debt management while pursuing economic development by accumulating public and private sector liabilities to various creditors. Issues of "debt trap" in the context of China's Belt and Road Initiative (BRI) have been highly controversial. Most recently, the COVID-19 pandemic has worsened the debt prospects for advanced, emerging, and developing economies.</p> <p>A sovereign default is the failure or refusal of a government to make payments on its debt obligations to either domestic or external creditors, or to both. In fact, history gives us many precedents of sovereign default by both developed and developing countries as well as of many crisis cases that brought a government to the verge of default.</p> <p>One of the most pressing policy challenges is how we could pull a particular country or the global economy out of a vicious circle of debt trap while securing gains from debt. We should recognize that the credit-addicted growth model consequently brings about a growing public and private debt, which is one of the challenges we face in today's world.</p> <p>As financial journalist Philip Coggan described in his book titled Paper Promises: Money, Debt and the New World Order that we could view the economic history as "a war between creditors and debtors" while borrowing and lending are essential for the economy to function and for the government to achieve policy goals. As any other players in an economy, a government needs to borrow or assume some form of liabilities, both direct and indirect (contingent), when it runs deficits, rescues the financial system, guarantees projects, tries to maintain exchange rates, pays for the pandemic, and so on. As such, the government is not necessarily immune from a struggle with its creditors although the nature of government indebtedness is different from borrowing by private entities. Furthermore, we should look at the interaction between creditors themselves as</p>				

	reminded by inter-creditor equity issues in debt restructuring as observed on many occasions. We should also look at equity issues from intergenerational perspectives. Public policy professionals should be aware that sovereign debt has important economic but also political and social consequences, which require public policy and legitimacy considerations.
--	--

Course Code	5123440	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	経済物理学				
Faculties	島田尚／和泉潔／坂地泰紀／高安秀樹／高安美佐子／水田孝信／山田健太／金澤輝代士				
Course Objectives/Overview	<p>経済物理学の分野の概要を紹介するとともに、その応用例として、株式市場のデータ、外国為替市場のデータ、金融テキストデータや SNS データなどを利用した研究を紹介する。</p> <p>経済物理学の特徴は、これまでより高頻度・高解像度で観察されるデータの規則性、特徴を取り出すことにより、その市場やシステムの特徴を物理学的アプローチ、経済学的アプローチにより分析することにある。これらの特性を把握するために必要とされる物理・数理・シミュレーション・マイニングの話題も解説する。</p>				

Course Code	5123450	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際交通政策				
Faculties	宿利 正史／長谷 知治／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	<p>今日世界は、交通や情報通信技術の発達、市場開放などを背景に。様々な分野でグローバル化が進展する中で、米・中の対立、格差や分断の拡大、地球温暖化問題などに直面し、一層不確実性を増している。</p> <p>さらに、昨年初来の新型コロナウイルスのパンデミックは、全世界に大きな影を落とし、グローバル化の流れに大きな打撃を与え、現在なお進行中である。</p> <p>このような中、パンデミックによる移動制限や厳格な出入国管理により、国際間の旅客交通はかつて無い大幅な需要減に直面し、交通・観光産業の経営に甚大な影響を与えている。また、国際間の物流についても、パンデミックの影響を少なからず受ける国際市場において、新たな対応が求められている。</p> <p>一方で、コロナ禍の長期化を引き金に、働き方や移動の形態等社会の様々な場面で価値観の転換や行動変容が進みつつあり、最新のデジタル技術等の活用と相俟って、「モビリティ」自体が大きな変革の渦中にある。</p> <p>こうした状況の下、人口減少と超高齢化が同時進行し、低い経済成長が続く我が国が、今後とも持続的な成長と豊かな国民生活を確保するためには、国際交通分野が、ウィズコロナ・ポストコロナの世界をしっかりと見据えて、国際社会と競争、連携しつつ、重要な役</p>				

	<p>割を果たすことが期待される。同時に、こうした諸課題の克服を可能とする政策対応が急務となっている</p> <p>このような観点から、本科目では、我が国の将来を見据えた望ましい「国際交通政策」の在り方について、政策の現状や交通・運輸の実態を踏まえつつ、講義及びディスカッション並びに現地視察(3回)を通じて考察を深める。</p> <p>○ 本科目については、大学院横断型教育プログラム「科学技術イノベーション政策の科学教育プログラム」の選択科目として位置づけられている。</p> <p>○ 第1講、第3講、第4講、第6講、第8講、第10講から第13講については、履修登録者以外の東京大学の学生に公開する。</p>
--	---

Course Code	5123471	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Labor Economics				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course introduces various topics in labor economics including labor supply, labor demand, skill accumulation, the technology and employment, and the monopsony in the labor market.				

Course Code	5123475	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	機械学習の実証経済学への応用				
Faculties	川田 恵介				
Course Objectives/Overview	<p>現在急速に理論研究が進展している「機械学習の因果推論への応用」について紹介する。とくにコントロール変数の選択や効果の異質性分析について、機械学習を補助的に用いる手法が多く提案されている。これらの手法は分析の精度を向上させるだけでなく、現在実証研究において大きな問題となっている"Cherry picking"問題を緩和することも期待されている。</p> <p>本講義では、基礎的な因果推論と機械学習を学んだあとに、それらを融合させた手法群について学ぶ。また無料の統計ソフトである R を用いた実習も行う。</p>				

Course Code	5123480	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	コーポレートファイナンスと公共政策				
Faculties	新井 富雄				
Course Objectives/Overview	<p>企業活動と資本市場の接点にある Corporate Finance についてその基本原理と関連事項について理解すること。そして、将来、投資銀行、商業銀行、財務コンサルティングや事業会社の財務部門などで Corporate Finance の仕事に従事することを希望する人、また、官庁や中央銀行などで民間企業の金融活動の規制監督業務に従事するこ</p>				

	とを希望する人のために基本的知識を身につけるとともにケース 討論等を通じて学習した知識を応用する能力を付けること。
--	--

Course Code	5123485	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Environmental Economics				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	The objective of this course (EE) is to understand the essential concepts and methods of environmental and natural resource economics. It is designed for a wide range of students who are interested in the environment and natural resources, including those who have no economics background. It covers benefit-cost analysis, environmental valuation, market failure, non-renewable resources, renewable resources, pollution, environmental policies, climate change, and environment and development. This lecture course is offered in English.				

Course Code	5123487	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Economic Crisis				
Faculties	OKACHI Michinao				
Course Objectives/Overview	This course aims to provide students knowledge and mechanism of economic crises from both theoretical and empirical perspectives. As a general explanation, economic crises can be categorized to (1) financial crisis, (2) sovereign debt crisis, and (3) currency crisis. However, a crisis usually accompanies different types of crises, so this course also plans to cover the linkage between crises.				

Course Code	5123488-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融市場と公共政策				
Faculties	池田 宜睦				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、金融市場や金融システムを巡り、これまでの現実的課題に対して、どのような政策対応がとられ、その効果はどう評価されているのか、という観点から、政策対応の背景や考え方、関連する理論、実証分析等について概観していく。将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング・ファーム、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を念頭に、具体的には、非伝統的金融政策、マクロプルーデンス政策、金融システム対応、地域金融、政策金融、不公正事案に対する市場監視、コーポレートガバナンス、ベンチャーファイナンス、FinTech 等のテーマを概説的に扱う。</p> <p>担当教員は、中央官庁（金融庁、財務省）における勤務経験を有する行政官である。講義に際しては、理論に加えて、現実の動きをバランスよく取り扱っていきたいと考えている。なお、本講義は、みずほ証券寄付講座の一環であり、公共政策大学院・経済学部との合併講義である。</p>				

Course Code	5123489	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Empirical I.O. Methods for Financial Institutions				
Faculties	WAKAMORI Naoki				
Course Objectives/Overview	This course covers recent empirical industrial organization papers that estimate structural models. In particular, we will focus on financial sector, including the markets for mutual funds, hedge funds, underwriters, stock market, interbank loan market, consumer finance, and so on. For each topic, we briefly overview how such markets work and then discuss the recent papers.				

Course Code	5123491	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	規制政策				
Faculties	松村 敏弘				
Course Objectives/Overview	<p>政府による民間活動の規制に関して、規制の意義、規制手法、政策形成における政治的プロセス、規制政策の効果に関する経済学的分析等を学び、規制分野の政策分析を行う能力を養う。講義は2つの部分からなる。第1部では、基礎となる経済理論を概観し、この分析道具を駆使して、規制政策の背後にある基本的な原理を経済学的に明らかにする。ここで扱うトピックは、混雑料金、ピークロード料金、ラムゼイ料金、規制の政治経済学、公正報酬率規制、プライス・キャップ規制とインセンティブ規制、情報の非対称性のもとにおける規制政策である。第2部では、エネルギー、通信、運輸産業などの具体的な規制産業を取り挙げて、なぜそもそも規制が必要か、規制がどのような経済効果を持つか、現行の規制の問題点は何か、望ましい規制の体系はどのようなものであるか等を解説する。また部門横断的な環境政策についても取りあげる。</p> <p>This course introduces students to economic analysis of regulation. The main goal is to familiarize students with the important topics in regulation policies today, and put students in a position to do their own policy analysis in this area. The course begins with an extensive discussion of economic theories necessary to understand regulatory policies.</p>				

Course Code	5123495	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Monetary Policy				
Faculties	AOKI Kosuke				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では金融政策にかかわるトピックをマクロ経済学の分析手法を用いて解説する。取り上げる分野は、金融政策の波及経路、ニューケインジアンモデル、最適金融政策、中央銀行の独立性、資産市場と金融政策等、非伝統的金融政策である。</p> <p>講義は、単一の教科書に基づくものではないが、以下の教科書が有</p>				

	<p>用である。"Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle" by Gali, "Monetary Theory and Policy" by Walsh. 講義ノートはウェブページで入手可能。</p> <p>To learn various topics on monetary policy. Topics covered include: identification of the monetary transmission mechanism, the New-Keynesian models, optimal monetary policy, unconventional monetary policy, central-bank independence, financial markets and monetary policy.</p> <p>The course will not be based on a single textbook, but the following textbooks are useful: "Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle" by Gali, "Monetary Theory and Policy" by Walsh. Additional readings will be made available to students through the course homepage.</p>
--	---

Course Code	5123498	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Advanced Industrial Organization				
Faculties	WAKAMORI Naoki				
Course Objectives/Overview	<p>Industrial organization is a field of economics dealing with the strategic behaviors of firms, their implications on firms' profits and consumer welfare. The main goal of this course is to familiarize students with the important methodologies and topics in the literature and put them in a position to do their own research in this area. In particular, Industrial Organization I will cover the basic methodology of structural estimation – demand estimation for differentiated products and production function estimation, which are frequently used in many I.O. applications and antitrust analyses.</p>				

Course Code	5123499	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Financial Markets and Institutions				
Faculties	HATTORI Takahiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to help students develop a solid understanding of the basics of financial markets and institutions and provide useful economics background in formulating financial sector regulations.</p> <p>To this end, the course will cover key theoretical concepts (e.g. inter-temporal substitutions, financial intermediation, direct vs indirect finance, asymmetric information, moral hazard and principal-agent problem) and discuss several applications and practical issues. [Please note that this course will NOT focus on central banking and monetary policy.]</p>				

Course Code	5123504	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Economics of Markets and Competition Policy				
Faculties	OHASHI Hiroshi				
Course Objectives/Overview	<p>This course introduces students to the topics in economics of markets and competition policy. The main goal is to familiarize students with the important topics in the literature today and put students in a position to do economic policy analysis</p>				

	in the area. The course also deals with industry studies and important aspects of antitrust issues. Many case studies are taken from Japan's experience.
--	--

実 践 科 目

Practical Training

Course Code	5130010	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政策分析・立案の基礎				
Faculties	正木 祐輔				
Course Objectives/Overview	<p>行政実務にアカデミアの知を活かすことは、必ずしも容易なことではありません。一般に、アカデミアでは、個別具体的な事例から、特殊要因をできるだけ取り除いて普遍的な真理を追究しようとするのに対し、行政実務では、与えられたその個別具体的な事例こそが問題となります。アカデミアでは、データが手に入りやすい事例を選んで、じっくりと長期的に取り組めるのに対し、行政実務では、限られた情報の下、限られた時間の中で、何らかの政策決定を行っていく必要があります。また、アカデミアでは、その専門の研究分野の方法論に従い、一つの角度から深く掘り下げることが求められるのに対し、行政実務では、たとえ浅くとも、様々な角度から政策を評価することが求められます。</p> <p>一方で、行政実務における日々の政策立案で議論されている内容は、用いられる言葉は違えど、アカデミアで議論されている内容と共通しており、その成果を活かせる可能性のあることも少なくありません。例えば、ある政策の政策効果を定量的に測るためには計量経済学の手法を用いることができますし（EBPM: evidence-based policymaking）、効率性と公平性のバランスをどう取るかを考える際には自由や平等についての公共哲学における議論を参照することができます。また、不確実性が高く、問の定式化が難しい場合には、経営学におけるスタートアップの探索的手法や、サービスデザインの考え方が活用できるかもしれません。</p> <p>本講義では、経済学、行政学、公共哲学等の諸学問がどのような知見を持ち、どのような議論をしているかをざっと概観しつつ、それらを実務の文脈、とりわけ、身近な地方自治体の政策立案に当てはめると何が言えるのかの分析を反復して訓練することにより、最終的には、そうした諸学問の知を組み合わせ、現実の政策立案に実践的に活かす能力を身に付けることを目指します。</p>				

Course Code	5130020-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	交渉と合意				
Faculties	松浦 正浩				
Course Objectives/Overview	<p>【受講者数制限あり。定員を超える場合初回講義後に抽選予定。】</p> <p>【受講登録希望は https://goo.gl/forms/gPsbU06KFpdSxoyB2 にて受付(4/9 午前9時迄)】</p> <p>「交渉」というと何か身構えてしまう人も多いでしょうが、実際のところ誰もが毎日交渉を行っています。たとえば家庭内での会話（例えば「今夜のご飯は何にしようか?」）なども一種の交渉です。また同時に、国家間で条約を締結する際にも交渉は行われています。これら多様な「交渉」を幅広くとらえ、それらの共通点から見</p>				

	<p>出された基本的な枠組みが「交渉学」です。幅広い分野の現場で適用可能であるため、現在では全米各地の専門職大学院（公共政策大学院、法科大学院、ビジネススクール、都市計画大学院など）で教えられています。</p> <p>「交渉」のスキルは生まれもってのものであって、勉強や練習をしても改善は難しいと思い込んでいる人が多いと思われそうですが、実際はそうではありません。「交渉学」の枠組みを用いて反省することで、交渉に係る問題の正しい理解が可能となり、「交渉学」を念頭に実際の交渉を進めれば、適切な問題改善へとつなげることができます。また、「交渉」の最終目標は相手を打ち負かすことではありません。むしろ、自分と交渉相手が今後共存できる方法をお互い納得できる形で見つけることが交渉の目標です。ですから、今回の講義で扱う「交渉学」のことを「Win-Win 交渉」などと呼ぶ人もいます。また、今回の講義は公共政策における交渉と合意に焦点を当てます。個人間、企業間で行われる交渉と比べ、公共政策に関する交渉と合意形成は、その特性が大きく異なります。特に、ステークホルダーの特定、配分の公正性に対する要請、価値観に根ざした論争と熟議による対応、科学的不確実性への対応などについてこの講義を通じて十分理解を深めていただきたいと思います。なお、講義では環境政策や都市計画を中心とした事例を用いて議論を進めます。</p>
--	---

Course Code	5130035	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	教育政策と教育法				
Faculties	鈴木 寛				
Course Objectives/Overview	<p>担当教員の鈴木寛は、参議院文教科学委員会理事、文部科学副大臣、文部科学大臣補佐官として数々の教育関連法制の制定に関与してきた。現在も、OECD 教育スキル局アドバイザー、NGO Teach for ALL Global Board Member として、世界の教育政策の分析・提案を行っている。さらに、公益財団法人日本サッカー協会理事、NPO 法人日本教育再興連盟代表理事をはじめとして、数々の文教科学関連の実務の現場責任者も歴任している。それらの実務経験を通じて、自らが手掛けた個別ケースについても概説しながら、将来、教育・スポーツ・文化・科学技術などに関連する仕事につく可能性のある学生の法解釈力、法制定力、政策立案力を磨くことを目標とする。</p>				

Course Code	5130076	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	International Organizations for Sustainable Development in the 21st Century				
Faculties	YOSHIKAWA／ORSI／SHIROYAMA				
Course Objectives/Overview	<p>This course provides students with exposure to the particularities and challenges characterising the work of International Organizations in the 21st century. It is not a theoretical course on the fundamentals of international law and the structures of international organizations or sustainability science (which are covered by other</p>				

	<p>related courses, but a practice-oriented course focusing on the concrete issues of International Organisations.</p> <p>In this course, we will first analyze in depth the structure and functioning of international organizations and understand how they contribute to global efforts for sustainable development. Then, students will learn from the firsthand experience of invited experts from several international organizations. In the latter part of the course, students will practice the lessons for the analysis of complex sustainable challenges (involving more than a single SDG). Finally, students are expected to be able to elaborate a proposal for an action plan for an international organization, including their own contribution if there would be to follow a career in such an organization.</p>
--	---

Course Code	5130092	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Development Operations of the World Bank Group				
Faculties	NAKA Hiroshi				
Course Objectives/Overview	<p>The World Bank Group (WBG) institutions (World Bank (IBRD and IDA), IFC and MIGA) operate in developing countries to end extreme poverty and to boost shared prosperity. The operations of the Group also contribute to achieve the Sustainable Development Goals (SDGs) agreed by the member countries of the United Nations. This course covers the key operations of the WBG and the principles which regulate the operations to manage risks deriving from external and internal factors. As some senior management of the World Bank Group give lectures online, this course provides students with good opportunities to directly discuss development operations with them.</p> <p>The objective of this course is to better understand how the WBG operate for developing countries. It will help students develop policies, programs and projects to accelerate the growth of a country addressing environmental and social challenges. Students who finish this course and fully understand the operations of the WBG can start working for the WBG from day-one when they get a job in the WBG.</p>				

Course Code	5130095	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	消費者政策の現代的展開				
Faculties	山本 隆司／山田 正人／加納 克利				
Course Objectives/Overview	<p>21 世紀が消費者の時代と言われて久しい。消費者の権利を擁護する仕組みは年々充実する一方、消費者を巡るトラブルは依然として高止まりの状態が続いている。</p> <p>本講座では、政府の最前線で消費者政策を担当する実務家と研究者が協同して、我が国の消費者政策の課題と仕組みを明らかにするとともに、社会の高齢化、情報化、国際化、ビジネスの多様化を踏まえ、今後求められる消費者政策の展開について、事例研究を交えつつ、講義を行う。</p>				

Course Code	5130120	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	精神保健学Ⅰ				
Faculties	川上 憲人／西 大輔				
Course Objectives/Overview	精神保健の疫学や方法論を踏まえた上で、精神保健に関する課題の対策を科学的根拠に基づいて立案するための知識・技術を習得することを目的とする。具体的には、精神保健の疫学や方法論を体系的に理解し説明できること、精神保健の第一次・第二次・第三次予防の科学的根拠の現状について説明できること、グループのメンバーとの協働およびリーダーシップのあり方を学びつつ課題に即した精神保健対策を立案できることを到達目標とする。				

Course Code	5130200	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Advanced Academic Writing				
Faculties	FAYE Singh Stanislas				
Course Objectives/Overview	The objective of this course is to examine the key elements of long pieces of writing from paragraphs to essays while paying particular attention to the difference between paraphrasing and plagiarizing. In the same vein, we will study the summary and the Critical Review, two crucial components of an academic paper. Students taking this course should have a minimum TOEFL score 79 or IELTS 6. It is not required to have taken the INTRODUCTION TO ACADEMIC WRITING course to take this one.				

Course Code	5130205	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Academic Writing				
Faculties	FAYE Singh Stanislas				
Course Objectives/Overview	<p>In this course, the students will learn the basic principles of academic writing. They will look at the fundamental aspects of writing and how to apply them to research papers. These are audience, purpose, organization, flow, style, and presentation. To reach this end, the course will place emphasis on these goals:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) To build writing competency so that the students can meet the requirements of graduate-level academic writing assignments. 2) To become more proficient and comfortable in writing English for Academic Purposes. 3) To understand and follow the conventions and expectations of graduate-level academic writing in general as well as in the students' chosen field. 4) To help the students understand that each discipline has its own genre/s and rhetorical characteristics, 5) To develop familiarity with and practice several academic genres (e.g., summaries, different types of essays, ...). 6) To review all aspects of English syntax to produce error-free papers. 				

Course Code	5130210	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Presentations and Discussion				
Faculties	FAYE Singh Stanislas				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course is to assist in developing skills in public speaking and discussions. Students will learn to write, analyze, and deliver speeches of a persuasive, expository and impromptu nature. Students will also develop skills in argumentation and critical questioning. Beyond providing students the opportunity to improve presentation skills, this course will also encourage students to develop interpersonal communication skills as they work through problem solving, negotiation and simulation exercises. In addition to regular coursework, students will be expected to follow current events closely, and will use these events to hone their skills in speaking and argumentation.</p>				

Course Code	5130220	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Advanced Study of Science & Technology				
Faculties	Y. KOBAYASHI / M. MITSUISHI / H. NAKATOMI / K. MOTOHASHI / R. MASTUHASHI / K. FURUTA / S. KANO / S. MARUYAMA / JS. Lee				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to cultivate internationally competitive young researchers equipped with literacy and competency to become future leaders in industry and academia. The course deals with multidisciplinary application skills and the in-depth research in specialized fields so that students accomplish the ability to work in a broader spectrum and apply one's skills to a multidisciplinary setting.</p> <p>The topics of the course include medical robotics, medical high-tech industries, disease prevention, health care system, science technology and industrial policy, system safety, energy technology, and, nano-technology.</p>				

Course Code	5130230	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Social Design and Global Leadership				
Faculties	SUZUKI Hiroshi / SHIROYAMA Hideaki				
Course Objectives/Overview	<p>This is the introductory lecture course for the graduate leading program on social design and management. Basic concepts and methods for social design and management in organization settings are introduced, followed by concrete cases in various sectors and discussion on global leadership as a cross-cutting issue. This course especially focuses on the problem definition phase of social design and management.</p>				

Course Code	5130235	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Exploring a New Global Governance in the Changing Geopolitical Dynamics				
Faculties	WATANABE Tetsuya				
Course Objectives/Overview	<p>The course explores a new global governance in the changing geopolitical dynamics, focusing, in particular, on (1) interactions between economic security</p>				

	<p>policies and industrial, science and technology policies; and between policymakers and various stakeholder in the US, the EU and other countries; (2) the development of Chinese economy; (3) International Trading System, (4) climate change challenges and SDGs , (5) the digital transformation and innovation and (6) new corporate capitalism. The objective of the course is to help participants understand and analyze a variety of issues relevant to the today's world in the geopolitical perspective.</p>
--	---

Course Code	5130245	Term	S1A1	Credits	2
Course Title	Global Health Policy				
Faculties	HASHIZUME Masahiro／MD ASHRAFUL Alam				
Course Objectives/Overview	<p>本特論は、グローバルヘルスにおける主な課題と論点の理解と理論的背景を概説するとともに、政策課題の分析と解釈のための実践的演習を行う。グローバルヘルスの第一線で活躍する外部講師による特別講義も適宜実施し、理論と実践の双方を習得する。扱うテーマは、グローバルヘルスの政策とガバナンス、地球環境問題と健康、疾病負荷、健康格差、健康の社会的決定要因等である。</p> <p>This course introduces the principles and theories of major global health challenges and discusses current controversies in improving global population health, as well as practical applications of quantitative methods to analyze and interpret issues and challenges for policy. Topics will include: global health policy and governance, global environmental health, disease burden, health equity, social determinants of health, etc.</p>				

Course Code	5130248	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Introduction to Cybersecurity Policy				
Faculties	HAYASHI／ONISHI／TAKAMIZAWA				
Course Objectives/Overview	<p>The course objectives include but not limited to</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Understanding the policy issues that center on international relations, business continuity, and risk/crisis management to protect intellectual property, assets, reputation, and other organizational assets from any threat or attack related to cybersecurity. ● Understanding the role of technical standards to supplement legal and regulatory requirements; ● Analyzing critical incidents including data breaches or related events to design and implement organizational strategies to address such risks; ● Gaining a basic understanding for future technical and other research in security (whether it is public or public sector) ● Gaining a basic grounding for policy via the examination of current research issues and problems ● Gaining experience handling real-world security policy challenges through analysis of public documents and artifacts using written and oral communication. ● Developing the multidisciplinary skills needed to analyze, manage, and resolve the challenges associated with public policy, international relations, and governance. 				

	● Students are encouraged to take experiment provided by Interfaculty Initiative in Information Studies/Graduate School of Interdisciplinary Information Studies				
--	--	--	--	--	--

Course Code	5130250	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Mathematics for Public Policy				
Faculties	KAKINAKA Makoto				
Course Objectives/Overview	This course introduces fundamental mathematical tools that are useful in analyzing various public policies in a scientific way. By taking this course, you will be able to systematically and intuitively apply mathematical methods to economic and management issues and utilize them for your research on public policy issues. The focus of this course is on (i) fundamental elements and (ii) applications to real world issues. The fundamental elements include functions, sequence and series, differentiation, unconstrained and constrained optimization, integration, and matrix algebra. We also cover simple versions of differential and difference equations to understand the basic concept of dynamic systems. It is important for you to realize in advance that this course is a building block for any further study of public policy.				

Course Code	5130260	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	社会保障・人口問題の現代的諸相				
Faculties	佐藤 格				
Course Objectives/Overview	<p>本講座では、少子高齢化・人口減少という時代の潮流を理解した上で、社会保障制度や日本社会のあるべき姿を考えるために必要な知識や視点を半年の講義で学ぶ。</p> <p>まず、日本社会が直面している課題、そして人口問題と社会保障を学ぶ意義と有効性を解説する。前半では、少子高齢化の今後の動向やそれがもたらす社会の変化について、マクロの人口現象と家族の変容の視点を織り交ぜながら、総合的に理解することを目指す。中盤では、医療、年金、介護、家族政策、貧困と福祉制度といった社会保障各分野の概念や知識、現代的課題を学ぶ。終盤では、目を世界に向けて、日本の周辺諸国における社会保障の動向、外国人労働者政策について紹介する。</p> <p>本講座では、厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所において社会保障や人口分野の調査研究に携わってきた専門家が、各分野について順番に講義を行う。</p>				

Course Code	5130270	Term	S 1	Credits	2
Course Title	医療コミュニケーション学				
Faculties	木内 貴弘／奥原 剛				
Course Objectives/Overview	本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。医療コミュニ				

	<p>ケーション学（ヘルスコミュニケーション学）とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、保健医療専門職間、保健医療専門職と患者・市民間、患者・市民間等における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。本講義では、保健医療・公衆衛生分野における専門職として効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、(1)コミュニケーションの基本的な理論、(2)コミュニケーションの具体的な方略やスキル、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱う。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。</p>
--	---

Course Code	5130290	Term	S 2	Credits	2
Course Title	International Projects				
Faculties	KATO Hironori／KOMATSUZAKI Syunsaku				
Course Objectives/Overview	<p>We civil engineers are involved not only in construction of infrastructure but also in solving a variety of social problems. For example, the Great East Japan Earthquake set a new task to build new embankments along the Sanriku Coast. It is not a purely technical issue but a social one as social acceptance would be necessary to build those embankments. Even experts of structural mechanics cannot avoid or ignore it. The same thing can be said to international project; for example, Kotopanjang Dam project in Indonesia caused a strong public opposition, which was actually evoked by NGO, and ended in court. You, as future civil engineers, must have competencies to deal with such various aspects of international project.</p>				

Course Code	5130310	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	電力ネットワーク政策				
Faculties	金本 良嗣／山次 北斗				
Course Objectives/Overview	<p>電力システム改革が進行しており、日本の電力システムは大きく変貌しつつある。その中で、電力ネットワークに関する制度設計と運用が電力システム改革の中核的な役割を果たすことが明らかになってきた。電力システムの技術的特性から発送電分離後の市場設計は複雑かつ高度に専門的であるので、その全体像を理解することは容易でない。この授業は、政策形成に携わっている実務家が日本における電力ネットワーク政策の概要を分かりやすく解説することによって、現実を踏まえたバランスのとれた理解を育むことを目的とする。また、日本に先駆けて電力市場改革が進んできた海外諸国との比較や電力市場の経済理論についても紹介し、最先端の知見を提供する。</p> <p>電力市場の自由化が進んだ後の電力システムを担う人材に必要なとされる能力は、これまでの発送電一体のもとでのものとは異ならざるをえない。電気工学に加えて、経済学やオペレーションズ・リサーチの理解が必須であり、これに対応した新しいタイプの学際的な</p>				

	教育が求められている。この授業は様々なバックグラウンドを持つ学生諸君に開かれており、そのなかから新しい電力システムを担う人材が輩出されることを期待している。
--	--

Course Code	5135030	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	CAMPUS Asia Joint Course: International Public Policy in East Asia				
Faculties	HATTORI Takahiro				
Course Objectives/Overview	The purpose of this course is to deepen understanding of East Asian political, economic, and social issues through multidisciplinary analysis. The course consists of lectures, student group discussions, and field trips. Faculties of the Seoul National University (SNU) and the Peking University (PKU), our partner schools of the Campus Asia Program, also provide a series of lectures in the course. This course is designed for students participating in the Campus Asia program. Non-Campus Asia students at the University of Tokyo may also be allowed to register for the course.				

Course Code	5139000	Term	通年	Credits	1
Course Title	インターンシップ				
Faculties	各教員 Each Academic Advisor				
Course Objectives/Overview	単位認定の対象は、公共政策に関わる政府、地方自治体、NPO、民間等の機関において1週間以上のインターンシップに参加した場合である。 Students who are going to participate in an internship duration of one week and above at public policy related organizations such as government agencies, municipal bodies, NPO or private institutions etc may register and apply for one credit.				

事例研究

Case Studies

Course Code	5140011	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（政策分析・立案実践）				
Faculties	正木 祐輔				
Course Objectives/Overview	<p>本講義は、履修生がいわばコンサルタントとして、実際のクライアントが直面する課題に対してチームでコンサルティングレポートを作成する極めて実践的な授業です。</p> <p>クライアントは自治体3団体（2県1市）であり、それぞれ女性活躍促進、ポストコロナへの対応、市町村合併後の庁舎機能のあり方について検討を行っています。受講生は3チームに分かれ、チームごとに文献調査や対応案の検討を行い、各回の授業で、担当教員及び他チームからフィードバックを受けます。クライアントには中間報告、最終報告を行い、実務上の観点からのフィードバックをもらいます。それにより、現実には政策実務家が直面する政策課題に対して、法学・政治学・経済学等の知見を組み合わせる現実的な課題解決策を提示する能力、更にはそれを各人の強みを生かしてチームの力で実現するチームワーク力を培うことを目指します。</p>				

Course Code	5140041	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（現代行政Ⅰ）				
Faculties	増田 寛也				
Course Objectives/Overview	<p>この演習では、政府部門（中央、地方）の政策形成過程への政党、官僚、利益集団の関わり方と、国民、市民や地域社会に与える影響について、幅広く今日的課題を取り上げ、制度と現実の乖離、そこから生まれる課題、課題への対処におけるリーダーシップのあり方について実践的な議論を展開し、考察を深める。</p> <p>このため、適宜、関係者へのヒアリング、現地調査を行う。</p> <p>最終的には、具体的な提言をレポートに取りまとめることを目標とする。</p>				

Course Code	5140060	Term	通年	Credits	4
Course Title	事例研究（現代行政Ⅲ）				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本演習では、現代日本の自治体行政の実態を理解することを目的とする。</p> <p>本年度は、昨年度に引き続き川口市を採り上げる。都市自治体にとって重要な政策領域は社会保障分野や社会基盤整備分野である。しかし、そうした政策展開を可能にするのは、都市自治体としての資源調達であり、その最たるものは税務である。そこで、本年度は税務行政を採り上げる。行政実務的には、実際に、どのようになされているのかにつき、知見を深めることとする。</p>				

	<p>ここ12カ年ほど、川口市に関しては総合計画・行政管理・合併・国民健康保険・介護保険・障害福祉・生活保護・子ども行政・都市計画を題材として採り上げたところである。ついに干支も二巡目に入った。本演習では、現代日本の自治体行政の実態を理解することを目的とする。</p>
--	--

Course Code	5140076	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	事例研究（テクノロジーアセスメント）				
Faculties	谷口 武俊／松尾 真紀子				
Course Objectives/Overview	<p>科学技術は科学的知識に関する不確実性と技術の利用形態に関する不確実性という二重の不確実性をもつ。そして、科学技術の研究開発や利用活動には多様なアクターが関わり、そこには様々な利害が生じ、複雑なリスクトレードオフ構造が形成される。科学技術の社会導入は多様な社会的含意をもつ。社会経済活動がより重層的に繋がり相互依存性を高めている社会にあって、科学技術の研究開発・利用を巡る公共政策は極めて重要である。研究開発・利用を推し進める政策立案者や意思決定者は上述した科学技術の本質を踏まえたとき、如何なることに留意し社会的判断をなすべきだろうか。</p> <p>本講義では、先端科学技術に関する意思決定支援アプローチである「テクノロジーアセスメント(Technology Assessment: TA)」の考え方・手法・制度を学習し、具体的な科学技術を取り上げ実践的にTAを試みることを通して、上述のような問いについて考えていく。これまで受講生が取り上げてきた技術は、大規模洋上風力発電やジオエンジニアリングやスマートグリッドなどの環境・エネルギー分野、M2Mや仮想現実・拡張現実などの情報通信技術分野、角膜再生やBMIなどの健康・医療技術、宇宙デブリ除去技術、宇宙新輸送システム、自動運転技術、赤外線暗視カメラ、ウェアラブルIoT、医療分野へのAI導入、自動翻訳、ブロックチェーン技術、ゲノム編集技術、培養肉、ドローン、ブレイン・マシン・インターフェース(BMI)等がある。</p>				

Course Code	5140078	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（人工知能と社会）				
Faculties	江間 有沙／國吉 康夫／佐倉 統／城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>「人工知能」が新聞紙面で見ない日はないほど、自動運転・農業・医療・金融・サービス業等様々な人工知能が紹介され、社会的な関心は高まっています。そのため、国内外で人工知能技術の開発初期段階からの原則策定や、技術の倫理的、法的、社会的影響(Ethical, Legal and Social Implications)の議論が行われています。このような議論には多様な分野の知見が求められており、今後、情報系研究者も倫</p>				

	<p>理・法・社会的知見を持つこと、政策関係者や実務家、人文・社会科学の研究者も情報技術に関する知見を持つことが必要となります。本授業では、「どうやったら技術を社会に受容してもらえるのか」「技術が私たちの社会をどう変えてしまうのか」という技術決定論的あるいは受け身な態度ではなく、「どのような社会を目指し、そのために技術や人は何ができるか」といった視点から「人工知能と社会」における論点を考えます。そのため、人工知能関連技術と密接に関係する分野や学問領域で話題提供いただくゲスト講師をお招きします。</p> <p>また授業は人文・社会科学系、理工系の学生に開かれており、異分野の学生同士での対話の仕方も学び、ディスカッションを通して各々特定のテーマについての最終レポートを作成します。また、学生には授業前にテーマに関する資料を予習し、質疑応答やディスカッションに主体的に参加することが求められます。</p> <p>なお、本授業は総合文化研究科、情報理工学系研究科、情報学環・学際情報学府、公共政策大学院の合併授業です。</p>
--	---

Course Code	5140079	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Cybersecurity)				
Faculties	HAYASHI／ONISHI／TAKAMIZAWA				
Course Objectives/Overview	<p>The course objectives include but not limited to</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Understanding the policy issues that center on international relations, business continuity, and risk/crisis management to protect intellectual property, assets, reputation, and other organizational assets from any threat or attack related to cybersecurity. ● Understanding the role of technical standards to supplement legal and regulatory requirements; ● Analyzing critical incidents including data breaches or related events to design and implement organizational strategies to address such risks; ● Gaining a basic understanding for future technical and other research in security (whether it is public or public sector) ● Gaining a basic grounding for policy via the examination of current research issues and problems ● Gaining experience handling real-world security policy challenges through analysis of public documents and artifacts using written and oral communication. ● Developing the multidisciplinary skills needed to analyze, manage, and resolve the challenges associated with public policy, international relations, and governance. ● Students are encouraged to take experiment provided by Interfaculty Initiative in Information Studies/Graduate School of Interdisciplinary Information Studies 				

Course Code	5140090	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	事例研究（外交政策Ⅰ）				
Faculties	齋木 尚子				

Course Objectives/Overview	<p>事例研究を重ね、外交についての理解を深めることを目標とする。</p> <p>「外交」とは、第一に、対外政策を意味するが、政策自体に関する分析・評価のみならず、当該政策が作成される過程も十分に検討しなければ、政策を正しく理解することはできず、まして言わんや、将来の政策の企画・立案ないしこれに寄与するための政策提言を行うこともできない。第二に、「外交」とは、政策の実施を意味する。即ち、関係国・機関との交渉（時に対決し時に協力する）及びこれに付随する措置も外交である。したがって、本演習においては、対外政策の決定プロセス、政策そのもの、そして政策の履行の三段階を取り上げ、検討する。</p> <p>右検討においては、政策提言作成をも視野に入れて、掘り下げた議論を行いたい。</p>
----------------------------	--

Course Code	5140100	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	事例研究（外交政策 II）				
Faculties	齋木 尚子				
Course Objectives/Overview	<p>事例研究を重ね、外交についての理解を深めることを目標とする。</p> <p>「外交」とは、第一に、対外政策を意味するが、政策自体に関する分析・評価のみならず、当該政策が作成される過程も十分に検討しなければ、政策を正しく理解することはできず、まして言わんや、将来の政策の企画・立案ないしこれに寄与するための政策提言を行うこともできない。第二に、「外交」とは、政策の実施を意味する。即ち、関係国・機関との交渉（時に対決し時に協力する）及びこれに付随する措置も外交である。したがって、本講義においては、対外政策の決定プロセス、政策そのもの、そして政策の履行の三段階を取り上げ、検討する。</p> <p>右検討においては、政策提言作成をも視野に入れて、掘り下げた議論を行いたい。</p>				

Course Code	5140165	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（デジタル時代の行政と社会）				
Faculties	城山 英明／青木 尚美／江崎 浩／羅 芝賢				
Course Objectives/Overview	<p>情報通信技術の発展は様々な行政の変化をもたらしつつある。しかし、技術の特性だけによって変化が促される場面はごく限られている。技術の中には、本質的に政治的な技術もあれば、明確な政治的目的を持って設計される技術もあり、意図せざる結果としての政治的効果を伴う技術も存在する。また、技術の変化は行政におけるプラクティスや制度の変化と共進化することでインパクトを持つ。この授業では、まず、第1部において、基本的文献も用いつつ、今日さまざまな形で展開している行政の変容やそのころ試み及び変容のためのプロセスについて、19世紀以来の官僚制の成立とその変化という幅広い文脈に位置づけ、議論する。その上で、第2部におい</p>				

	ては、近年、電子政府、デジタル・ガバメント、情報セキュリティの確保といった枠組みの下で試みられている様々な実務的技術的取組を、現場の実務家や理系研究者の講義に基づいて検討する。そして、第3部においては、参加者が関心を持つ任意のテーマに関するレポートの構想を発表し、相互に議論する。最終的には、各参加者はレポートをまとめることが求められる。
--	---

Course Code	5140202	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（政策評価のための因果推論Ⅰ）				
Faculties	川口 大司／正木 祐輔				
Course Objectives/Overview	データから因果関係を読み解く因果推論の手法を学び、その手法を実際の政策形成の現場でどのように適用しエビデンスに基づく政策形成(EBPM)を実践していくかを学ぶ。実務家教員と研究者教員が共同担当することによって、データ分析が政策形成にどのように生かされていくかを実地で学ぶ。地方自治体の政策担当者にも参加してもらい、実際の政策形成の現場の臨場感を味わってもらいながら、政策形成の現場で EBPM を実践するとはどういうことかを考える場としたい。				

Course Code	5140203	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（政策評価のための因果推論Ⅱ）				
Faculties	川口 大司／正木 祐輔				
Course Objectives/Overview	データから因果関係を読み解く因果推論の手法を学び、その手法を実際の政策形成の現場でどのように適用しエビデンスに基づく政策形成(EBPM)を実践していくかを学ぶ。実務家教員と研究者教員が共同担当することによって、データ分析が政策形成にどのように生かされていくかを実地で学ぶ。地方自治体の政策担当者にも参加してもらい、実際の政策形成の現場の臨場感を味わってもらいながら、政策形成の現場で EBPM を実践するとはどういうことかを考える場としたい。				

Course Code	5140205	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（公共経済政策：問題分析）				
Faculties	小川 光／深澤 映司				
Course Objectives/Overview	官公庁やシンクタンクなどで経済分野の政策分析業務に従事することを希望する受講者を対象として、そのような職場で政策課題分析型の論文を作成する際に有用な知識や技能を習得してもらうことを目的とする。前期（S1・S2 セメスター）の「問題分析」では、この目的を達成するための基礎固めを行い、後期（A1・A2 セメスタ				

	一) の授業で実際に論文を完成させるための橋渡しを行う。
--	------------------------------

Course Code	5140206	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（公共経済政策：解決策分析）				
Faculties	小川 光／深澤 映司				
Course Objectives/Overview	官公庁やシンクタンクなどで経済分野の政策分析業務に従事することを希望する受講者を対象として、そのような職場で政策課題分析型の論文を作成する際に有用な知識や技能を習得してもらうことを目的とする。後期（A1・A2 セメスター）の「解決策分析」では、前期（S1・S2 セメスター）の「問題分析」における基礎固めで得られた成果をさらに発展させ、授業の最終的な目的を達成することを目指す。				

Course Code	5140209	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Case Study (Japanese Foreign Economic Policy)				
Faculties	IIDA Keisuke				
Course Objectives/Overview	The goal of this course is to explain how Japan's foreign economic policy is made and where its characteristics come from. This course is primarily intended for international students wanting to understand the political and economic underpinnings of Japan's foreign economic policy, but it will be also useful for students who anticipate practicing foreign economic policy in their professional life, or those who will help shape governmental foreign economic policy in the private sector.				

Course Code	5140217	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（政治とマスメディア I）				
Faculties	谷口 将紀／佐藤 武嗣				
Course Objectives/Overview	本演習では、日本政府の外交・安保をめぐる政策立案や、国際社会、安保環境を外観しながら、世界・社会で「分断」が進む中で、政治とメディアのあり方を考える。日本、あるいは米国でメディアは二極化し、政治権力とメディアの軋轢も強まっている。政治権力は、自らの権力維持と政策実現のため、メディアや市民に、自らへの同調や服従を促す。対するジャーナリストは政治家や官僚などに肉薄し、時に政治に組み込まれながらも、政策決定過程の「秘密の政府」の実態を暴く使命を帯びており、日本では特定秘密保護法、米国ではスパイ防止法などで、政治とメディアの緊張関係が高まっている。一方、日本が目指すべき指針をめぐる対立も深刻だ。憲法などの「規範の守護者」と、集団的自衛権の行使容認など外交・安保政策の「既存枠組みの突破者」が衝突。社会、メディアの二極化が進む背景には、戦後の国際規範の牽引役を務めてきた米国の衰退と、				

	<p>経済・安保両面での中国の台頭と無関係ではないだろう。さらに、従来の新聞やテレビといった伝統的メディアと異なる、フェイスブックなどソーシャルメディア、ネットメディアが世論形成に大きな影響を及ぼし、ビッグデータを駆使した心理作戦やフェイクニュースが「政治の道具」としても活用され、社会の分断に拍車をかけている。ジャーナリスト、政治家、官僚との意見交換も交えながら、こうした問題を捉えながら、「政治とメディア」を考える。</p>
--	--

Course Code	5140218	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（政治とマスメディア II）				
Faculties	谷口 将紀／佐藤 武嗣				
Course Objectives/Overview	<p>日本を取り巻く国際情勢、安全保障環境は、大きな岐路を迎えている。戦後、日本が良くも悪くも追従してきた米国は、国際社会においてその影響力を低下させ、秩序の牽引役から身をひきつつある。一方、経済・軍事の分野で中国の台頭は著しく、軍事・技術・貿易・国際機関で米中の対立が激化している。近年日本は、安全保障分野は米国との同盟関係に軸足を置いて防衛協力を強め、経済では中国との関係強化によって活路を求め、「安保は米国、経済は中国」と使い分けてきた。しかし、米中の大国間競争が激しさを増すにつれ、双方から「踏み絵」も迫られかねない状況に陥りかねず、日本が外交・安保戦略をどう描き、立ち位置をどのように決めていくのか、視界不良の外交課題に直面しつつある。本演習では、日米同盟や対中国・朝鮮半島政策など、直近の外交・安保の政策立案を担ってきた政治家や首相官邸高官、外務官僚、防衛官僚らを招き、外交・安保政策を概観。同時に、彼らとの意見交換・質問の場を設け、時に政策立案の立場から、時にはジャーナリスティックな視点から、現状や課題について率直に議論を交わし、日本としての指針や活路をそれぞれで考え、探っていく。</p>				

Course Code	5140280	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（財政政策 I）				
Faculties	岩本 康志				
Course Objectives/Overview	<p>財政政策、税制、財政運営に係る事例研究をおこなう。問題の設定、基本的な事実に関してのリサーチをおこない、解決策を探る。この授業では、受講生が関心のある個別政策を選択して、①EBPM（根拠に基づく政策立案）の観点から、実施あるいは計画されている政策を検討すること、②EBPM に沿った政策立案が行われているか否かどうかを検討すること、を行う。</p> <p>その際、国立国会図書館調査及び立法考査局総合調査報告書『EBPM（証拠に基づく政策形成）の取組と課題』（2020 年）「第 II 部 EBPM の観点からの個別事例分析」の手法にならい、原則として以下の 6</p>				

	<p>つの評価の視点を用いる。「政策目的は適切に設定されているか」「政策は適切に体系化されているか」「アウトカム指標は適切に選択されているか」「アウトカム目標の水準は適切に設定されているか」「政策効果に関する適切なエビデンスが示されているか」「アウトカムの実績への政策の貢献は適切に検証されているか」。これらの視点からの評価に加えて、政策自体の課題も分析対象となる。</p>				
--	---	--	--	--	--

Course Code	5140286	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Intellectual Property Management)				
Faculties	WATANABE Toshiya				
Course Objectives/Overview	<p>1 Purpose</p> <p>The "International IPR Management" course covers the fundamental aspects of intellectual property from business perspective. Course of this year especially focus on IP management from startup perspective. The course is organized by combining series of lectures and workshops by guest speakers for better understanding the IPR management through real issues in business scene. In order to facilitate effective interactive process in case based teaching, a number of enrolled students could be restricted. In this process, students in the TMI departments as well as those in TMI sub-major have some priority.</p>				

Course Code	5140298	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Japanese Macroeconomic Policy: Solutions to Monetary and Fiscal Policy Challenges)				
Faculties	HAYASHI Tomoko				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide sound basis for research on the Japanese macroeconomic policy (both monetary policy and fiscal policy), with reference to other countries, from the viewpoint of the policy practitioner.</p> <p>It will cover a wide range of background knowledge from policy framework in theory and practice, economic assessment and data analysis to the current policy settings.</p>				

Course Code	5140299	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（日本のマクロデータによる政策分析）				
Faculties	林 伴子／梅溪 健児				
Course Objectives/Overview	<p>経済分析に多く使われるマクロ経済データについて、その概要と取扱いの仕方、分析の際の留意点等について学び、日本や海外の経済分析に必要なデータに関する実践的な知見を深める。</p> <p>政府・中央銀行や民間シンクタンクのエコノミスト、大学の研究者が経済分析を進める上で必須となる、データに関する基礎知識を身につけ、自ら読み解き、情報発信できるようになることが到達目標である。こうした能力は、エコノミスト、研究者を目指す者のみならず、政府等でしっかりした裏付けのある政策の企画・立案に携わ</p>				

	りたい者や、企業の経営企画・コンサルタント業務を目指す者、ジャーナリズムで活躍することを目指す者にも有益な基礎を提供する。
--	---

Course Code	5140301	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（医療政策・問題分析）				
Faculties	飯塚 敏晃				
Course Objectives/Overview	日本の医療や医療政策が直面する課題について、マイクロデータを用いた事例研究を行い、課題解決に向けた分析レポートをまとめる。夏学期は研究課題の設定、基本的な事実に関してのリサーチを行う。				

Course Code	5140310	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（財政政策Ⅱ）				
Faculties	岩本 康志				
Course Objectives/Overview	財政政策、税制、財政運営に係る事例研究をおこなう。問題の設定、基本的な事実に関してのリサーチをおこない、解決策を探る。この授業では、過去の「公共政策の経済評価」で作成された費用便益分析のフォローアップを行う。評価対象事業が導入されていない時点で不確定であった要因について、事前の予測と事後の実績がどのように違っているかを通して、事前の予測がどのようなバイアスをもちやすいか、を検討する。分析の候補となる事業は、「洋上風力発電」、「ラウンドアバウト交差点」、「ドライブレコーダー」である。				

Course Code	5140331	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（医療政策・解決策分析）				
Faculties	飯塚 敏晃				
Course Objectives/Overview	日本の医療や医療政策が直面する課題について、マイクロデータを用いた事例研究を行い、課題解決に向けた分析レポートをまとめる。春学期に引き続き、マイクロデータを用いた分析と論文の執筆を行う。				

Course Code	5140348	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（金融システム分析）				
Faculties	池田 宜睦				
Course Objectives/Overview	金融システムを巡る最近のトピックについて、関連する文献（論文・レポート）やインタビュー等を通じて、その背景や考え方等について理解し、受講者が単独または複数名によるチーム形式で、金融シ				

	<p>システムに関連した分析テーマについてサーベイし、プレゼンテーションを行い、最終的にはレポート（論文という形式でもよい）を作成することを目的とする。また、受講人数にもよるが、受講者が、単独またはチームで概ね2～3回程度の発表を行うことを想定している。</p> <p>具体的な分析テーマとしては、金融政策（マイナス金利、出口政策等々）、FinTech、ベンチャーファイナンス、コーポレートガバナンス、ESG 投資、地域金融システム、金融監督規制、国際金融規制等が考えられるが、初回講義で担当教員の提示するテーマ案から選択するのも良いし、受講者自身の関心に応じた金融システムに関するトピックを独自に選び、取りあげても良い。</p> <p>授業では、将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を念頭に、金融システムにおける現実的課題に対して、その背景や考え方を理解し、一定の分析能力を育成することを目標とする。</p> <p>担当教員は、中央官庁（金融庁、財務省）における勤務経験を有する行政官である。講義に際しては、理論に加えて、現実の動きをバランスよく取り扱っていきたいと考えている。なお、本講義は、みずほ証券寄付講座の一環である。</p>
--	--

Course Code	5140393	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Quantitative Macroeconomics I)				
Faculties	NIREI Makoto				
Course Objectives/Overview	In this course, participants practice quantitative analysis of macroeconomic models using numerical computation.				

Course Code	5140394	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Quantitative Macroeconomics II)				
Faculties	NIREI Makoto				
Course Objectives/Overview	In this course, participants practice quantitative analysis of macroeconomic models using numerical computation.				

Course Code	5140395	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（資本市場と公共政策）				
Faculties	小野 傑／池田 宜睦				
Course Objectives/Overview	<p>「金融資本市場における公共政策的・法的論点と課題」をテーマとする。金融資本市場においては、最近、FinTech ベンチャーに代表されるような新たな新たなプレーヤーによる参入、AI（機械学習）の進展、ビッグデータの活用、キャッシュレスの拡大、暗号資産の問題、ICO（Initial Coin Offering）による資金調達手段の可能性の出現などの大き</p>				

	<p>な変革が進んでいるほか、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制約に対応する金融仲介機能維持・強化のための政策対応が強く求められている状況にある。これに加えて、株主総会資料の電子提供制度や社外取締役の設置強制などを含む令和元年会社法改正の動きなどを受けたコーポレートガバナンスのあり方、令和2年スチュワードシップ・コード再改訂を受けた機関投資家のあり方、フィデューシャリー・デューティー、ベンチャーファイナンス、ESG投資などの従来から指摘されている課題や論点など、公共政策的・法的論点と課題は多数に上る。</p> <p>この授業では、これらの金融資本市場における論点と課題について、主として有識者を招いての講義や学生とのディスカッションを通じて、履修生が理解を進め、深く思索する機会を提供するとともに、形式ではなく本質を見据えた解決策を考える力を養うことを目指す。</p> <p>全13回の講義のうち、第1回目は担当教員によるオリエンテーションとして、それ第2回～第12回はゲストスピーカー中心の講義となる。また、最終回（第13回）も担当教員による総括講義とする。</p> <p>（注）本講義は、東京大学における公共政策大学院・法科大学院（ロースクール）・法学政治学研究科総合法政専攻の合併講義であり、みずほ証券株式会社による寄附講座である。</p> <p>＜オンライン化に伴う対応＞</p> <p>★第1回は、講義日午前中までには、UTAS に Zoom リンク先をアップしますので、そこから参加ください。配布資料も講義日午前中までに ITC-LMS にアップします。</p>
--	--

Course Code	5140396	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（金融資本市場論）				
Faculties	池田 宜睦				
Course Objectives/Overview	<p>金融資本市場を巡る最近のトピックについて、関連する文献（論文・レポート）やインタビュー等を通じて、その背景や考え方等について理解し、受講者が単独または複数名によるチーム形式で、金融資本市場に関連した分析テーマについてサーベイし、報告・プレゼンテーションを行い、最終的にはレポート（論文という形式でもよい）を作成することを目的とする。受講人数にもよるが、受講者が、単独またはチームで概ね2～3回程度の発表を行うことを想定している。</p> <p>具体的な分析テーマとしては、資産運用業の高度化、フィデューシャリー・デューティー、FinTech、ベンチャーファイナンス、コーポレートガバナンス、ESG投資、地域金融システム、金融監督規制、国際金融規制等が考えられるが、初回講義で担当教員の提示するテーマ案から選択するのも良いし、受講者自身の関心に応じた金融資本市場に関するトピックを独自に選び、取りあげても良い。</p> <p>授業では、将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を</p>				

	念頭に、金融システムにおける現実的課題に対して、その背景や考え方を理解し、一定の分析能力を育成することを目標とする。
--	--

Course Code	5140397-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（信託法に関する実務上の諸問題）				
Faculties	水野 大				
Course Objectives/Overview	<p>担当教員は、信託関連法令あるいは信託銀行の業務に関する案件を専門分野の一つとする弁護士である。</p> <p>http://www.noandt.com/data/lawyer/index/id/1678/</p> <p>担当教員から、実際に取り扱った案件や法律問題を紹介しつつ、信託法の概説やベーシックな信託契約の読み方の説明を行った上で、各参加者が自ら選択したテーマについて発表し、その発表に基づいて担当教員や参加者が議論を行うことを予定している。</p> <p>参加者が、実定法としての信託法の内容、信託関連法令に関する基本的な知識を身につけると同時に、実務に想起する問題を法的に分析することへの興味・関心・野心を抱くに至ることが、この演習の目的である。</p> <p>民法、会社法のような実定法の勉強の延長で実定法としての信託法を勉強したいという学生あるいは信託を用いた金融実務に興味のある学生の参加を想定している。</p>				

Course Code	5140398	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Fiscal, Macroprudential, and Monetary Policy (I))				
Faculties	NAKATA Taisuke				
Course Objectives/Overview	Presentation of research in progress				

Course Code	5140399	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Case Study (Macroeconomic Policy for Practitioners)				
Faculties	SCHIFF Jerald／NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course makes use of key macroeconomic concepts and international practice to analyze real world policy questions and country cases. We will develop a simple and flexible macroeconomic framework, based on the sort of analysis undertaken at the IMF. Using this framework, a number of issues will be examined, including: evaluating monetary and fiscal policies; identifying economic and financial vulnerabilities and proposing corrective policies; and designing economic programs for countries in or near crisis. Country case studies and current economic news and developments will also serve as a starting point for class discussions of key ideas. In particular, we will examine macroeconomic policy needs and lessons in the context of the COVID crisis.</p>				

Course Code	5140404-3	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Foreign Policy of Japan)				
Faculties	TAKEUCHI Haruhisa				
Course Objectives/Overview	<p>The International community and the Asia Pacific region in particular are going through rapid structural changes which represent both opportunities and challenges to the region and to the world. The course will review and discuss the contemporary Japanese foreign and security policy.</p> <p>Throughout the course, the lecturer, a former diplomat, will endeavor to share with the students his experience as a practitioner. As appropriate, guest speakers will be invited to discuss current affairs.</p>				

Course Code	5140412	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Financial Institutions)				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide an overview of key international financial institutions (IFIs) and opportunities to acquire skill to work in IFIs. In the lecture, IFIs are likely to include the International Monetary Fund (IMF), World Bank, International Finance Corporation [IFC], Asian Development Bank (ADB), and other key IFIs. Experts from these IFIs will deliver lectures. These experts may include the heads of the Tokyo offices of the IFIs. The course will also offer opportunities to acquire fundamental skill to work in IFIs – conducting international negotiation, leading an international meeting, managing conflict, presenting opinion in an international organisation....</p> <p>At the end of the course, students are expected to fully understand major functions and challenges of IFIs and demonstrate skill in working there.</p> <p>Students taking this course for credits must take part in all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.</p>				

Course Code	5140414	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（企業の技術戦略と国際公共政策）				
Faculties	中川 淳司／米谷 三以				
Course Objectives/Overview	<p>本事例研究は、企業が経営戦略・技術戦略として公共政策形成に関わるか、とくに国際ルールの形成にどのように関わり、国際ルールをどのように利用しているか、の実務を学ぶことを狙いとする。今日、公共政策にどう関わるか等の対政府渉外活動、あるいは、いわゆる「非市場戦略」の企業にとっての重要性が高まっているのみならず、技術開発・海外投資等の経営戦略との複合的な考慮が必要となっている。脱炭素・プラスチックごみ対策など公共政策の変化が技術革新を要求し、標準化の巧拙が技術競争の重要な要素になってきていることはその現れである。また関税や投資規制・保護等</p>				

	<p>のルールは、サプライチェーンの構築に大きく影響する。国際ルールの比重が高まり、かつ国際ルール形成における企業・NGO など非政府機関の関与する機会が増加している今日においては、国際ルール形成に関わる企業戦略の巧拙が業績に大きく影響する。同時に、Brexit に見られるように、国家の規制主権を取り戻そうとする動きもあり、対象の動きは複雑化している。</p> <p>こうした活動を立案・実施するためには、法と政策に関わる知見に加え、技術に関する知見も必要であり、総合的な専門性が必要とされるが、必要な専門能力・経験を備えた人材は不足している。この現状に鑑み、企業が国際公共政策に関わるとはどのようなことか、とくに、技術戦略にどのような影響があるか、どのような関わり方によって目的を実現できるか、とくに、技術的なソリューションをどのように組み合わせるか、そのために必要な能力・知見は何か等について、企業活動の最前線でルールの立案・交渉・実施にあたっている実務家の経験と知見を学び、実務につなげる。経済活動に対する国際ルールの規律の現状とその底流となる政策論の方向性、国際ルールの形成と実施のための手続の実際、かかる手続における政府、企業、NGO 等のステークホルダーの関与等について、個別の事例の検討を通じて考察を深め、さらに今日的な課題にいかに取り組みかについて実践的な議論を行い、実務において直面する問題に対する解決能力を高めることをねらいとする。</p>
--	--

Course Code	5140415	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（国際経済ルールの形成と利用）				
Faculties	中川 淳司／米谷 三似				
Course Objectives/Overview	<p>本授業は、政府がその政策目標を実現するために国際公共政策形成に如何に関わるか、とりわけ、国際ルール・取組に如何に関わり、具体的には、ルール形成や遵守確保に如何に関わるかを研究することを狙いとする。経済・社会のグローバル化・世界的統合が進み、通商・投資協定、環境条約、BEPS などの協力・ハーモニゼーションの枠組、国際規格その他の国際ルールが、国内法・政策の形成に大きく影響する今日、かかる国際ルール・取組に受動的に対応するのではなく、国際公共政策の構想を立て、積極的に国際ルール形成のイニシアティブを執り、使いこなす重要性が、政府、法律事務所、企業等において認識されてきている。さらに、近年は逆の方向（Brexit・保護主義等）の動きもあり、ルール形成の在り方は一層複雑化している。しかし、必要な専門能力・経験を備えた人材は不足している。この現状に鑑み、国際経済ルールを如何に策定し利用するか、そのために必要な能力・知見は何か等について、政府等の最前線でルールの立案・交渉・実施にあたっている実務家の経験と知見を学び、実務につなげる。経済活動に対する国際ルールの規律の現状とその底流となる政策論の方向性、国際ルールの形成と実施のための手続の実際、かかる手続における政府、企業、NGO 等のステークホルダーの関与等について、個別の事例の検討を通じて考察を深め、さら</p>				

	に今日的な課題にいかに取り組むかについて実践的な議論を行い、実務において直面する問題に対する解決能力を高めることをねらいとする。
--	--

Course Code	5140416	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Global Financial Policy Making)				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				
Course Objectives/Overview	This seminar-format course is designed to acquire skill to create and lead an international organisation. The course is based on discussion, role plays and presentations. Students taking this course for credits must attend all lectures, participate actively in classroom discussion, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.				

Course Code	5140418	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（国際経済関係の法と政策）				
Faculties	米谷 三以				
Course Objectives/Overview	<p>本授業は、緊張関係の高まる国際経済関係を健全に発展させる国際ルール及びレジームを形成するために有用な法的・政策的パースペクティブを得ることを狙いとして、経済安全保障、国有企業問題、デジタル貿易と個人情報保護など、今日の様々な国際経済関係上の諸問題における議論の現状を把握し、問題の構造を分析することを通じて、新たな視点の可能性の探究を試みる。今日の国際経済関係においては、貿易・投資の自由化により経済の相互依存が深化し、また地球温暖化、感染症の蔓延などの対策として国際的な協力関係が構築されるなど求心力が働いている。環境保護・人権保護など他国の国内政策に対する関心も高まっている。ただ同時に、重要資機材の国内生産確保を含む経済安全保障の主張、主権の強調など、遠心力の増大も観察される。インフラのセキュリティ確保、PPEの供給確保、emerging technology の国際移転管理などの動きは、貿易自由化、外資・外国人研究者の受け入れなどに疑問を投げかけている。これら対立する二つの力に加え、米中対立の根底にある体制の違い、また関係する複数の政策間の不整合などが問題を複雑化している。これらの問題について具体的案件の現状・構造を研究することによって、国際公益として認識されつつある「持続可能な発展」概念を基礎として、こうした不整合を解決する視点を探り、様々な政策分野において存在している国際レジーム・国際協定の発展方向を考えるパースペクティブを考える基礎を探究する。</p>				

Course Code	5140485	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（政策環境・事業環境検討手法としてのシナリオプランニング：理論と実践）				

Faculties	杉野 綾子
Course Objectives/Overview	<p>人生は決断の連続である。</p> <p>これから職業人生を歩んでいく過程でも、皆さんは日々、大小様々な決断を迫られるが、それらは間接的に、組織の業績や評判や、存立を左右するような重大な決断に結び付く場合が多い。</p> <p>他方で将来のことは誰もわからない。つまり企業でも官公庁でも、今後どのような外部環境に置かれるのか、自らの行動の帰結と、それに対する反応について不確実な状況下で、重大な判断を下さなければならない。</p> <p>シナリオプランニングは、不確実な状況下で、組織が、丹念な情報収集・分析と活発なブレインストーミングを通じて、より良い決定を下すための方法論である。</p> <p>この授業はシナリオプランニング技法を、実際にシナリオを作りながら学んでゆく。授業の目標は、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①シナリオプランニングの理論と型式を理解する、 ②シナリオプランニング手法が政策環境分析あるいはビジネス環境分析に活用可能なことを理解する、 ③シナリオプランニングの作業工程を実習する、 ④チームワークの作り方を体験的に実習する、 ⑤チーム作業でシナリオ作品を試作する。 <p>このため、全回出席をお願いしたいし、グループワークに貢献し、宿題をこなしながら徐々に力をつけてもらいたい。</p>

Course Code	5140486	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Business Environment, Stakeholders and Issues; a Learning Experience in Collaboration with Japanese Industry)				
Faculties	KUMON Takashi				
Course Objectives/Overview	<p>The objectives of this course are to give course attendants hands-on experiences of business modus operandi of Japanese companies, and to ask the attendants to follow small scale researches on particular themes on Japanese companies/industries.</p> <p>This course was established in 2015 in response to the call from GraSPP international students for more to learn and be exposed to the Japanese business society. Japanese Ministry of Economy, Trade and Industry has also been finding this request as fair and supports this course.</p> <p>The ultimate aim of the course is to offer the attendants an opportunity to learn business culture and operation of globalized, or globalizing Japanese companies. Hence, the attendants are very much deserved to be critical and argumentative however; the organizer of the course would like to ask them for due respects to the companies.</p> <p>The organizer of the course has a variety of experience in business and governmental organization to support overseas business of Japanese companies. However; the attendants will not expect the organizer to do full lectures on theories and methods of business practices, which can be learned by reading boring books for MBA course, plenty of them.</p> <p>This is a very practical course, rare in the university.</p>				

	The attendants will expect hard work!
--	---------------------------------------

Course Code	5140488	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Public-Private Partnerships)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide students with a basic understanding about Public-Private Partnerships (PPPs) as a framework for public services provision. Thus, the course aims to prepare students for future positions engaged in economic and social infrastructure services provision in both the public and private sectors. As a practical training course with active learning approach, students will have the opportunity to work in a team, make oral presentation, debate and produce memos and reports.</p> <p>The key motivation for PPPs is to seek efficiency gains and innovations as well as to fill public sector funding gaps through private sector participation. Recognizing such potential benefits, we have seen an increasing interest in PPPs over the past decades.</p> <p>The core task of structuring a PPP project is to reconcile the interests of various stakeholders from the private and public sectors. These stakeholders include investors, lenders, contractors, social entrepreneurs, and various beneficiaries on the private sector side and the government and other public entities on the public sector side. PPPs are not immune to moral hazard, and in reality very complex and most likely costly. Risk allocations are challenging because of the public nature of infrastructure services provision and inherent uncertainties over the long term. Difficulties also arise from the different attitudes of investors, lenders, government entities, and the general public. PPPs are equipped with a very commercial contractual structure and operational modalities, but at the same time are extremely political due to the inherent social implications.</p>				

Course Code	5140498	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Institutions and Methods of Health Technology Assessment in Healthcare Policy)				
Faculties	KAMAE Isao				
Course Objectives/Overview	<ul style="list-style-type: none"> • Students learn about Health Technology Assessment (HTA) institutions in the world and develop the HTA literacy with global standards, which is required for public policy-making and business in healthcare. • A group of two or three students is asked to perform a short presentation regarding one institution assigned in advance (for example, NICE in the UK), and the presentation is followed by in-depth discussions. • Several lectures are provided online by international HTA experts in Asia, the US or Europe. 				

Course Code	5140500	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（海洋問題演習 Va）				

Faculties	木村 伸吾／山口 健介
Course Objectives/Overview	<p>この授業は、学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養することを目指し、海洋に関わるさまざまな政策課題への総合的なアプローチについて、具体的課題に即して学ぶことを目的とする実践的な科目である。</p> <p>この授業は、A セメスターに開講される海洋問題演習 Vb と内容的に一連のものとして設定されるが、それぞれ独立して履修することも可能である。</p> <p>この授業においては、海洋に関わる政策的なトピックについて、場の利用、資源の利用、安全な利用といった観点から、沿岸域総合管理、生物多様性、津波・防災、海洋安全保障、海洋ゴミ・プラスチック問題、海洋再生可能エネルギー利用、水産物感染症対策、食料安全保障等各分野の専門家、実務家等を招いて講義を行う。専門分野の違いを超え、問題解決に必要な知見を総合して、政策案を企画する基礎を学ぶことを目指す。</p> <p>この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである「海洋学際教育プログラム」の必修科目である。</p>

Course Code	5140501	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（海洋問題演習 Vb）				
Faculties	木村 伸吾／山口 健介				
Course Objectives/Overview	<p>この授業は、学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養することを目指し、海洋に関わるさまざまな政策課題への総合的なアプローチについて、具体的課題に即して学ぶことを目的とする実践的な科目である。</p> <p>この授業は、S セメスターに開講される海洋問題演習 Va と内容的に一連のものとして設定されるが、それぞれ独立して履修することも可能である。</p> <p>この授業においては、様々な研究科に所属する大学院生からなるグループを編成し、専門分野の違いを超えて海洋に関わる政策的なトピックについて共同研究を行い、問題解決に必要な知見を総合して政策案の企画に取り組む。</p> <p>この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである「海洋学際教育プログラム」の必修科目である。</p>				

Course Code	5140600	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（科学技術イノベーション政策研究）				
Faculties	松尾 真紀子／木見田 康治／牧岡 亮				
Course Objectives/Overview	<p>[THIS COURSE IS OFFERED IN BOTH JAPANESE AND ENGLISH]</p> <p>科学技術イノベーション政策について、官公庁や調査研究機関等において政策形成やそのために必要なエビデンスの構築に携わる知識</p>				

	<p>を学び、科学技術イノベーション政策を研究する際に重要な論点を俯瞰する。</p> <p>加えて、これらを実践知とするため、科学技術イノベーション政策について、政策プロセス・制度またはエビデンス構築を対象に、グループワークを中心とした事例研究を行う。各学生には、個別の専門領域に閉じることなく、文理融合・学術分野横断的な協働を通じて問題解決を図り、政策を企画立案分析する素養の体得を期待する。</p> <p>----</p> <p>This course is designed to develop necessary skills for collecting and analyzing evidence for public policy-making at government agencies and research institutions, as well as to overview basic issues on science, technology, and innovation (STI) policy research. Students are encouraged to learn across academic disciplines; they are expected to work with other students from different departments/schools toward problem-solving and develop necessary skills for dealing with public issues and planning/evaluating public policy.</p>
--	--

Course Code	5140610	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（科学技術と政治・行政Ⅰ）				
Faculties	城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>科学技術の研究開発、科学技術の実社会の各分野での利用に際して必要になるリスク規制やイノベーションの促進は社会の政治組織、行政組織、企業、社会集団、専門家、市民様々な主体の利益や価値に関わり、これらの課題をめぐっては諸主体間での政治が展開される。科学技術に関する判断は、しばしば科学的技術的に規定されていると認識されることも多いが、実際には多くのトレードオフや不確実性等に関する判断が埋め込まれており、一定の裁量が埋め込まれている。科学技術に関わる政治・行政においては、各主体が科学技術に関する能力をどのように確保するのか、各主体が能力確保に投資するインセンティブ構造が確保されているのかというの、重要な局面となる。また、現代政治・行政の活動は様々な科学技術的条件の上に成立している。</p> <p>本演習では、まず、このような科学技術と政治・行政における基本的論点について、講義及び文献講読により概観する。具体的には、科学技術自体の性格とダイナミズム、科学技術政策の概念について検討した後、リスク評価・管理や事故調査・インシデント情報共有による学習メカニズム、知識生産や技術の社会導入に関わるイノベーションのメカニズム、科学技術に関する調整メカニズム、国際レベルにおけるリスク規制（安全保障に関するリスクも含む）と国際的な知識生産、技術の社会導入を進めていくための国際協力のメカニズムについて検討する。</p> <p>その上で、エネルギーシステムの移行、健康システムの移行、食料・循環経済システムの移行、デジタル化（情報システムの移行）について、専門家や実務家のレクチャーを踏まえ、具体的に検討する。最終的に、参加者は関心のあるテーマに関してレポートをまとめる</p>				

	ことが求められる。
--	-----------

Course Code	5140700-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Energy Governance)				
Faculties	ARIMA Jun／TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	Explore the roles of the selected energy related international organizations/processes to enhance secure, affordable and sustainable energy supply. The examples of these organs/processes are IEA, OPEC, IEF, Energy Charter, G7, G20, EU, APEC, ASEAN, IAEA IRENA, UNFCCC etc. Discuss the selected energy issues from different perspectives. Try to identify necessary conditions for global energy governance in the 21st Century to address energy and climate challenges				

Course Code	5140700-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Energy Governance)				
Faculties	ARIMA Jun／TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	Explore the roles of the selected energy related international organizations/processes to enhance secure, affordable and sustainable energy supply. The examples of these organs/processes are IEA, OPEC, IEF, Energy Charter, G7, G20, EU, APEC, ASEAN, IAEA IRENA, UNFCCC etc. Discuss the selected energy issues from different perspectives. Try to identify necessary conditions for global energy governance in the 21st Century to address energy and climate challenges				

Course Code	5140715	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（コーポレートガバナンス）				
Faculties	林 良造／中原 裕彦／萬澤 陽子				
Course Objectives/Overview	我が国のコーポレートガバナンス改革により企業の経営環境は大きく変化してきた。近年、コーポレートガバナンスが問題となる事例が数多く見られ、また、日本の制度に伴うバイアスについての研究も進んできている。そして、こうした事例に対応する形で、新たなガバナンスの方式が模索・提案されたりもしてきた。 この授業では、これまでの政策の変遷を踏まえ、現段階での世界の最新の論調を踏まえて事例を見直し、それはどのような原因・メカニズムで発生するのか、そしてそうした問題は今後どのようにすれば改善することができるのか、コーポレートガバナンス制度の評価という視点から検討を行っていく。				

Course Code	5140723	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	Case Study (Finance and Development in Emerging Asia)
Faculties	NISHIZAWA Toshiro
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to deepen student understanding of development issues in emerging Asia with a focus on financing aspects and thus to prepare students for future professional positions in the field of development finance. We will discuss policy options to enhance the finance-development nexus and to address risks entailed in the process. In the current global context, the scope of discussion will be connected occasionally with the implications of the COVID-19 pandemic for finance and development with a view to giving real-world relevance to student learning. As a practical training course, students will have the opportunity to do a policy planning exercise—students will be asked to choose a specific country and to prepare a paper on development strategy and policy proposals with a focus on the finance-development nexus.</p> <p>Specific features of the course are as follows.</p> <p>We will learn a basic framework to understand economic development and finance-development nexus. In order to provide the background knowledge for a better understanding of key concepts, the course will revisit development performance of Asia in the past 50 years. Learning from the past will help identify factors contributing to development as well as risks entailed in policy actions.</p> <p>We will also discuss opportunities and challenges in various approaches and initiatives in development finance such as Public-Private Partnerships (PPPs) and community-based development. Furthermore, we will discuss policy options in a broader geopolitical context. Discussion topics will also include China's Belt and Road Initiative (BRI) and the emergence of Asian Infrastructure Investment Bank (AIIB), a new multilateral lender in Asia.</p> <p>One of the underlying questions is how to correct shortcomings in the finance-development nexus through public policy with an effective incentive design and minimum market distortions. The course follows a hybrid approach of basic economics and geopolitics with a practical orientation.</p>

Course Code	5140730-1	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Field Workshop)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will offer opportunities to exchange views and discuss issues with senior officials, management staff and experts in government agencies, international organizations, global business entities, NPOs, and research institutions in Asia with a view to helping students identify today's public policy challenges and design solutions. The overarching theme is tentatively defined as "Strategic foresight in addressing public policy challenges under the new Asia-Pacific order." Students' active participation is required throughout the course to lead discussion with our professional counterparts on public policy issues agreed upon at the planning stage. Networking with professionals is expected to help broaden students' future career opportunities.</p>				

Course Code	5140730-2	Term	A 2	Credits	2
-------------	-----------	------	-----	---------	---

Course Title	Case Study (International Field Workshop)
Faculties	NISHIZAWA Toshiro
Course Objectives/Overview	This course will offer opportunities to exchange views and discuss issues with senior officials, management staff and experts in government agencies, international organizations, global business entities, NPOs, and research institutions in the United States with a view to helping students identify today's public policy challenges and design solutions. The overarching theme is tentatively defined as "Strategic foresight in addressing public policy challenges under the new world order beyond the pandemic." Students' active participation is required throughout the course to lead discussion with professionals on public policy issues agreed upon at the planning stage. Networking with professionals is expected to help broaden students' future career opportunities.

Course Code	5140735	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Case Study (GraSPP Policy Challenge: Global Innovative Public Policy Solutions)				
Faculties	各教員				
Course Objectives/Overview	Develop your public policy project together with your group. Present it and compete with other groups.				

Course Code	5140738	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Learning with Public Policy Cases for SDGs)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro／SEETHARAM K.E.				
Course Objectives/Overview	<p>This course assists students to develop skills of problem solving and decision making to address public policy challenges by using the case method. Cases are concerning the United Nations Sustainable Development Goals (SDGs). The case method is a teaching approach to put students in the role of people responsible for problem solving and decision making (often called the "protagonist"). Based on a narrative which provides information on a real-world situation, students are asked to interpret the incidents; analyze interactions between stakeholders; identify feasible options; evaluate possible outcomes; compare alternatives; and propose virtual solutions and decisions. A well-known "case method" approach is one developed by Harvard Business School mostly for corporate decision making as compared to ours for public policy problem solving and decision making.</p> <p>The case materials will cover a variety of topics related to the UN SDGs such as water, sanitation, transportation, spillover effects of infrastructure, health, education, micro-financing, philanthropy, and others.</p> <p>Students are required to work in a small group with a few assigned case materials. This exercise puts students in the shoes of the decision maker in order to gain a fuller understanding of real-world challenges. It also helps students understand the relevance and usefulness of abstract concepts and theory as an analytical framework.</p> <p>Towards the end of the course, students are required to serve as case teachers by preparing a case material—a narrative with the teaching note—and thereafter given an opportunity to make a group presentation on the case material as the basis for class discussion. This exercise aims to familiarize students with guiding others</p>				

	for problem solving and decision making practice.
--	---

Course Code	5140741	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions)				
Faculties	SUZUKI／ISOZUMI／SHIROYAMA／AOKI				
Course Objectives/Overview	This class is the PBL (project base learning exercise) for public policy. Students hear the perspectives and concerns of stakeholders in the various fields combining technological and institutional/ policy innovation and and are asked to work collaboratively as a group for the problem definition and identifying and assessing policy options concerning public policies., and comparison of those options				

Course Code	5140742	Term	A2S1	Credits	2
Course Title	Case Study (GPPN SDG Certificate)				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>The GPPN SDG Certificate provides the students with the chance of learning about the Sustainable Development Goals (SDG) by attending a dedicated educational program developed by the Global Public Policy Network (GPPN). Students will attend online seminars and interact with relevant International Organizations, NGOs, Japanese and foreign government officials, business organisations, in order to enhance their understanding of SDG in their practical and organisational challenges. The course also aims at developing the students' professionalism, ability to communicate in complex environments, internationalisation, and networking.</p> <p>Students (a maximum of ten divided in two teams) will first undergo training attending the International Organizations for International Development in the 21st Century course in A1A2. The attendance of such course is compulsory for all selected students. In January and May 2022, students are expected to attend seminars together with their peers from the other GPPN Schools. If circumstances allow, students will be able to travel to Europe.</p> <p>Furthermore, each student will develop a part of a collective project together with his/her team. The projects should aim at analysing, discussing, and proposing policies for the advancement of one or more SDG goals in the framework of public policy and international/global governance. Each team will produce a research paper and will submit a team report, with each student will submit an individual report.</p>				

Course Code	5140743	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Social Design and management)				
Faculties	SHIROYAMA／ORSI／MITSUISHI／				
Course Objectives/Overview	In this seminar, students are expected to examine research in various fields such as resources, environment and energy, health and medicine, space and ocean, security, global economy, food and life, AI and digitalization, and				

	learning and communication in relation to various social issues, and attempt to design solutions (technical and institutional solutions) to social issues in concrete ways. In doing so, students will consciously consider what other fields of knowledge are necessary in addition to the knowledge in their own field of expertise, and students will attempt to compare various solution options. Students will also examine the challenges of implementing such solutions in society.				
--	--	--	--	--	--

Course Code	5140751	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（中央省庁における政策立案 I）				
Faculties	鈴木 寛				
Course Objectives/Overview	国家公務員として、具体的な政策案を作成する能力を身に着ける。特に、各省庁の審議会の事務局として、審議会答申を策定する能力を身に着ける。				

Course Code	5140752	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（中央省庁における政策立案 II）				
Faculties	鈴木 寛				
Course Objectives/Overview	国家公務員として、具体的な政策案を作成する能力を身に着ける。特に、各省庁の審議会の事務局として、審議会答申を策定する能力を身に着ける。				

Course Code	5140771	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Fiscal, Macroprudential, and Monetary Policy (II))				
Faculties	NAKATA Taisuke／KATO Ryo				
Course Objectives/Overview	Presentation of research in progress. Presentation of latest research in fiscal, macroprudential, and monetary policy				

Course Code	5140790-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Development Economics and Policy I)				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	In this course (DEP1), we see what major insights have recently emerged from development economics (e.g., RCT) and how they matter for development policy. Students are expected 1) to acquire basic knowledge and skills to read and discuss research and policy papers in development economics; 2) to develop a research proposal on development; and 3) to develop presentation, discussion, and research writing skills. The course consists of a review of program evaluation methods with a strong practical focus and students' presentation and discussion about published research work and their own research proposal. Both experimental and quasi-experimental studies are covered. All discussions and presentations are				

	conducted in English and all written assignments must be written in English (no exceptions).
--	--

Course Code	5140791-1	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Development Economics and Policy II)				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	The objective of this course (CS2) is to 1) to develop a research project on development; 2) to acquire skills to analyze micro data; and 3) to develop presentation, discussion, and research writing skills.				

Course Code	5140792	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (How a policy is formulated, and implemented at the Office of Prime Minister of Japan? How the policy has been tried to be penetrated?)				
Faculties	HASEGAWA Eiichi				
Course Objectives/Overview	We study the institutional base of mandate and authority of the Prime Minister. Through examining specific cases, we would learn, from a practical point of view, what role the Office of Prime Minister plays in order to formulate and implement specific policies, as well as to communicate them to the public. We also appraise whether measures taken in this regard were effective. During the course, we focus on the impact of public relations on policies. Though the cases are selected from the government activities, findings and lessons students learn from the class would also be applicable to other fields of business as well as large-scale organizations.				

リサーチペーパー

Research Paper

研究論文

Thesis

Course Code	5150010	Term	通年	Credits	2
Course Title	リサーチペーパー				
Faculties	各教員 Each Academic Advisor				
Course Objectives/Overview	<p>特定の課題について、文献、インタビュー、その他の調査を行い、その検討結果をまとめ、リサーチペーパーとして作成する。これを通して、学生が特定の政策課題について調査し、問題を分析する力を養うとともに、これをペーパーとしてまとめ、表現する能力をつける。課題に応じて指導教員は、ペーパー作成に必要な助言を行う。提出されたペーパーについて審査委員による口述試験を通過して所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p> <p>You are to write a Research Paper on a specific topic based on your research findings through literature review, interviews or other researches. The Research Paper is meant to nurture both your analytical and presentation skills. The academic advisor will give advice relating to the topic of your research paper. The Research Paper submitted will be assessed by a panel of judges through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p>				

Course Code	5150011	Term	年度跨り	Credits	2
Course Title	Research Paper				
Faculties	Each Academic Advisor 各教員				
Course Objectives/Overview	<p>You are to write a Research Paper on a specific topic based on your research findings through literature review; interviews or other researches. The Research Paper is meant to nurture both your analytical and presentation skills. The academic advisor will give advice relating to the topic of your research paper. The Research Paper submitted will be assessed by a panel of judges through an oral examination; and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p> Details will be posted on the bulletin boards etc. 特定の課題について、文献、インタビュー、その他の調査を行い、その検討結果をまとめ、リサーチペーパーとして作成する。これを通して、学生が特定の政策課題について調査し、問題を分析する力を養うとともに、これをペーパーとしてまとめ、表現する能力をつける。課題に応じて指導教員は、ペーパー作成に必要な助言を行う。提出されたペーパーについて審査委員による口述試験を通過して所定の単位を与える。 詳細については、別途掲示等で指示する。</p>				

Course Code	5150020	Term	通年	Credits	6
Course Title	研究論文				
Faculties	各教員 Each Academic Advisor				
Course Objectives/Overview	<p>選定した特定の研究課題について、文献調査、インタビュー、資料分析、その他の綿密な調査と分析を行い、それに基づく研究成果をまとめ、これを研究論文として作成する。研究課題に応じて指導教員は、研究課題の確定及び課題に関する研究計画の策定等について助言を与え、研究方法や参考文献の指示、その他の助言等を行うことによって、学生の研究論文の作成を支援する。提出された研究論文に対して口述試験を行い、これを通過することによって所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p> <p>You are to write the Thesis on a selected specific topic based on your research findings through literature review, interviews, data analysis or other detailed research and analysis. The academic advisor will give advice on your research topic and research plan, supervise on research methods and academic references, as well as give other advices to assist student in the writing of the Thesis. The Thesis submitted will be assessed through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p>				

Course Code	5150021	Term	年度跨り	Credits	6
Course Title	Thesis				
Faculties	Each Academic Advisor 各教員				
Course Objectives/Overview	<p>You are to write the Thesis on a selected specific topic based on your research findings through literature review, interviews, data analysis or other detailed research and analysis. The academic advisor will give advice on your research topic and research plan, supervise on research methods and academic references, as well as give other advices to assist student in the writing of the Thesis. The Thesis submitted will be assessed through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p> <p>選定した特定の研究課題について、文献調査、インタビュー、資料分析、その他の綿密な調査と分析を行い、それに基づく研究成果をまとめ、これを研究論文として作成する。研究課題に応じて指導教員は、研究課題の確定及び課題に関する研究計画の策定等について助言を与え、研究方法や参考文献の指示、その他の助言等を行うことによって、学生の研究論文の作成を支援する。提出された研究論文に対して口述試験を行い、これを通過することによって所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p>				